

平成28年度  
子育て世代包括支援センター  
事例集



## 平成28年度 子育て世代包括支援センター事例集について

子育て世代包括支援センターについては、「少子化社会対策大綱」(平成27年3月20日閣議決定)及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015年改訂版)」(平成27年12月24日)において、おおむね平成32年度末までに、地域の実情等を踏まえながら、全国展開を目指すこととされています。

子育て世代包括支援センターの全国展開に向け、市区町村における取組を一層推進することを目的として、現在同センターを実施している市区町村の取組内容を事例集としてとりまとめましたので、ご紹介します。

なお、事例に添付されている資料については、子育て世代包括支援センターにおける相談支援や支援プラン等を作成・検討の際の参考にしてください。

自治体(市区町村)	目次(スライド番号)	自治体(市区町村)	目次(スライド番号)
岩手県 遠野市	3 ~ 8	神奈川県 横浜市	72 ~ 76
群馬県 館林市	9 ~ 13	三重県 名張市	77 ~ 89
千葉県 松戸市	14 ~ 18	大阪府 堺市	90 ~ 94
新潟県 長岡市	19 ~ 25	兵庫県 神戸市	95 ~ 99
岡山県 津山市	26 ~ 31	鳥取県 日吉津村	100 ~ 104
広島県 広島市	32 ~ 42	東京都 江東区	105 ~ 109
青森県 鯉ヶ沢町	43 ~ 50	神奈川県 横須賀市	110 ~ 117
埼玉県 和光市	51 ~ 56	山梨県 甲斐市	118 ~ 124
千葉県 浦安市	57 ~ 61	滋賀県 近江八幡市	125 ~ 132
東京都 文京区	62 ~ 71		

# 岩手県遠野市



# 岩手県遠野市

## 地域の概要

- ・人口 : ( 28,167 )人平成29年3月1日現在
- ・年間出生数 : ( 163 )人 平成27年度
- ・その他

岩手県を縦断する北上高地の中南部に位置し、「遠野物語」に代表される歴史と文化、豊かで美しい広大な自然は、日本の原風景として全国の多くの人々に親しまれている。

平成14年より市内にお産できる施設がなくなり、1時間以上かかる遠隔地の医療機関へ通院しなければならない状況が続いている。

平成22年国勢調査によると、年少人口(0~14歳)比率11.4%、65歳以上人口比率34.3%と全国平均より少子高齢化が進展している。

### 【自治体の地図】



遠野健康福祉の里  
(健康福祉部)



遠野健康福祉の里内  
遠野市助産院



遠野市助産院での相談の様子

## 概況

- 1 場所: 岩手県遠野市松崎町白岩字薬研淵4番地1
  - ・遠野健康福祉の里 健康福祉部 保健医療課 母子保健係
  - ・遠野市助産院 「ねっと・ゆりかご」
- 2 実施体制 (1)担当者: アドバイザー(市保健師) 母子保健コーディネーター(非常勤保健師及び市助産師)  
(2)人数 6人(保健師4人 助産師2人)
- 3 設置開始時期:平成27年10月

# 岩手県遠野市

## 取組内容

保健医療課母子保健係と、子育て総合支援課児童家庭係の連携により子育て世代包括支援(センター)体制を整備し、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を実施している。

### 【母子保健コーディネーターの配置】

母子保健係の市保健師をアドバイザーとし、係内に子どもの発達支援に特化した母子保健コーディネーター(非常勤保健師)を1名配置。市営遠野市助産院の助産師2名を妊娠・出産期の支援に特化した母子保健コーディネーターとして配置している。

### 【妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援】

母子健康手帳交付時に、保健師・助産師の専門職が対応し、医学的・社会的リスクアセスメントを実施している。その際、子育て世代包括支援の事業についての周知を図っている。要支援者に対して、個別に支援プランを作成し、妊娠・出産期には助産師が関わり、その後、保健師が引き継ぐ形で子育て期の支援を行っている。

母子保健コーディネーターは、子育て支援関係機関及び保育所・幼稚園等を訪問し、気になる乳幼児の状況把握を行っている。

### 【相談窓口】

母子保健コーディネーターとの対面相談のほかに、直通の専用電話により相談に対応している。うち1回線を携帯電話とし、ショートメール機能を活用した対応も行っている。

### 【ケースカンファレンス】

ケースの把握・支援の方向性・支援計画について保健師・助産師・母子保健コーディネーター・児童家庭係の家庭相談員・女性相談員により、月1回カンファレンスを実施している。

### 【子育て関係機関情報交換・研修会】

市内の子育て関係機関の保育士・看護師との情報交換及び研修会を年数回開催し相互理解と連携を深めている。

## 取組の評価(取組の効果や課題等)

### 《効果》

- 母子健康手帳交付時面談にて約3~4割の要支援者を把握し、妊娠初期から関わりを持つことができている。
- 当市実施の産後アンケートでは助産師・保健師から十分なケアが受けられ「妊娠・出産に満足している人」の割合は92.4%である。
- 市保健師及び助産師・母子保健コーディネーター・児童家庭係職員とのケースカンファレンスや、子育て関係機関職員との情報交換により、要支援者の発見・多方面からの支援の検討を行い、地域で見守る体制を整えている。

### 《課題》

- 心身の病気・経済困窮・生活スキルの低さ等複雑な問題を抱えるケースもあり、指導・ケア以外の支援を開発する必要がある。

# 岩手県遠野市



## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

○市内にお産できる医療機関がなく、遠隔地の医療機関へ通院する妊産婦の安全と不安軽減を図るため、平成19年12月遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」を開設。市の職員として助産師2名を配置し、妊娠・出産に関わる支援体制を整備している。遠野市助産院では、ICTを活用し医療機関との情報共有を図りながら、妊娠・出産期に特化した相談、助産診断、助産師のケアを提供している。

○相談業務は、遠野健康福祉の里（健康福祉部）内で実施しており、乳幼児健診・予防接種・諸手続き等で来所した際、気軽に相談することができる。母子保健コーディネーターが直接対応するほかに、保健師・栄養士等と連携を図ったり、障がい・生活保護・介護など必要な相談窓口へ繋いでいる。

○就業等の理由で電話連絡がつかないケースに、相談用携帯電話のショートメールの活用が有効である。妊娠・出産に関する電話相談は助産師直通の専用電話としている。

○関係機関が市内に点在しているため、母子保健コーディネーターが各施設を訪問し、情報の収集・共有に努めている。

### ◆ 特色・PRポイント

- ・母子健康手帳交付は月曜日から金曜日（祝日を除く）まで随時受付可能とし、保健師・助産師の専門職が対応している。
- ・産前産後サポート事業による健康相談・妊婦訪問・退院後の早期家庭訪問・健康教育・産後リフレッシュ等を市保健師と連携し、実施している。
- ・産後ケア事業は、乳児ケア（体重測定・黄疸チェック・沐浴）及び母体ケア（乳房管理・授乳指導等）をアウトリーチ型で実施している。
- ・県内の産科医療機関と、岩手県周産期医療情報ネットワークシステム（電子カルテシステム）を活用し情報共有を図りながら、医療機関等からの早期訪問の依頼に対応している。
- ・市単独事業として、市外に通院する妊産婦への交通費の助成や、助産師による胎児心拍モニタリング・超音波検査を実施し、不安の軽減に努めている。
- ・平成29年度は遠野市助産院及び福祉の里施設の一部を改修し、相談時のプライバシー保持と妊娠・出産・子育てに関する相談窓口の一本化を図る予定としている。

# 岩手県遠野市



## 母子健康手帳交付時アンケート1

家族構成  核家族  核家族でない \*同居している家族の方をご記入ください。

氏名	年齢	性別	その他	氏名	年齢	性別	その他
夫	歳	男			歳	男	
妻	歳	女			歳	女	
子	歳	男			歳	男	
子	歳	女			歳	女	

○仕事の内容：( ) 常勤・パート・家庭従業者・その他 ( )

○次の感染症にかかったことがありますか

風しん(三日はしか) はい( ) 歳)・いいえ、予防接種済み

麻疹(はしか) はい( ) 歳)・いいえ、予防接種済み

水痘(みずぼうそう) はい( ) 歳)・いいえ、予防接種済み

○過去の妊娠分娩経過

妊娠経過  異常なし  切迫早産  高血圧  蛋白尿  浮腫  貧血

胎動増加 15kg以上  その他 ( )

分娩経過  異常なし  帝王切開  吸引分娩  早期産  仮死産

出血多量  その他 ( )

年 月 正常・異常 ( ) 年 月 正常・異常 ( ) 年 月 正常・異常 ( )

<保健師等記入欄> 交付年月日 年 月 日

母子健康手帳交付時の指導

・母子健康手帳の活用、妊婦一般健康診査受診票・妊娠婦医療費受給者証・妊娠婦交通費助成・休職について 良好 不良 不明 切迫産・その他 ( )

1 妊婦健診出席率  本人  夫  その他

2 妊婦健診継続率  母子健康相談  医学的リスク因子  社会的リスク因子  マンダラ

3 産後1ヶ月間の健康に満足し、サポートも必要なきときに受け取ることができる

自宅  夫以外の支援者(実父母・義父母・姉妹・他)  夫以外の支援者なし

産後1ヶ月以外の支援者(実父母・義父母・姉妹・他)  夫以外の支援者なし

4 子育てについて専ら、交際したり、相談できる

産後1ヶ月以内  産後1ヶ月以降

届出時妊娠週数: 週 受診券番号: ~

母子健康手帳番号: 交付担当氏名:

## 記録・支援計画票

日時	平成年月日	年月日
対象者		年月日
相談者		性別等
方法		
目的		
主訴		
状況および観察したこと		
別紙		
援助と反応		
方針	支援プランを立てる	
計画		
記録者		保健師 遠野市母子健康センター

## 母子健康手帳交付時アンケート2

以下の項目について、あてはまる項目にチェックをしてください。

1-1 結婚していますか?  はい  いいえ (○今後入籍予定 ○未定)

1-2 今回の妊娠は何回目ですか? 回目 (そのうち出産 回、死産 回、流産 回、中絶 回)

上記で2回以上の方

過去の妊娠経過は?  問題なし  妊婦高血圧症  切迫早産  貧血

体重増加 15kg以上  他 ( )

過去の分娩経過は?  問題なし  帝王切開  吸引分娩  早産  仮死産

出血多量  他 ( )

1-3 今回の妊娠を知った時、うれしかったですか?  はい  いいえ  どちらとも言えない

1-4 妊娠についてお聞きします  自然に妊娠した  治療して妊娠した  他 ( )

1-5 現在の妊娠経過について  良好  治療中 (○切迫産  つわり  他 ( )

1-6 出産する病院は決まっていますか?  決まっています (病院名: )  未定

1-7 今までに治療した病気はありますか?  ない  ある  高血圧  心疾患  甲状腺疾患  糖尿病

精神疾患  貧血  婦人科疾患  他 ( )

1-8 現在、治療中の病気はありますか?  ない  ある  高血圧  心疾患  甲状腺疾患  糖尿病

精神疾患  貧血  婦人科疾患  他 ( )

1-9 朝食(朝・昼・晩)食べていますか?  はい  いいえ ( ) 回/日

1-10 ひざの痛みはありませんでしたか?  ない  ある (具体的に )

1-11 あなたは、たばこは吸いますか?  吸わない  以前は吸っていたが妊娠してからやめている

今も吸っている (非妊婦時 本/日)

禁煙の意志はありますか (○ある ○ない)

1-12 同居のご家族で、自宅でたばこを吸っている人はいますか?  吸っている人はいない  吸っている人がいる

それはどなたですか? 該当する人全てにチェックしてください

夫  その他の家族 ( )

1-13 あなたは、アルコールを飲みますか?  飲まない  以前は飲んでいたが妊娠してからやめている

時々 の程度  毎日ではないが週3日以上飲む  毎日のむ

1-14 現在心配なこと、気になることがありますか?  ない

ら、ご自由にお書きください。 (妊娠経過、出産、子育て、病気、生活面、看護面、他) (具体的にお願いします)

II あなたへの適切な援助を行うために、あなたの気持ちについて、あてはまる答えにチェックしてください。

II-1 今回の妊娠中、おなかの中の赤ちゃんやあなたの体について、または、おなかの底に胎動が何かおぼろげに感じられていますか?  はい  いいえ

II-2 今までに心理的、精神的な問題で、カウンセラーや精神科医師、または助産師などに相談したことはありますか?  はい  いいえ

II-3 困ったときに相談する人についてお尋ねします。

① 夫には何でも打ち明けることができますか?  はい  いいえ

② お母さんには何でも打ち明けることができますか?  はい  いいえ

③ 夫やお母さんのほかに相談できる人はいますか?  はい (誰ですか? )  いいえ

II-4 生活が苦しかったり、経済的な不安はありますか?  はい  いいえ

II-5 子育てをしながら、今の生活に満足していますか?  はい  いいえ

II-6 今回の妊娠中に、家族や親しい方が亡くなった、あなたや家族や親しい方が重い病気になったり事故にあったことはありますか?  はい  いいえ



遠野市助産院での母子健康手帳交付



ショートメールを活用して相談対応



ケースカンファレンス

## 12. 妊娠・出産・子育て包括支援事業



遠野市では妊娠・出産・子育てにわたって切れ目のない支援を行うため、母子健康コーディネーターを配置し、保健師・助産師・家庭相談員・女性相談員と連携をとりながら様々な相談に対応します。お気軽にご連絡ください。

### 電話相談(直通)

利用時間	電話番号	対応者
月曜日～金曜日 午前9時～午後5時	090-7660-1108	母子健康コーディネーター・保健師
	0198-62-1108	助産師

※訪問等で席をはずしていることがあり、戻ってからの対応となることもありまうのでご理解ください。

《保健師》  
発育・発達・子育てに  
関すること  
(母子健康コーディネーター)

《助産師》  
胎動・不妊・妊娠・出産・産後  
女性の健康・身体に関すること

《専任相談員・女性相談員》  
ひとり親支援・若年・女性相談  
DV・虐待支援に関すること

お子さんの発育発達・育児・予防接種の相談

遠野健康福祉の里 元更り5すっセンター  
保健室発達母子保健係 子育て総合支援課児童家庭係  
☎62-5111(内10、12) ☎62-2111(内333)

月～金 午前8時30分～午後5時

# 岩手県遠野市

## 妊婦訪問指導票

初・経 訪問月日：平成 年 月 日(妊娠 週)		課長	補佐	係長	係員			
母子手帳番号	区分	10代初妊婦・35歳以上初妊婦 多胎・外国人・その他						
出産予定日	出産予定病院							
妊娠中の経過 異常なし・あり ( )								
診察日	妊娠週数	貧血	血圧	浮腫	尿蛋白	尿糖	体重	備考 BPD FL EFW
		無・有(内服)	/	- + ++	- + ++	- + ++		
		無・有(内服)	/	- + ++	- + ++	- + ++		
		無・有(内服)	/	- + ++	- + ++	- + ++		
状	体調(良・不良)		血圧( mmHg)		体重( kg) 非妊時より + kg			
況	顔色(良・不良)		通院手段( )		支援者(無・有)			
	睡眠(良・不良)		その他( )					
	お腹の張り(無・有 内服)							
	出血(無・有)							
	便秘(無・有)							
1 妊娠中健康に過ごせる 分娩時の準備 <input type="checkbox"/> 整えている <input checked="" type="checkbox"/> 整えていない <input type="checkbox"/> 分娩進行にリスクあり 消防への情報提供 <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要								
2 産後1ヶ月家族が健康に過ごしサポートを必要ときに受けることができる <input type="checkbox"/> 新生児訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 退院後早期訪問する <input type="checkbox"/> 支援者あり <input checked="" type="checkbox"/> 夫はいるが支援が不足 <input checked="" type="checkbox"/> 育児支援者なし <input type="checkbox"/> 夫のみだが支援あり <input checked="" type="checkbox"/> 母体ケア(乳房・授乳指導等)希望 <input checked="" type="checkbox"/> 新生児ケア(体重測定・沐浴等)希望 <input checked="" type="checkbox"/> ファミリーサポート利用希望								
留意事項	里帰り(無・有 里帰り先: ) 連絡先:							
区分	一時指導・継続指導(精神的・育児支援)							
訪問者氏名:								

課長	補佐	係長	保健師等

訪問時の状況				年 月 日(月齢 / )			
児の記録				母の記録			
体重	大泉門	横指	子宮復古	良 否			
1日増加量				血 圧			
開排便制限	- ± +	便 通	回 / 日	食 欲			
栄 養	母乳 回 / 日 ミルク cc × 回 cc / 日			1 産後1ヶ月家族が健康に過ごせる <input type="checkbox"/> 随時相談対応 <input checked="" type="checkbox"/> 再訪問必要 <input checked="" type="checkbox"/> EPDS再チェック <input checked="" type="checkbox"/> 母体ケア(乳房・授乳指導等) <input checked="" type="checkbox"/> 新生児ケア(体重測定・沐浴等)			
皮膚状態	ミノルタ			2 子育てサポートを必要ときに受けることができる <input type="checkbox"/> 支援者あり <input checked="" type="checkbox"/> 支援者不足 <input checked="" type="checkbox"/> ファミリーサポート利用希望			
光に反応	可・否	音に反応	可・否	3 子育てについて学んだり、交流したり、相談できる <input type="checkbox"/> 随時相談 <input checked="" type="checkbox"/> 育児相談 <input checked="" type="checkbox"/> リフレッシュ教室			
記 録							
指導事項 ・諸制度について(乳児受診票、受給者証、交通費助成、広援券等) ・育児相談日、相談窓口の紹介 ・乳幼児健診、予防接種について							
質 問 票	点 数	フォローの有無					
育 児 支 援							
E P D S							
赤ちゃんへの気持ち							
合 計							
(実施日: )				訪問者名:			

# 群馬県館林市



# 群馬県館林市

## 地域の概要

館林市は、群馬県の東南部にあり、関東地方のほぼ中央に位置している。「子育てを社会全体で支えあい、元気な子どもが育つまちになる」の施策目的のもと、母子保健事業の一層の充実を図るとともに、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を推進している。

- ◆人口 77,355人(H28年11月1日時点)
- ◆出生数 523人(H27年)



## 概況

- 1 場所: 健康推進課母子保健係(保健センター内。1か所)
- 2 実施体制 母子保健コーディネーター(保健師)1人、保健師5人、助産師(非正規)1人、看護師(非正規)3人
- 3 設置開始時期:平成27年7月

## 群馬県館林市

### 取組内容

- ・妊娠届出時に、母子保健コーディネーター等の保健師が全数面接し、「妊娠届出時アンケート」を活用しながら、妊婦の身体的、精神的、社会的状況や妊娠出産に関する不安や悩み等について把握している。
- ・アセスメントの結果、継続した支援が必要な妊婦に対して、本人と一緒に考えながら支援プランを作成している。支援プランの作成に当たっては、随時センター担当者内で協議・検討するとともに、必要に応じて他の関係課や外部関係者（医療機関、助産所等）を交えた会議を開催し、検討している。
- ・支援プラン策定後は、プランに基づき必要なサービス等を提供するとともに、必要な関係機関と連携しながら継続した支援を行っている。支援が特に必要となる対象者については、必要に応じて何度も面接や訪問を行うことで信頼関係を築き、適切な支援を行うことができるようにしている。
- ・支援プランは、妊娠届出時、妊婦訪問時、出生届出時、新生児訪問時等に支援していた状況から変化が生じた際に見直し、評価を行っている。
- ・妊産婦や乳幼児等の状況の把握や支援に当たっては、庁内各課（こども福祉課、社会福祉課）や医療機関、助産所、保育所・幼稚園・認定こども園、児童相談所など様々な機関、多職種で連携を図り、状況の変化や支援ニーズを的確に把握できるよう努めている。
- ・なお、妊産婦等に対する支援として、産前産後サポーター派遣事業、産後ケア事業も実施するなど、支援サービスの開拓・確保も進めている。

### 取組の評価（取組の効果や課題等）

#### 【効果】

・妊娠届出時から面談を行うとともに妊娠初期からの状況の継続的な把握が可能になるとともに、必要に応じて産前産後サポーター派遣事業、産後ケア事業等を活用することで、今まで手薄であった産前産後の支援、及びその後の子育て期までの切れ目のない支援の提供が可能となった。

※平成27年度実績：相談や情報提供、状況の把握を行っている妊婦593名のうち、217名に対して支援プランを作成。同様に、産婦763名のうち131名、乳幼児263名のうち101名、保護者32名のうち26名に支援プランを作成した。

#### 【課題】

- ・夫婦共働きの世帯も多いため、平日の訪問や面接が困難なことがある。
- ・関係機関との連携を図るにあたり、個人情報の取り扱いに統一が取りづらい（公的機関以外の場合など）。
- ・情報連携のフローチャート等が整っておらず、現在準備中である。

## 群馬県館林市

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

- ・従来より、保健センターにおいて妊産婦等への支援を行っていたが、核家族化や少子化の進行に伴い出産や育児に対する不安を抱える保護者等が増えており、妊娠期からの切れ目のない支援のために相談窓口の充実やサービスの拡充、支援ニーズに応じたサービス調整や関係機関の連携等が急務であった。
- ・そこで、子育て世代包括支援センターとしての機能を保健センターにもたせるとともに、産前産後サポーター派遣事業、産後ケア事業などの事業も開始することで、妊娠期、出産前後、子育て期にわたって切れ目のない支援を行うための仕組みづくり、体制づくりに取り組むこととした。

#### ◆ 特色・PRポイント

- ・切れ目のない支援のためには、対象者との信頼関係が欠かせない。そのため、妊娠届出時の面談をはじめ、妊婦訪問(来所含む)等を通じて全員と顔の見える関係づくりを重視している。支援プラン作成時も、利用者目線の支援プランとなるよう、ご本人と一緒に作成することとしている。
- ・さらに、妊産婦や乳幼児等の状況を継続的に把握し、支援ニーズや悩みごとの早期発見、予防のために、主体である保健センターだけでなく、庁内各課や医療機関、助産所、保育所・幼稚園・認定こども園、地域子育て支援センター等と連携している。
- ・妊娠届出時のアンケートでは、妊婦本人の状況だけでなく、家庭全体の状況を把握できるよう調査項目を設定するとともに、面談の中で家族間の関係性を引き出せるようヒアリングし、その家庭全体でのセルフケア能力向上に結び付けられるような関わりに活用している。



# 千葉県松戸市



# 千葉県松戸市

## 地域の概要

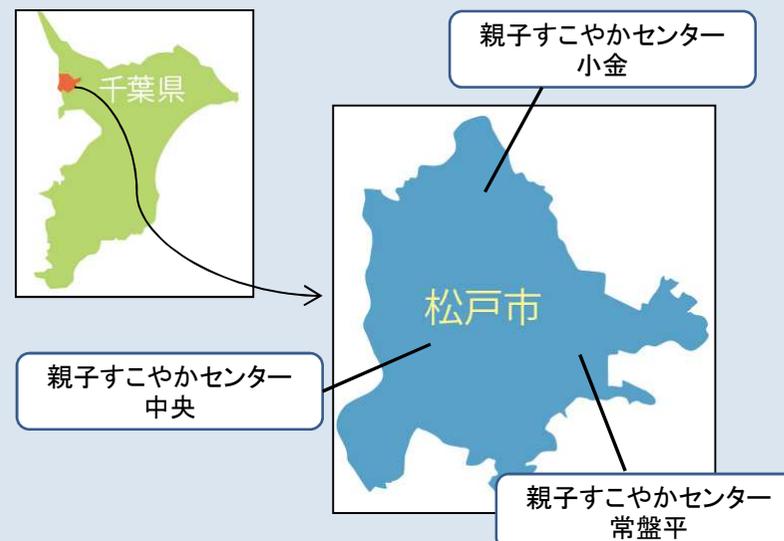
- ・人口:( 486, 212 )人 平成29年3月1日現在
- ・年間出生数 :( 3, 780)人 平成27年度
- ・その他

松戸市は、都心から20キロメートル圏に位置し、さらに千葉県の東葛地域(北西部)の一翼に位置している。

西側は江戸川を挟んで東京都葛飾区・埼玉県三郷市に隣接し、南側は市川市、東側は鎌ヶ谷市、東側から北側にかけて柏市・流山市と隣接している。

市域面積は61.38平方キロメートルで、東西11.4キロメートル、南北11.5キロメートルと、ひし形状の広がりとなっている。

都心から約20キロメートル、電車で約30分の距離にあり、首都圏の住宅都市として発展を続けている。転出入が多い地域である。



## 概況

1 名称: 松戸市親子すこやかセンター 中央・小金・常盤平

2 場所: 松戸市中央・小金・常盤平保健福祉センター内

3 実施体制 (1)担当者: 子ども部子ども家庭相談課母子保健担当室

(2)人数: 親子すこやかセンター 中央 保健師常勤1名・社会福祉士常勤1名・非常勤助産師2名  
 親子すこやかセンター 小金 保健師常勤1名・社会福祉士常勤1名・非常勤助産師1名  
 親子すこやかセンター 常盤平 保健師常勤1名・社会福祉士常勤1名・非常勤助産師1名

4 設置開始時期: 平成28年4月

# 千葉県松戸市

## 取組内容

**【保健師による妊娠届全数面接】**昭和58年から本庁・各支所内9箇所の市民健康相談室にて保健師が妊娠届時全数面接を開始。

保健師が、「親子すこやかプラン(プランⅠ)」を使用し、妊娠初期から必要な母子保健・育児について情報を提供し、妊娠がわかった時の気持ちや体調、相談・協力体制などを確認し、心配なことに関して相談を行い、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援する。早期に支援を必要とする方については、親子すこやかセンターで支援を開始し、その他支援の必要な方は保健福祉センターで、継続支援をしていく。(転入者へも同様)

### 【親子すこやかセンター】

「保健師」「社会福祉士」「助産師」の3職種が協力し、妊産婦等からの様々な相談に応じ、関係機関と連携し、適切なサービスや制度を組み合わせ、妊産婦の状況にあわせた個別のプラン(プランⅡ)を作成し、継続した家庭訪問や面接で、きめ細やかな支援を行う。週1回の定例カンファレンスを実施し、支援方針の見直しをする。

### 【関係機関との連携】

- ・産科医療機関との懇談会を実施。現場レベルで情報交換、意見交換を実施し、医療機関との連携を深め、妊娠期から子育て期の支援の充実を図る。
- ・保育所、幼稚園、民生児童委員等と「子育て支援に関する関係機関との情報交換会」に出席し、地域で「顔のみえる関係」の構築

### 【周知】

平成28年6月 市の広報「親子すこやかセンター特集号」発行。妊娠届時に「親子すこやかプラン」にて紹介。

## 取組の評価(取組の効果や課題等)

### 【取り組みの効果】

- ・妊娠届時に「親子すこやかプラン」で、妊婦さん1人ひとりにあわせて、妊娠・出産・子育てに関する母子保健・子育て支援サービスを紹介できる。
- ・妊娠初期から、保健師、助産師、社会福祉士による専門的な支援を開始し、安心して妊娠・出産を迎え、子育てができるよう関係機関と連携し、包括的、継続的に支援を行える。
- ・定例カンファレンスでは、保健師、社会福祉士、助産師の専門性をいかし、支援方針の共有と見直しを図り、継続した支援が実施できる。
- ・妊娠中から医療機関からの連絡・相談が増加。

### 【課題】

妊娠届の時面接以降産前休暇へ入るまでの間、連絡がとりにくい。  
ひとり親家庭、再婚家庭等家族形態の変化に伴い、社会的支援を必要とする家庭が増えている。  
妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を、医療機関等の関係機関と連携しながら充実。

# 千葉県松戸市

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

#### 【平成26年度から、関係部署の管理職会議で検討開始】

妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援をワンストップで実施することで、親の不安を解消し、関係機関の連携を強化することを目的として、市内3か所の保健福祉センターに「子育て世代包括支援センター」を設置する事を合意。

#### 【平成27年度内 課内プロジェクト会議(24回)を実施】

##### ● 現状分析、使用帳票の確認

妊娠期から子育て期における支援体制の見直し。使用帳票案の検討、作成(支援プラン案含む)。

保健福祉センターとの役割分担検討

##### ● 先進市視察

##### ● 平成28年度に向けて体制づくり

週1回の3親子すこやかセンターごと定例カンファレンス(緊急時は臨時も開催)

月1回の3親子すこやかセンター全職員と管理職等の会議

親子すこやかセンターと保健福祉センターの役割分担

※市民が覚えやすく、親しみやすい名称として「親子すこやかセンター」と名づけた

### ◆ 特色・PRポイント

- ・市内3か所の保健福祉センターと同じ場所に親子すこやかセンター事務室を設置
- ・保健師、社会福祉士、助産師の3職種を配置
- ・産後ケア事業(委託先:市内産科医療機関等)

平成28年1月から宿泊型、10月から訪問型、平成29年2月から通所型を開始



# 新潟県長岡市



## 新潟県長岡市

## 地域の概要

長岡市は、新潟県の中部に位置し、日本一の大河・信濃川が市内中央をゆったりと流れ、市域は守門岳から日本海まで広がる人口約28万人の特例市である。

中越大震災をはじめとした相次ぐ災害を乗り越え、平成の大合併により、11の市町村が一つになり、「米百俵」のこころを受け継ぐひとづくり、市民協働の伝統に根ざすまちづくりを進めている。

保育士や子育てコンシェルジュが常駐する屋根付き公園の「子育ての駅」が市内全地域13カ所に開設され世代を超えた交流や子育て支援が行われている。

- ・人口:275,361人(平成28年4月1日現在)
- ・年間出生数:2,029人(平成27年)
- ・合計特殊出生率:1.45(平成27年)

子育ての駅千秋「てくてく」



## 【地図】

● 母子保健型

○ 基本型



## 概況

1 場所: 母子保健型 子ども家庭課 支所市民生活課(10カ所)  
基本型 子育ての駅8カ所(全ての子育ての駅に拡充予定)

2 実施体制 (1)担当課: 子ども家庭課・支所市民生活課 (2)人数 保健師19人 助産師4人 栄養士1人 事務職員10人

3 設置開始時期:平成28年4月

## 新潟県長岡市

## 取組内容

## 長岡市子育て世代包括支援センター～妊娠から出産・育児まで切れ目のない子育て支援～

- 産後ケアコーディネーターを配置  
支援が必要な妊産婦の情報を集約し、地区担当の保健師と一緒に一人ひとりのニーズに沿った支援プランを立て、必要な支援が円滑に行われるように調整し、妊娠・出産・育児まで一貫した支援を行う。
- 妊娠届出時に助産師・保健師が面談を行い全ての妊婦の状況を把握
- 産科医療機関と定期的な連絡会議を行い関係者で情報を共有
- 妊産婦の支援をよりきめ細かく行う体制を整備(主要事業については下記参照)
- 子育ての駅に、常駐している保育士や子育てコンシェルジュによる子育て相談

	産後デイケアる～む ままりら	産後デイケアる～む ままナビ (29年度開始)	ままのまカフェ	産後ケア訪問	産前産後寄り添い 支援訪問
実 施 場 所	マンションの1室	保育園(別棟)	子育ての駅等 (22カ所)	対象者の自宅	対象者の自宅ほか
対 象 者	きめ細やかな支援を必要とする妊産婦 (0歳児)	主に妊産婦(0歳児) *就園前の希望者も 利用可能	主に0歳児とその家族	養育困難家庭で、きめ細やかな支援を必要とする産婦	身近に支援者のいない妊産婦
主 な 対 応 者	産後ケアコーディネーター(助産師)	保育士	母子保健推進員	助産師	母子保健推進員
対 応 者	助産師・保健師・栄養士・臨床心理士等	助産師・保健師・栄養士等	助産師・保健師・栄養士・歯科衛生士等		
内 容	ままの健康支援 妊産婦の相談、 産後の心身のケア	ままの学びの場 具体的な育児方法や 関わり方を学ぶ	親同士の交流の場 当事者目線での相談	産後のケアを実施しながら、育児知識を身につける	一緒に育児をしながら 寄り添う

## 新潟県長岡市

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

- ・妊娠届出時から支援が必要な家庭を早期に把握し、支援に繋ぐことができている。ままりやまのまカフェでは、助産師など専門職による育児相談や助言をすることで、母親の不安の軽減と悩みの解決につながっている。同じような悩みや不安を持つ母親たちと過ごすことで育児に関する情報交換ができ、孤立感を防ぎ産後うつ予防や先を見通した子育てを考えられるようになっている。このように妊娠・出産後から切れ目なく支援することにより、安心して子育てできる仕組みが構築できた。
- ・地域で活躍している母子保健推進員と協働で実施していくことで、子育て世代包括支援センターを拠点とし地域全体に子育て支援の意識が広がり地域のソーシャルキャピタルの醸成を促すことができている。

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

核家族化、地域社会との関係の希薄化などの影響で、出産後に育児不安や戸惑いを抱えている産婦が多くみられている。生後2か月に行っている全戸訪問からも、体調不良や休ませてほしい、話を聞いてほしい等の声が多く聞かれ、産後の状態を良好にするために出産後早期からの支援の充実が求められていた。

地域の助産師や母子保健推進員など関係者と課題を共有し、一緒に事業を行っている。

#### ◆ 特色・PRポイント

- ・母子保健と子育て支援部門が教育委員会で統合されているため、妊娠期から乳幼児期まで連携しやすい体制が整っている。
- ・子育ての駅、産後デイケアルームままりや、各支所など市民にとって身近な場所において、気軽に専門職や子育てコンシェルジュ、母子保健推進員などに相談できる。
- ・ままりやは、リラックスして相談できる環境をとの思いからマンションの1室で行い、母子保健推進員がお子さんを見守る中で、じっくり相談できる体制を作っている。利用者からは、家庭的で落ち着いた雰囲気での相談しやすいと好評である。
- ・出産直後からの支援「ままりや」から、ハイハイ・初めてののおでかけの時期「まのまカフェ」、遊びが盛んになった頃は「子育て駅」へと成長に沿った相談場所を整備。

# 新潟県長岡市

母子手帳の交付は保健師・助産師が全員に面接



ままのまカフェでの栄養相談



ままりらでの育児相談



子育ての駅の屋内公園



育つよろこび 育てる幸せ  
みんなで子育てするまち 長岡

# 新潟県長岡市

## 妊娠届出書

## 妊娠届出書

## (表)アセスメント表 (裏)支援計画

<p>※太線内のみ、記入してください。 母子健康手帳番号</p> <p>妊婦の氏名 (生年月日) 昭和平成 年 月 日 歳 職業又は勤務先</p> <p>夫の氏名 夫の職業</p> <p>世帯主名 同居 子供(人)・夫</p> <p>住所 長岡市 自宅電話</p> <p>妊婦の連絡先 自宅・携帯電話 ( ) 転居予定日</p> <p>分娩予定日 平成 年 月 日 妊婦週数</p> <p>妊婦中の受診医療機関名 出産予定医療機関名</p> <p>性病に関する健康診断(再受診) 受けていない・受けた 結核に関する健康診断 回 これまでの分娩回数</p> <p>妊娠回数(今回の妊婦を含む) 回 これまでの分娩回数</p> <p>今までの妊娠・分娩の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>妊娠回数</th> <th>年月</th> <th>状況</th> <th>出生児の体重</th> <th>妊娠回数</th> <th>年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>年 月</td> <td>出産・流産・死産</td> <td>g</td> <td>4</td> <td>年 月</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>年 月</td> <td>出産・流産・死産</td> <td>g</td> <td>5</td> <td>年 月</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>年 月</td> <td>出産・流産・死産</td> <td>g</td> <td>6</td> <td>年 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>妊娠がわかったときの気持ちはいかがでしたか。 とてうれしかった・予想外で戸惑った・困った</p> <p>妊娠・分娩にかけて協力してくれる人がいますか。 はい(誰)</p> <p>これまでににかかった病気はありますか。 なし・あり(甲状腺疾患・心)</p> <p>あなたは、たばこを吸いますか。 吸わない・妊娠してやめた</p> <p>夫・家族は、たばこを吸いますか。 吸わない・吸う(1日)</p> <p>あなたは、酒類を飲みますか。 飲まない・妊娠してやめた</p> <p>妊娠中や出産後に心配なこと、不安なことはありますか。 なし あり → 育児のこと・健康状態(本人・上の子)の育て</p> <p>上記のとおり届け出ます。 参考事項について、支援が必要となる場合は医療機関等へ情報提供することに同意( )</p> <p>長岡市長様 届出者(妊婦)氏名</p>		妊娠回数	年月	状況	出生児の体重	妊娠回数	年月	1	年 月	出産・流産・死産	g	4	年 月	2	年 月	出産・流産・死産	g	5	年 月	3	年 月	出産・流産・死産	g	6	年 月	<p>母子手帳番号</p> <p>妊婦氏名</p> <p>生年月日 S・H 年 月 日(歳)</p> <p>児氏名</p> <p>生年月日 H 年 月 日</p> <p>住所</p> <p>分娩予定日 年 月 日(妊娠届出時 W)</p> <p>把握経路</p> <p>妊婦届</p> <p>医療機関からの照会</p> <p>退院時サマリー</p> <p>新生児訪問</p> <p>こんにちは赤ちゃん訪問</p> <p>母推訪問</p> <p>その他</p> <p>地区(担当部署)</p> <p>【家族状況】</p>	<p>いつ/だれが</p> <p>支援内容</p> <p><input type="checkbox"/> 妊婦健診確認 <input type="checkbox"/> 妊婦訪問</p> <p><input type="checkbox"/> 新生児訪問 <input type="checkbox"/> 産婦訪問</p> <p><input type="checkbox"/> ままら利用 <input type="checkbox"/> こんにちは赤ちゃん訪問</p> <p><input type="checkbox"/> 産後ケア訪問 <input type="checkbox"/> 産前産後寄り添い訪問</p> <p><input type="checkbox"/> 母推訪問(妊婦・赤ちゃん) <input type="checkbox"/> 乳児相談</p> <p><input type="checkbox"/> 要対協受理 <input type="checkbox"/> 乳児健診</p> <p>評価の時期 年 月 ( )</p>
妊娠回数	年月	状況	出生児の体重	妊娠回数	年月																						
1	年 月	出産・流産・死産	g	4	年 月																						
2	年 月	出産・流産・死産	g	5	年 月																						
3	年 月	出産・流産・死産	g	6	年 月																						
<p>アセスメント領域と課題</p> <p>当てはまる項目に☑チェック</p> <p>内容・気付いたこと</p> <p>子どもの状況</p> <p>出生状況</p> <p>発育</p> <p>健康・身体状況</p> <p>基本的な生活習慣</p> <p>行動面</p> <p>養育者の状況</p> <p>生育歴</p> <p>妊娠歴</p> <p>健康・身体状況</p> <p>精神状態・知的能力</p> <p>嗜癖・依存</p> <p>性格的傾向</p> <p>養育態度</p> <p>育児・養育行動</p> <p>子どもへの態度</p> <p>家事能力</p> <p>問題認識対処能力</p> <p>公的機関の支援</p> <p>夫婦関係</p> <p>家族形態</p> <p>家族・親族</p> <p>親子関係</p> <p>分離歴</p> <p>きょうだい関係</p> <p>居住状況</p> <p>労働状況</p> <p>経済状況</p> <p>地域・社会関係</p>	<p>実施事項</p> <p>サービス確認欄</p> <p>妊婦健診</p> <p>初回</p> <p>2回目</p> <p>3回目</p> <p>4回目</p> <p>5回目</p> <p>6回目</p> <p>7回目</p> <p>8回目</p> <p>9回目</p> <p>10回目</p> <p>11回目</p> <p>12回目</p> <p>13回目</p> <p>14回目</p>	<p>月日</p> <p>評価</p> <p>【理由】</p> <p>継続</p> <p>終了</p>																									

# 新潟県長岡市

子育て支援プラン(乳児)							29-
地区	住所	名前		生年月日	連絡先		
				H . . .	時間帯		
健診日	4か月・乳相・10か月	受付番号	問診	指導	記入	地区担当	
H . . .		( )					
健診時の様子			今後の方針				管理不要・要管理
			・地区担当確認				
			時期	___か月後(H 年 月)			
			方法	電話・訪問 次回健診( ) その他( )			
			内容				
健診時に伝えたこと			・他機関紹介 ・まみりら(予約済 / 母より後日予約・紹介のみ) ・寄り添い支援訪問 ・家庭児童相談室 ・医療機関( ) ・その他( )				
保護者の反応			・母からの連絡待ち ・情報提供				
実施結果			今後の方針				管理不要・要管理
			・終了				
			・地区担当継続				
			時期	___か月後(H 年 月)			
			方法(電話・訪問・次回健診・その他)	( )			
			内容				
			・他機関紹介 まみりら( / 予約・紹介のみ) ・ままのまカフェ・医療機関 その他( )				
			・母からの連絡待ち				
			・その他				

子育て支援プラン(幼児)							29-
地区	住所	名前		生年月日	連絡先		
				H . . .	時間帯		
健診日	1.6歳・3歳	受付番号	問診	指導	記入	地区担当	
H . . .		( )					
健診時の様子			今後の方針				管理不要・要管理
			・地区担当確認				
			時期	___か月後(H 年 月)			
			方法	電話・訪問・保育園 次回健診( ) その他( )			
			内容				
健診時に伝えたこと			・他機関紹介 ・こども発達相談室(予約済 / 母より電話・紹介のみ) ・療育相談( / 予約済・日程について後日相談・紹介のみ)(→地区担当から電話・母より電話) ・家庭児童相談室 ・医療機関( ) ・その他( )				
保護者の反応			・母からの連絡待ち ・情報提供				
実施結果			今後の方針				管理不要・要管理
			・終了				
			・地区担当継続				
			時期	___か月後(H 年 月)			
			方法(電話・訪問・次回健診・その他)	( )			
			内容				
			・他機関紹介 こども発達相談室・療育相談・医療機関 その他( )				
			・母からの連絡待ち				
			・その他				

子育て支援プラン

# 岡山県津山市

暮らし、  
ほんもの。



# 岡山県津山市

## 地域の概要

・人口102,896人  
平成29年2月1日現在

・年間出生数：(900)人  
平成27年度

### ・その他

津山市は、岡山県の北東部に位置し、中国地方最大の津山盆地を中心とした四季折々の豊かな自然に囲まれたまちである。

古くは美作国(みまさかのくに)の国府が置かれ、以来、岡山県北地域の政治・経済・文化の中心として発展してきた。津山城跡や昔ながらの町並みなどの歴史名所が数多く残る城下町でもある。



## 概況

1 場所:津山市役所 津山すこやか・こどもセンター 健康増進課内

2 実施体制 (1)担当者:母子保健コーディネーター(嘱託助産師・保健師)

(2)人数2名

3 設置開始時期:平成28年4月

# 岡山県津山市

## 取組内容

・妊娠期から出産、子育てにわたる、切れ目のない支援を目指し、健康増進課内に子育て世代包括支援センターを開設。妊娠届や訪問等の情報から、子育て支援サービスの紹介や関係機関と連絡・調整を行い支援している。

### ①母子保健コーディネーター配置

嘱託助産師・保健師を配置。妊娠中から子育て期にわたるまでの相談に対応している。支援の必要な妊産婦に対して、支援プランを作成している。状況に応じて、関係機関と連絡を取るとともに、子育てサービスの情報提供や調整を行い、支援している。

### ②妊娠期からの切れ目のない支援の実施

妊娠届出時、リスクアセスメントを行い、若年・高齢妊婦、望まぬ妊娠、未入籍等のハイリスク妊婦に対して、電話で状況を確認。必要に応じて、医療機関等の関係機関と連携し、支援している。産後は生後1ヶ月までに全数の家庭に電話連絡し、母子の健康状態の把握を行い、早急に支援が必要な場合には、地区担当保健師とともに訪問し、サービスの紹介や関係機関との連絡・調整等の対応を行う。心身の不調や、育児不安がある場合には、養育支援会議で支援プランを作成し、定期的に支援の評価を行う等、切れ目のない支援を行っている。

### ③妊産婦ケア事業の実施

アウトリーチ型：妊産婦が抱える、妊娠・出産、子育てに関する悩み等に対して、助産師や保育士、ホームヘルパー等が訪問を行い、相談・助言や家事・育児のサポートを行う。  
宿泊型：市内産科医療機関に宿泊し、母体の健康管理や産後うつへのケア、授乳指導、乳児のケアを行う。

### ④安心して子育てできるネットワークづくり

児童館、子育て支援センター等の地域子育て支援拠点や妊産婦ケア事業スタッフ間で情報共有や各種研修を行う。ダウン症児、ふたごの会の開催。

### ⑤周知

妊娠届出時、地域子育て支援拠点、保育所、幼稚園、子育て用品を扱う店舗にリーフレットを配布。市のホームページにも掲載。民生委員・児童委員、主任児童委員会等の各種団体に取り組み内容の紹介を行う。

## 取組の評価（取組の効果や課題等）

### 【効果】

- 児童福祉・子育て支援の担当部署である、こども課・こども子育て相談室と母子保健の担当部署である健康増進課が同じフロアであることから、母子保健コーディネーターを中心に、子育てについての相談をワンストップで受け付け、必要なサービスや事業に繋ぐことができている。
- 母子保健コーディネーターが、妊娠期から支援を行うことで、産後早期から介入しやすくなっている。また、個々に合った支援プランを作成し支援することで、妊産婦が先の見通しを持つことができ、安心して出産・子育てに臨むことができている。
- 定期的に支援の評価を行い、切れ目のない支援ができていることを確認している。
- 地区担当保健師と母子保健コーディネーターが関わることで、地区担当保健師が交代した場合でも、母子保健コーディネーターが継続した支援を行うことができるため、安心して子育てできる。
- 子育て支援施策が充実したことで、親子で出かける場が増えている。児童館、子育て支援センター等の地域子育て支援拠点や妊産婦ケア事業のスタッフと連携することで、ケースと一緒に支えていくという視点を持ち、関わるができている。また今後の市の子育て支援施策について、目指すべき方向性を確認することで、それぞれの機関での役割を明確にすることができている。

### 【課題】

- 従来の母子保健担当課へ相談が入ることが多いため、子育て世代包括支援センターとしての名称・役割が周知できていない。今後、あらゆる機会を通じて周知していく必要がある。
- 虐待通告となったケースについて、支援の振り返りや、今後の支援方針の確認について、会議の中で行う必要がある。

# 岡山県津山市

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

出生数が減少していく中、医療機関からのハイリスク妊産婦の連絡や、養育支援家庭・児童虐待新規通告件数が年々増加傾向にあった。また、日頃の保健師活動の中から、現在の子育て世代は「知識は豊富にあっても、生活の中で応用する力が乏しい」「理想の子育てと現実のギャップに戸惑う」「マニュアルどおりにならないことへの苛立ち」「認めてくれる存在がない」「身近な存在である両親に本音が言えない」等の課題を抱えていることが明確になっていた。そのため、支援が必要な妊産婦へ向けた効果的な取り組みが求められる現状があった。

これらの課題から、妊娠期からの支援を開始するため、妊娠届出時に、経験やスキルに関わらず、どの保健師でも必要な情報が収集できるよう、妊娠届出時アンケートを作成。面接時の情報から、レベル毎に分類し、今後の支援方針を決定できるようシステム化した。また、支援方針の決定や進行管理について、管理職を含めた養育支援会議(定例的に開催。緊急性のある場合は、随時開催。)での協議を行い、組織として効果的な対応ができるようになった。養育支援会議については、参加した保健師が対人援助技術等を学ぶ機会にもなるなど、人材育成としての機能も果たすことができています。

市内医師会の産科部会・精神科部会、介護事業所等の協力も得て、妊産婦ケア事業等の支援サービスを構築し、安心して子育てできるよう体制づくりも行った。

平成28年度からは母子保健コーディネーターを配置し、支援が必要な妊産婦に対して、定期的な評価を行い、ニーズに応じた支援を切れ目なく行うことができています。

### ◆ 特色・PRポイント

- 産科医療機関とのケース連絡を密にして、日頃から顔の見える関係を心がけていることにより、妊娠中や産後の入院中から早期介入ができています。
- 子育て支援施策の担当課が同じ部内であるため、部内や地域子育て支援拠点等とも連携しやすい。
- 保健師個人の判断ではなく、組織としての対応ができるよう体制を整備している。
- ホームヘルパー派遣の委託先事業所の中には、母子保健分野の経験が少ないところもあるため、乳児のケア、離乳食、産後うつなどをテーマとして定期的に研修を行い、サービスの向上に努めている。
- 妊産婦ケア事業実施に向け、産科医療機関と、ケア内容や対応方法などの詳細を協議することで、利用者の立場に立った利用しやすい制度とすることができた。

# 岡山県津山市



## 子育て世代包括支援センターへご相談ください



妊娠や子育てには不安なことがたくさんありますよね。津山市では専任の母子保健コーディネーターが、妊娠から出産・子育てまで幅広く、相談に応じます。  
また、妊娠・出産・子育てのサービスの紹介や講座を行い、安心して出産や子育てができるようにサポートしていきます。ご家族の方からの相談や電話での相談も受け付けています。



津山市子育て世代包括支援センター(津山市役所健康増進課内)  
電話 (086)32-2069  
※月～金 8:30～17:15 (12:29～1:3, 祝日を除く)

## 妊娠届出時アンケート

津山市ではお母さまが安心して子育てできるように、様々な場面で以下の項目にサポートさせていただきます。

津山市に住民票が  
ありますか

はい - いいえ (住民票のある市町村名 )

家族の種類

配偶・家族・その他 ( ) 本人・家族

届出形態

既婚・今後入籍予定 ( 年 月 日 )・入籍未定・その他 ( )

お話を聞きますか

はい (1日 本) - いいえ - 届出を知らずやめた

お話を聞きますか

はい (1日 m) - いいえ - 届出を知らずやめた  
週 回または月 回(1日 m)

親子以上に家族はいますか

はい [ 夫・友人・両親・祖父母・その他( ) ] - いいえ

妊娠を知った時の気持ちはいかがでしたか

①とてもうれしかった ②予想外でうれしかった ③予想外で戸惑った  
④悲しかった ⑤何とも思わなかった

里帰り出産しますか

しない - する →(住所 )

妊娠、出産、育児について相談や協力してくれる人はいませんか

いない - いる →( 夫・実父・実母・義父・義母・兄弟姉妹・友人・その他 )

今、心配なことはありますか。(複数回答可)

①産後の経過(胎児の発育・体調の変化) ②出産のときのこと(里帰りなど) ③子育ての仕方 ④上の子の育児  
⑤病気のときの対応 ⑥自分自身の健康面( ) ⑦夫・パートナーとの関係 ⑧あなたや夫・パートナーの働き  
⑨経済面(出産費用のこと・育児費用のこと・生活費のこと) ⑩近所・祖父母の状況 ⑪育児への周囲の協力 ⑫仕事  
⑬その他( )

今までに人権や手帳、こころの病気をおさしたことがありますか(病歴)

はい - いいえ ( )

地域の賛助委員さんの活動を希望しますか  
(希望者には、電話して訪問します)

妊娠中 はい(町内会名 ) - いいえ  
出産後 はい(お宅まで訪問) - いいえ  
↳ 正印は、出産後申請してください。

～津山市の母子保健事業をご利用の皆さまへ～  
津山市では、妊娠婦さんや赤ちゃんの家庭訪問・健診等を通して、出産や育児の支援を行っているところですが、より安心安全な出産や育児の支援を実施していくためには、関係機関(医療機関・移動先の市町村)と連携をしていく必要があります。必要に応じて、これらの情報を関係機関に提供させていただくことがあります。また、今後本市の子育てサービスの充実のため、本アンケートを研究・分析のために利用させていただきます。

本アンケート結果を、これらの目的以外に使用することはありません。  
※研究・分析においては個人が特定できない形でデータベース管理を行い、統計的に処理します。  
上記のことを理解し、情報提供および研究において本アンケートをご利用されることに同意します。

妊婦番号(又は代理人番号) ( )

子エック ( ) (受付 )

## 養育支援会議 ケース状況票

年 月 日 会議

地区担当( )

氏名

生年月日 年 月 日生 生後 月 日 第 子

母

生年月日 年 月 日( 歳) 職業

父

生年月日 年 月 日( 歳) 職業

住所

連絡先

訪問時の状況

妊娠中の状況: ジェノグラム  
出生体重: g (在胎週数: 週 日)  
訪問時体重: g (1日体重増加量 g)  
栄養状況:  
エジソンラ: 点  
赤ちゃんへの気持ち: 点  
ハイリスク連絡 有・無 医療機関名( )  
ハイリスク連絡日時:( 月 日)

【検討したいこと】

地区担当より

【現在までの支援方法(判断した内容・訪問で伝えたこと・対応したことを記入)】

【今後の支援方針】

支援計画書

【アセスメント】

【短期目標】 (長期目標)

【アセスメント訪問】

【切回計画】( 月 日) 計画者( )

実施事項・利用するサービス	方法・回数	支援期間
養育者への支援		

【目標達成状況】

月/日	現況	アセスメント	方針
～対応～			
□ ( )			
□ 通常の母子			
□ 妊産婦ケア			
□ その他( )			

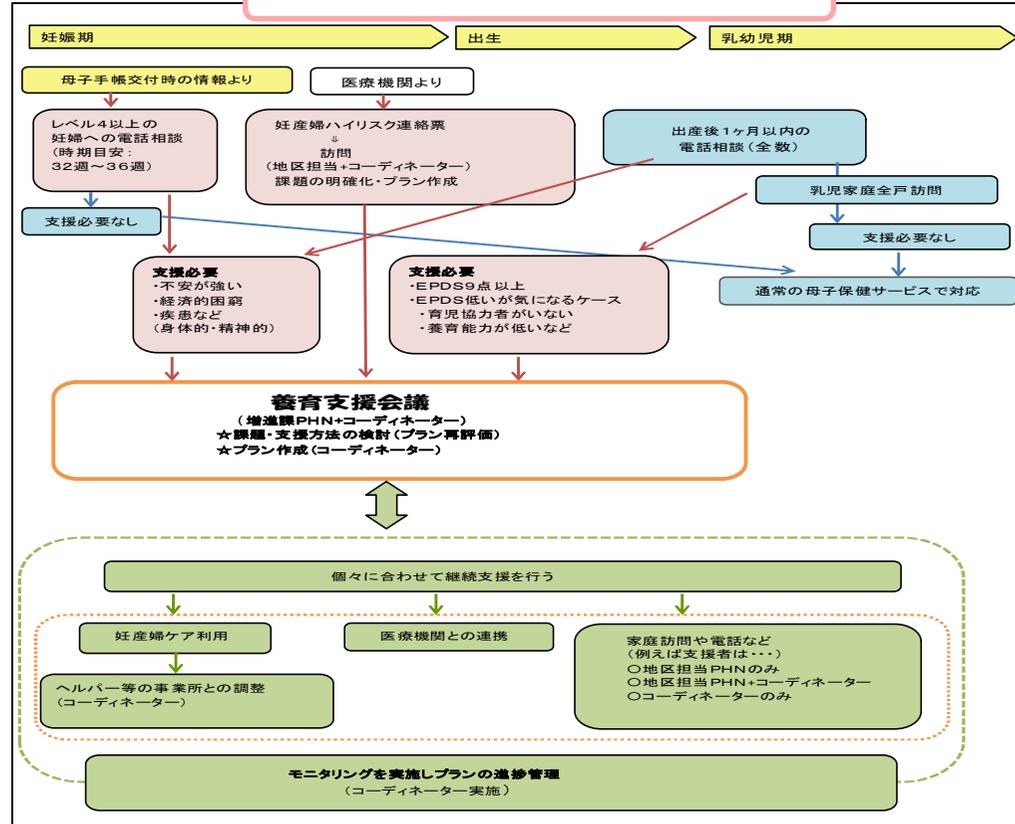
【最終評価】

# 岡山県津山市

## 保健師訪問のスクリーニング基準

- <訪問必>
5. 早急に訪問の必要性がある
    - ・妊娠届出が妊娠28週以降
    - ・若年(18歳未満)
    - ・自宅出産を過去にしたことがある、する予定
 (※虐待、養育支援家庭のケースと把握できた場合も含む)
  4. 妊娠中に訪問・連絡、出産後に早期の訪問が必要なケース(養育支援会議に出すケース)
    - ・若年(18歳～20歳未満)、20歳以上の学生
    - ・経済的困窮(夫婦ともに無職・フリーター、生活保護)
    - ・妊娠に対する戸惑い(③④⑤)
    - ・望まぬ妊娠(③④から聞きとった場合)
    - ・未婚(入籍予定・未定、シングル含む)
    - ・母親の病歴あり
      - 身体的：妊娠や生活に影響する病気や治療中の疾患あり
      - 精神的：精神疾患の既往、障害の疑いあり(知的に低い、反応が弱い、字が書けない など)
    - ・多胎、5人目以上の出産
    - ・育児協力者がいない
    - ・妊娠届の提出が週数12週～27週
    - ・初産で高齢出産(40歳以上)
    - ・外国人
    - ・情報提供の同意が説明をしても得られない
    - ・35歳以上の初産で不妊・不育治療歴あり
  3. 保健師訪問が必要
    - ・喫煙している、妊娠を知ってやめた
    - ・飲酒をしている
    - ・その他面接で気になる母親など
    - ・不妊治療、不育治療歴あり
  2. 保健師訪問が必要
    - ・第一子
 (※聞き取りの中で、担当保健師が上の子の発達フォローをしていると分かった場合も含む)
  1. 問題なし

## 養育支援 支援フロー図



## 養育支援台帳

支組名	児氏名	児氏名カナ	生年月日(漢字は予定日)	母氏名	母年齢	担当保健師	支援のきっかけ	初回訪問日	妊婦訪問	産婦訪問	児訪問	相談延数(TEL・面接)	ネウボウ妊婦訪問	ネウボウ産婦訪問	ネウボウ児訪問	ネウボウ相談延数(TEL・面接)	ケース会議	ハイリスク連絡票	養育支援会議	通告	ケースの状況	その他の経過(直接入力)	最終	その他支援(連携先)	養育支援会議日	家庭レベル	支援レベル	

# 広島県広島市

# 広島県広島市

## 地域の概要

広島市は、広島県の西部に位置し、8区の行政区を持つ政令指定都市で、中四国地方で最大の都市である。

現在、「200万人広島都市圏構想」の実現を目指して、「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略に基づき、「若い世代の人口確保」と「出生率の向上」に向けた経済政策の推進や、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援などに取り組んでいる。

- ◆人口 1,193,774人 (H28年2月末現在)
- ◆出生数 10,853人 (H27年)
- ◆合計特殊出生率 1.51 (H27年)

【地図】



## 概況

1 場所：各区保健センター(厚生部保健福祉課)

2 実施体制

母子保健コーディネーター  
(非常勤保健師) 各区1名

連携・協働

保健福祉課保健師

3 設置開始時期：平成27年4月

# 広島県広島市

## 取組内容

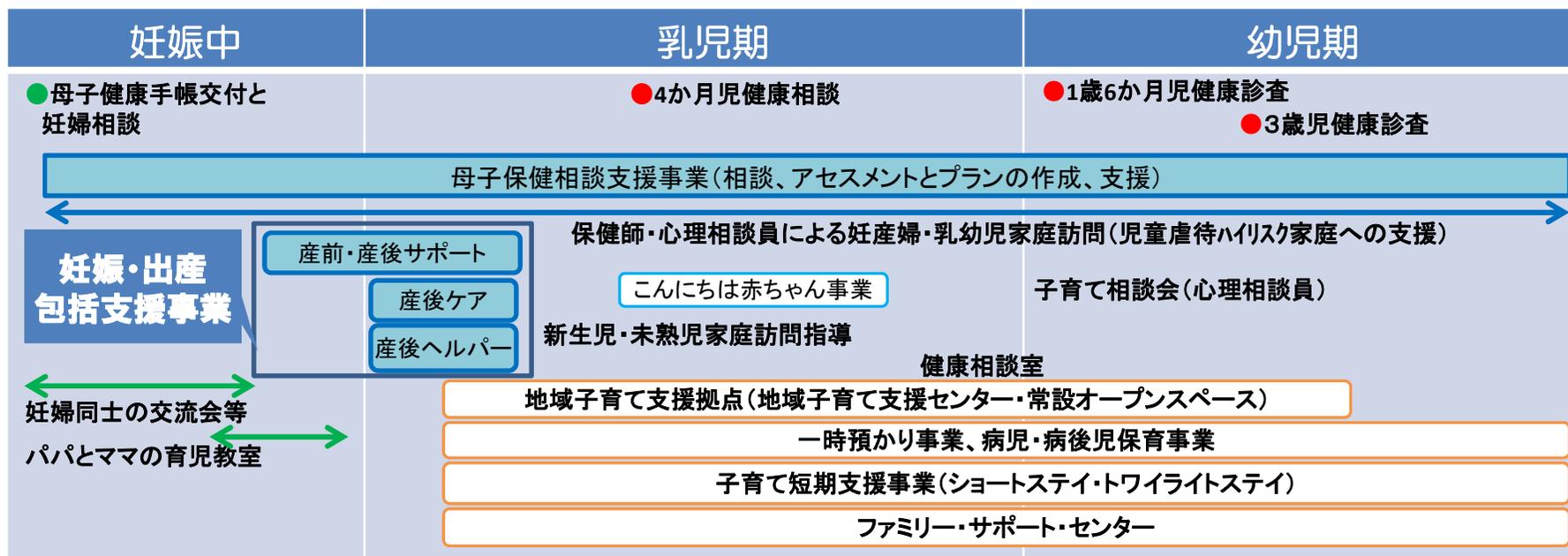
### 切れ目のない妊娠・出産・子育ての支援

#### 【妊婦全数面接と支援計画に基づいた支援の実施】

- ・ 妊娠届出時に、母子保健コーディネーター等の保健師が全数面接し、妊婦の心身の状況や妊娠出産に関する不安や悩み等把握する。
- ・ アセスメントの結果、継続した支援が必要な妊婦に対して、支援計画を作成し、それに基づいて、必要なサービス等を利用するとともに、必要な関係機関と連携しながら継続した支援を行う。

#### 【出産前後の支援サービスの充実】

平成27年10月から、妊娠・出産包括支援事業を開始し、産前・産後サポート・産後ケア(宿泊・デイサービス)・産後ヘルパー派遣を新たに開始した。これにより、これまで新生児訪問等まで支援ができなかったケースに妊娠中から介入しやすくなり、従来から実施している母子保健事業、子育て支援事業などを組み合わせ、切れ目ない支援体制の充実を図っている。



# 広島県広島市

## 取組の評価(取組の効果や課題等)

### ◆効果および課題

平成27年10月から、従来からの母子保健活動に加え、妊娠・出産包括支援事業を開始したことで、これまで支援の対象とできていなかったケースにも介入しやすくなり、継続した支援につながるようになる。今後、よりきめ細やかな相談支援を行うために、医療機関や助産所、保育所や幼稚園等の関係機関との連携強化を行うことが課題である。

## その他

### ◆取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

- 平成26年1月に実施したアンケート(4か月児健康相談児の保護者に実施)から、家族の支援が得られない、援助者がいない等により、家事や育児の支援や保健師・助産師訪問による育児相談のニーズがあることがわかった。
- 平成27年4月から母子保健コーディネーターを各区1名ずつ配置し、母子健康手帳交付時から妊婦の状況を把握し、必要な妊婦には支援計画を立てるため、新たに支援計画書を作成した。
- 平成27年10月から妊娠・出産包括支援事業(産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産後ヘルパー派遣事業)を開始するため、産婦人科医会や助産師会と連携し、事業者および市民への事業周知に取組んだ。

### ◆特色・PRポイント

#### 母子健康手帳交付

- ・専門職による全数面接
- ・幼児期まで一貫した管理を行うための管理票や母子保健にかかるシステム活用

#### 新生児訪問指導事業

- ・専門職による産後うつスクリーニング実施
- ・支援基準を作成し、統一を図っている



#### 妊娠・出産包括支援事業

- ・産前・産後サポート事業  
助産師による訪問支援
- ・産後ケア事業(宿泊・デイサービス)  
7医療機関、3助産所に委託し、産後の母親の心身のケア等を実施
- ・産後ヘルパー派遣事業  
訪問介護事業所に委託し、家事・育児支援を実施



#### 関係機関との連携

- ・産婦人科
- ・助産所
- ・小児科
- ・保育園
- ・幼稚園
- ・地域団体 など

# 広島県広島市

母子健康手帳交付のお部屋



子育てオープンスペース



地域の子育て情報も  
掲示しています♪

産後ケア事業居室  
(助産所)



**広島市 妊娠・出産包括支援事業**  
～産前・産後のお母さんをサポートします！～

産前・産後は、お母さんの方からごころの体調が最も不安定な時期です。広島市では、妊娠前から子育て期にかけて、地域で安心して子育てができるように、助産師による助産、産科医療機関などでの胎動やケア、ヘルプー派遣を通じて、お母さんの心身のケアや育児サポートなどの支援を行っています。

**事業内容**  
1 産前・産後サポート事業  
助産師が利用される方の育児を助産して、妊娠・出産・育児に関する相談、乳母乳養などをサポートします。

●利用できる方  
1 広島市に在住する方  
2 10月1日以前に生まれた子ども(5日)から産後6週(56日)未満の妊婦さんごとの子育て支援  
3 産前・産後ケア事業の対象となる方  
4 産前・産後ケア事業の対象となる方

●ケアの内容  
1 産前・産後ケア事業の対象となる方  
2 産前・産後ケア事業の対象となる方  
3 産前・産後ケア事業の対象となる方  
4 産前・産後ケア事業の対象となる方

●利用時間  
1 産前・産後ケア事業の対象となる方  
2 産前・産後ケア事業の対象となる方  
3 産前・産後ケア事業の対象となる方  
4 産前・産後ケア事業の対象となる方

●助産費  
1 産前・産後ケア事業の対象となる方  
2 産前・産後ケア事業の対象となる方  
3 産前・産後ケア事業の対象となる方  
4 産前・産後ケア事業の対象となる方

氏名	住所(市区)	出産予定日	産後ケア希望
アセスメント	<input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後)	<input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後)	<input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後)
支援内容	<input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後)	<input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後)	<input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後) <input type="checkbox"/> 産前・産後ケア事業(産前・産後)

支援計画書

平成 年 月 日

\_\_\_\_\_保健センター長 様

医療機関名\_\_\_\_\_

主治医\_\_\_\_\_

### 産婦指導連絡票

次の産婦及び新生児について訪問指導をお願いします。

産婦氏名		生年月日	昭和 年 月 日 平成 ( ) 歳
住所	広島市 区	電話 ( )	
分娩時の状況	娩出日	平成 年 月 日 ( ) 週	
	分娩時の異常等特記すべき内容		
新生児	出生時計測値	体重 ( ) g 身長 ( ) cm 頭囲 ( ) cm 胸囲 ( ) cm	
	出生時の異常等特記すべき内容		
産婦の状況			
主治医からの指示			

\*本連絡票を送付することについては、本人の了解を得ております。

平成 年 月 日

様

## 産婦指導報告票

次の産婦・新生児について訪問指導を実施しましたので報告します。

産婦氏名		生年月日	昭和 年 月 日 平成 ( ) 歳
児氏名		生年月日 出生順位	平成 年 月 日 第 ( ) 子
住 所	広島市 区 電話 ( )		
訪問時の状況	産婦		
	新生児 体 重 ( ) g      1日の体重増加量 ( ) g 栄養方法 母乳・混合・人工 一般状態		
指導事項			
今後の計画			
訪問日 平成 年 月 日	_____保健センター 電話 ( )		保健師

\*本連絡票を送付することについては、本人の了解を得ております。

特定妊婦・産後早期の支援を要する家庭台帳

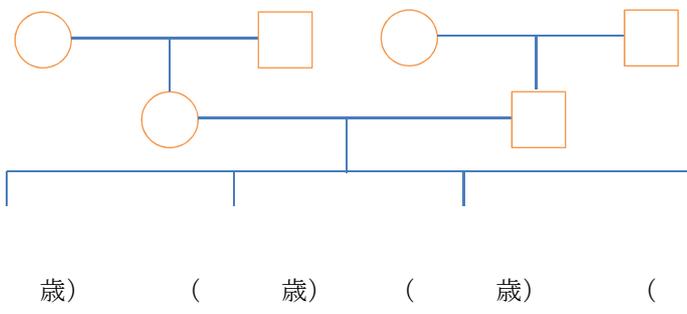
把握年月日 把握方法	妊婦氏名 (生年月日)	子どもの氏名 (分娩予定日) (生年月日)	(地区) 住所 ☎	リスク要因 (支援要の理由)	支援計画		要対協 情報提供	処遇 (備考)
					支援開始 時期	支援方法		
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . 母子健康手帳交付 その他 ( )	( . . )	(H . . ) (H . . )			・妊娠中 ・産後早期	・訪問 ・電話 ・教室案内 ・その他 ( )	有・無	終結・継続

要育児支援乳幼児台帳

把握年月日 把握方法	保護者氏名 (生年月日)	子どもの氏名 (生年月日)	(地区) 住所 ☎	リスク要因 (支援要の理由)	支援計画 (支援方法)	要対協 情報提供	処遇 (備考)
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続
H . . ( . . )					・訪問 ・電話 ・親子教室 A・B ・子育て相談会 ・健康相談室 ・その他 ( )	有・無	終結・継続

**妊娠・出産包括支援事業の利用にかかる調査票**  
 (産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産後ヘルパー事業)

作成日：平成 年 月 日

氏名	生年月日 年 月 日 ( 歳)		
出産予定日 (出生日)	年 月 日	出生順位	子
家族構成及び状況	 <p style="text-align: center;">( 歳) ( 歳) ( 歳) ( 歳)</p> <p>●母 (妊婦) の実家：                  育児支援者 (有： 無・不明・介護中)</p> <p>●父 (パートナー) の実家：                  育児支援者 (有： 無・不明・介護中)</p> <p>●父 (パートナー) の仕事状況：( 不規則勤務・ 夜遅い・ 朝早い・ )</p>		
支援体制	<input type="checkbox"/> 家事・育児援助	<input type="checkbox"/> 十分に得られない (日中、支援が得られない ・ 夜も含めた1日中支援が得られない)	
	<input type="checkbox"/> 相談者	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 心配事や悩みを夫、実母、友人に打ち明けられない	
妊産婦の状況	妊娠歴	<input type="checkbox"/> 予定外の妊娠 (望まない妊娠) <input type="checkbox"/> 若年の母 (第1子を10代で出産) <input type="checkbox"/> 多胎妊娠 <input type="checkbox"/> 中絶を繰り返す	<備考>
	健康状態・身体状況	<input type="checkbox"/> 慢性疾患 ( ) <input type="checkbox"/> 産後の不調 (肩こり・腰痛・不定愁訴等) <input type="checkbox"/> 乳房トラブル	<備考>
	精神状態・知的能力	<input type="checkbox"/> 強い育児不安 <input type="checkbox"/> うつ的 <input type="checkbox"/> 経済的問題等生活上のストレス <input type="checkbox"/> 知的な遅れの疑い	<備考>
	その他	<input type="checkbox"/>	<備考>
支援の必要性			

# 妊産婦乳幼児支援計画

作成年月日 年 月 日

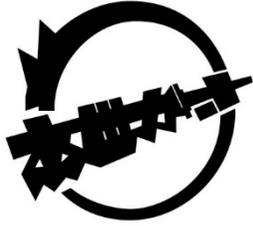
氏名		出産予定日		出産予定場所	
子ども氏名	(ふりがな )			子ども生年月日	

アセスメント	<input type="checkbox"/> 18歳以下 <input type="checkbox"/> 訴えが多く不安が強い <input type="checkbox"/> 不自然な養育態度 (上のこどもに対して) <input type="checkbox"/> 本人、家族に身体、知的、精神障害	<input type="checkbox"/> 8か月以降の妊娠届け <input type="checkbox"/> 経済的問題等生活上のストレス <input type="checkbox"/> 望まない妊娠 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 多胎妊娠 <input type="checkbox"/> 婚姻形態 (未婚・離婚・再婚等) <input type="checkbox"/> 育児支援がない
--------	---	---	--

状況概要と支援の必要性	<input type="checkbox"/> 妊娠中の支援 <input type="checkbox"/> 産後早期の支援
-------------	--

	支援目標 :	評価		
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">妊娠中</td> <td style="width: 50%; border: none;">乳幼児</td> </tr> </table>	妊娠中	乳幼児	
妊娠中	乳幼児			
支援計画等	<input type="checkbox"/> 保健師による継続訪問 (頻度: ) <input type="checkbox"/> 産後ケア事業 (宿泊・デイ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 産後ヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師による新生児訪問 <input type="checkbox"/> 新生児訪問指導員による訪問 <input type="checkbox"/> 保健師による継続訪問 (頻度: ) <input type="checkbox"/> 産前・産後サポート事業 <input type="checkbox"/> 心理相談員の訪問による個別相談 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 4か月健診 (受診日 / ) <input type="checkbox"/> 1歳6か月健診 (受診日 / ) <input type="checkbox"/> 3歳児健診 (受診日 / ) <input type="checkbox"/> 養育支援訪問 <input type="checkbox"/> 健康相談室			
【計画期間】				
まで				

	支援目標 :	評価		
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">妊娠中</td> <td style="width: 50%; border: none;">乳幼児</td> </tr> </table>	妊娠中	乳幼児	
妊娠中	乳幼児			
支援計画等	<input type="checkbox"/> 保健師による継続訪問 (頻度: ) <input type="checkbox"/> 産後ケア事業 (宿泊・デイ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 産後ヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師による新生児訪問 <input type="checkbox"/> 新生児訪問指導員による訪問 <input type="checkbox"/> 保健師による継続訪問 (頻度: ) <input type="checkbox"/> 産前・産後サポート事業 <input type="checkbox"/> 心理相談員の訪問による個別相談 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 4か月健診 (受診日 / ) <input type="checkbox"/> 1歳6か月健診 (受診日 / ) <input type="checkbox"/> 3歳児健診 (受診日 / ) <input type="checkbox"/> 養育支援訪問 <input type="checkbox"/> 健康相談室			
【計画期間】				
まで				



# 青森県鮭ヶ沢町

あじがさわまち  
青森県鱒ヶ沢町

地域の概要

・人口 : ( 10,499 )人  
平成29年1月31日現在

・年間出生数 : ( 47 )人  
平成28年

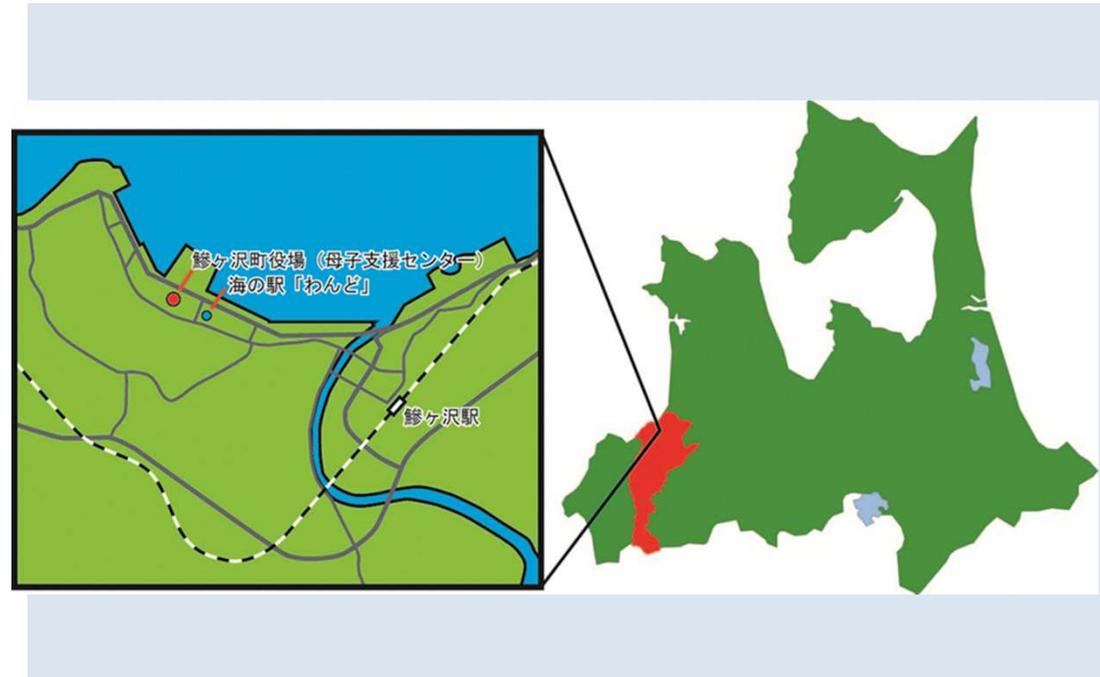
・その他

青森県の西海岸に位置し、およそ東西22km、南北40kmにおよび総面積は343.08K<sup>m</sup>²。

北は日本海に臨み、南はクマゲラの生息地として知られる世界自然遺産の白神山地を有し、秋田県に隣接している。

市街地は海岸線に沿って形成されているほか、町土を流れる赤石川、中村川、鳴沢川の流域におよそ40の集落が散在している。

町土のおよそ8割が山林で占められ、豊かな自然を象徴している。



概況

1 場所: 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町209-2 TEL 0173-72-2111  
鱒ヶ沢町役場内 福祉衛生課 母子支援センター

2 実施体制 (1)担当者: 助産師 (2)人数: 4人 (助産師2人、事務員2人)

3 設置開始時期: 平成27年4月 (前段となる母子支援センターとしては、平成21年5月から開始)

あじがさわまち

# 青森県鱒ヶ沢町

## 取組内容

### 1 母子をサポートする担当助産師の配置(利用者支援事業)

妊娠届の際に、これからの母体の状況が把握できる「妊娠カレンダー」の作成・配布、妊娠中から産後・子育てまでをケア・サポートできる「母子支援センター」の活用の推奨。そして、出産から子育てまでトータルして母子を担当する助産師を配置。必要に応じて、産科医療機関、町保健師、関係機関との連携を図っている。

### 2 地域による子育て支援(産前・産後サポート事業)

#### ① ママサポート事業〔育児経験のある母子支援ヘルパーによる有料支援〕

母体の体調不良や産後うつ、リフレッシュの為に母子支援ヘルパーによる在宅支援(一時預かり保育、病後児保育、家事援助)。

#### ② ベビー用品リユース事業

不要となったチャイルドシートやベビーベットなどの寄贈を受け、子育て家庭の経済的支援の為に、無料貸出。

#### ③ ママ友を作ろう事業

婚姻と同時に当町への転入してきた場合や近所に子育て家庭がない場合、離乳食教室やベビーマッサージなどを兼ねて友達(ママ友)を作る機会を提供。ほかに鱒ヶ沢町子育てサポートセンター(サポセン)主催の「サポセンサロン」への利用案内。

### 3 助産師による訪問ケア(産後ケア事業)

#### ① 産前産後ケア事業〔助産師ならではの専門的支援の実施(訪問型)〕

産科医療機関からの退院直後から、母体と児の為に訪問ケアをはじめ、母親が母体の健康管理や育児等に安心できるまで、訪問を主に、電話やメールなども行い助産師による専門的見地からの精神的、身体的サポートをする。

【妊婦訪問(妊娠中期と後期)、産婦訪問(母体の健康管理や産後うつのケアなど)、母乳育児支援(乳房ケアや乳房マッサージなど)、乳児ケア(黄疸チェックや新生児訪問・体重測定・沐浴指導など)、乳児家庭全戸訪問事業】

#### ② 産科医療機関との連携強化事業

妊娠届の際に配布した「妊産婦連携カード(母子支援センターの事業内容記載)」(母子手帳へはさむ)を、産科医療機関へ受診の際、提示してもらうことにより、産科医療機関に対し当センターの存在や事業内容を認識してもらうとともに相互の連携(情報交換など)強化を図り、退院後の受け皿としてスムーズなケアの実施につなげる。

### 4 その他

子育て世帯に係る経済的支援として、10か月までの間におむつ20袋を支給する。

あじがさわまち  
青森県鱒ヶ沢町

取組の評価(取組の効果や課題等)

【効果】

- 産科医療機関退院直後からの母体の健康面の不安や新生児の育児・発育に関する悩みや不安が軽減されている。
- 助産師による訪問ケアにより、産科へ通院しなければいけない事例(児の発育不安、黄疸チェック、乳腺炎の疑い等)が減少し、母子の通院にかかる負担が軽減されている。

【課題】

- 助産師、母子支援ヘルパーの確保と産科医療機関とのスムーズな連携、受け皿の体制構築

その他

◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

- 平成15年に町立病院から産科がなくなり、最も近い産科医療機関は、車で40分以上要する。(五所川原市)退院後、母体の産後回復が不完全な状態での児の体重把握や黄疸チェック、乳房ケアの為に長時間もかけて通院・受診をしなければならず母体や新生児への負担が大きい。そこで、平成21年に助産師を配置した「鱒ヶ沢町母子支援センター」を役場内に設置し、母子に寄り添うサービスをスタート
- 専門職である「助産師が訪問ケアをする」ということが地域に浸透するまで、PRや口コミでの情報拡充を必要とした。

◆ 特色・PRポイント

- 当センターは、町役場の中のひとつの部署として存在しているため、自治体として多方面(母子保健担当部局、児童福祉部局、教育委員会部局)との連携が取れている。
- 当町では、妊婦への母子健康手帳交付は、ほぼ100%保健師による対面対応ができています。交付後に、保健師が妊婦を当センターへ案内するため妊婦への当センター利用案内は、確実に実施できています。また、青森県と青森県医師会で実施している「妊婦連絡票」により、妊婦の状態については母子保健担当部局(保健師)と情報を共有できています。
- 町内在住妊産婦のみならず里帰り出産の場合も、要望があれば訪問ケア等対応している。



あじがさわまち

# 青森県鱒ヶ沢町

\*\*\*\*\* 妊娠カレンダー \*\*\*\*\*

妊娠月数	週数	カレンダー	検査日	検査日	月末の子宮の大きさ・子宮底長	月末の胎児の身長・体重	胎児ちゃんの様子	食事	生活	異常
第1月	0	11/25			臨月の前大			○つわい好きなもの好きな時に少しずつ食べるが大切。つわりが辛いから、栄養のあるものを取り入れましょう。	○性生活 ○便秘になりやすい	○茶褐色のおりもの・出血・下腹部痛などの症状がある時は、連絡をし、指示を受けて下さい。
第2月	1	12/2			つわり	約2cm	心臓 手・足 口 歯 耳	○貧血 ～バランスの取れた食事(特に鉄分・葉酸・蛋白質)	○性生活 ○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第3月	2	12/9			レモン大			○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第4月	3	12/16			握りこぶし大	約9cm		○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第5月	4	12/23				約16cm		○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第6月	5	12/30			子供の頭大	約100g		○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第7月	6	1/6			約18センチ	約25cm	3頭身から4頭身に。ちよつとふっくらしてきました。	○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第8月	7	1/13			約21センチ	約30cm	ママ、もうキックしているのわかるよ。	○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第9月	8	1/20			約25センチ	約35cm	胎動が弱まりました。いっぱい話かけてね。	○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第10月	9	1/27			約28センチ	約40cm	男の子か女の子かもうハッキリわかります。	○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第11月	10	2/3			約31センチ	約45cm	ふっくら、赤ちゃんらしくなってきたよ。	○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！
第12月	11	2/10			約33センチ	約50cm	お産に向けて準備OKもうすぐ会えるね。	○産後 少量の出血は、注意を！	○便秘になりやすい	○産後 少量の出血は、注意を！

\*\*\*\*\*

## 鱒ヶ沢町 妊産婦連携カード (医療機関提示用)

氏名： \_\_\_\_\_ 町在住・ 実家

～医療機関のみなさまへ～

鱒ヶ沢町では、母子支援センター助産師が妊産婦及び乳児に対しての支援を行っています。お気軽に、妊産婦情報や訪問指導等のご指示を頂きたいと思えます。

### 【主な支援活動】

- 妊娠中の訪問指導
- 退院直後の産後早期訪問（7日以内）
- 母乳育児支援（乳房ケア、新生児の体重測定と母乳量測定）体重計貸出
- こんにちは赤ちゃん事業（生後2～4ヶ月の母子）
- 育児や病気に関する相談
- 黄疸計による黄疸チェック

### 【連絡先】

鱒ヶ沢町福祉衛生課 母子支援センター  
0173-72-2111 (内301)

### 【担当助産師】

□ あじ まる子



鱒ヶ沢町 妊産婦連携カード  
(医療機関提示用)

氏名： \_\_\_\_\_ 町在住・ 実家  
～医療機関のみなさまへ～

鱒ヶ沢町では、母子支援センター助産師が妊産婦  
婦及び乳児に対しての支援を行っています。お気軽  
に、妊産婦情報や訪問指導等のご指示を頂きたいと  
思います。

【主な支援活動】

- 妊娠中の訪問指導
- 退院直後の産後早期訪問（7日以内）
- 母乳育児支援（乳房ケア、新生児の体重測  
定と母乳量測定）体重計貸出
- こんにちは赤ちゃん事業  
（生後2～4ヶ月の母子）
- 育児や病気に関する相談
- 黄疸計による黄疸チェック



【連絡先】

鱒ヶ沢町福祉衛生課 母子支援センター  
0173-72-2111 （内301）

【担当助産師】

あじ まる子

# 妊娠カレンダー

## 注意すべきこと

妊娠月数	週数	カレンダー	健診	健診日	月末の子宮の大きさ・子宮底長	子宮の大きさ	ママの生活	月末の胎児ちゃんの身長・体重	胎児ちゃんの様子	注意すべきこと						
										食事	生活	異常				
第1月	0	11/25	4週間ごとに健診		鶏の卵大	つわり		約2cm		○つわり 好きなものを好きな時に 少しずつ食べることが大切。 つわりが落ち着いてから、 栄養のあるものを取り入れ ましょう	○性生活 初期・後期は、 できるだけさけるように	○便秘になりやすい 薬に頼らず繊維の多い 野菜・果物を！	○流産 少量の出血は、 流産の初期のしるしです。 要注意を！	○茶褐色のおりもの・ 出血・下腹部痛などの 症状がある時は、 連絡をし、指示を 受けて下さい。		
	1	12/2														
	2	12/9														
第2月	3	12/16			中期		レモン大	つわり		約9cm		○貧血 ～バランスの取れた食事 (特に鉄分・葉酸・蛋白質)				
	4	12/23														
	5	12/30														
第3月	6	1/6			★	2週間ごと	握りこぶし大	安定		約20g						
	7	1/13														
	8	1/20														
第4月	9	1/27	後期		子供の頭大	安定		約16cm								
	10	2/3														
	11	2/10														
第5月	12	2/17	★	2週間ごと	約18センチ	中期		約25cm	3頭身から4頭身に。 ちよつとふつくらしてきました。	○妊娠高血圧症候群の予防 (高血圧・むくみ・尿蛋白)						
	13	2/24														
	14	3/3														
第6月	15	3/10	後期		約21センチ	安定		約250g	ママ、もうキックしているのが わかるよね。	・塩、水分の制限 ・体重の増加に注意 (お産までに10kg前後) 8カ月以降は300g/1W 以下をめやす。						
	16	3/17														
	17	3/24														
第7月	18	3/31	★	2週間ごと	約25センチ	里帰り時期↓		約30cm	聴覚が発達しました。 いっぱい話しかけてね。							
	19	4/7														
	20	4/14														
第8月	21	4/21	後期		約28センチ	里帰り時期↓		約650g	男の子か女の子か もうハッキリわかります。							
	22	4/28														
	23	5/5														
第9月	24	5/12	★	2週間ごと	約31センチ	里帰り時期↓		約1000g	ふつくら、赤ちゃんらしく なってきたよ。							
	25	5/19														
	26	5/26														
第10月	27	6/2	★	2週間ごと	約33センチ	里帰り時期↓		約40cm	男の子か女の子か もうハッキリわかります。							
	28	6/9														
	29	6/16														
第11月	30	6/23	★	2週間ごと	約33センチ	里帰り時期↓		約1500g	男の子か女の子か もうハッキリわかります。							
	31	6/30														
	32	7/7														
第12月	33	7/14	★	2週間ごと	約33センチ	里帰り時期↓		約2000g	ふつくら、赤ちゃんらしく なってきたよ。							
	34	7/21														
	35	7/28														
第13月	36	8/4	★	2週間ごと	約33センチ	里帰り時期↓		約45cm	ふつくら、赤ちゃんらしく なってきたよ。							
	37	8/11														
	38	8/18														
第14月	39	8/25	★	2週間ごと	約33センチ	里帰り時期↓		約2000g	ふつくら、赤ちゃんらしく なってきたよ。							
	40	9/1														
	41	9/8														
第15月	42	9/15	★	2週間ごと	約33センチ	里帰り時期↓		約50cm	お産に向けて準備OK もうすぐ会えるね。							
	43	9/22														
	44	9/29														

# 埼玉県和光市



# 埼玉県和光市

## 地域の概要

・人口 : ( 80,546 )人  
平成28年3月31日現在

・年間出生数 : ( 858 )人  
平成27年度

### ・その他

和光市は交通の利便性に恵まれ、東京圏のベッドタウンとして発展。若年層の転出入が多く、人口及び17歳以下の子どもの人口とも過去10年間で一貫して増加傾向にある。人口構成比としては、全国に比べ0～14歳が14.1%(全国12.6%)と高くなっている。

### 【貴自治体の地図】



北第三子育て世代  
包括支援センター

北第二子育て世代  
包括支援センター

北子育て世代  
包括支援センター

中央子育て世代  
包括支援センター

南子育て世代  
包括支援センター

## 概況

### 1 場所:

- ①北子育て世代包括支援センター(和光市白子3-29-10)
- ②北第二子育て世代包括支援センター(和光市下新倉2-1-25)
- ③北第三子育て世代包括支援センター(和光市新倉1-16-22)
- ④南子育て世代包括支援センター(和光市南2-3-3)
- ⑤中央子育て世代包括支援センター(和光市本町31-6)

2 実施体制 (1)母子保健ケアマネジャー(母子保健型) 4名  
(2)子育て支援ケアマネジャー(基本型) 4名

3 設置開始時期:平成27年4月

## 埼玉県和光市

### 取組内容

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援として、「わこう版ネウボラ」を実施。子育て世代包括支援センターはその拠点となっている。

#### ①母子保健ケアマネジャーの配置

医療・母子保健の知識・経験を有する専門職(保健師・助産師・看護師等)を配置し、医療・ヘルス面の相談支援及びマネジメントを実施。

#### ②子育て支援ケアマネジャーの配置

子育て支援やソーシャルワークの知識・経験を有する専門職(社会福祉や相談業務を行うことのできる保育士等)を配置し、福祉面の相談支援及びマネジメントを実施。

#### ③妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援

妊娠届出時に母子保健ケアマネジャー等が面接を実施。同様に転入者にも妊婦健診助成券申請時に面接を実施。全妊婦に対し、妊娠・出産・子育て期におけるリスクアセスメントを行っている。アセスメント結果により、個別支援プランを作成、支援体制を整えるとともに、就学期に至るまでの継続支援を行う。

#### ④産前産後サポート事業の実施

産前(プレパパママ教室)、産後(新米ママ学級・赤ちゃん学級)の教室を地域の子育て世代包括支援センターで実施。ハイリスク家庭の優先利用や個別対応も行う。

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

妊娠届出時には「妊娠届出時アセスメントシート」を、子育て課題の抽出にあたっては因子分解手法を用いたアセスメントシート及び生活機能評価表を用い、様式の統一化を図っている。また、ハイリスク家庭についてはコミュニティケア会議において支援方針を合議により検討し、ケアプランの調整支援と他制度他職種とのチームケアを行っている。

平成27年度(平成28年2月末現在)の妊娠届出時のハイリスク出現率は約3割、その約半分に対して支援プランの作成を行っており、潜在的なハイリスク家庭の抽出及び具体的な支援の提供がなされている。

課題としては、ハイリスク出現率(サービス必要量)に対し、提供体制(サービスの種類と実施事業者)が充分ではないことが挙げられる。課題に対応できる幅広い提供体制の充実求められる。

## 埼玉県和光市

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

本市では、核家族化の進展、共働き世帯の増加にともない、地縁・血縁が薄れ、家庭の孤立化が進行している。このため母子保健サービス、こども福祉サービスのみならず、見守りなどの様々な生活支援や成年後見等の権利擁護、住居の保障、子どもの貧困対策など様々な支援が切れ目なく提供されることが必要である。事業開始当初は母子保健や子ども・子育て支援の提供システムは分断され、有機的連携が見られておらず、地域において包括的、継続的につないでいく仕組みである「地域包括ケアシステム」が必要となっていた。

そこで地域包括ケアシステムの一環として、平成26年10月より妊娠・出産包括支援モデル事業「わこう版ネウボラ」を実施。本事業の実績として、妊娠届出書受付時のアセスメントにより約15%がハイリスク要因のある妊婦と確認された。このことから、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を実施するため、準中学校区を単位とした日常生活圏域ごとに「子育て世代包括支援センター」を整備した。

なお、センターの整備にあたっては、市内の助産院や既存の4か所の地域子育て支援拠点を活用した。地域子育て支援拠点は社会福祉法人等の民間事業者へ委託していたところだが、ケアマネジャー等の必要な人員配置のための予算を組むとともに、総合相談支援システムの導入によるICTを活用した情報統合のための基盤整備を行なった。また、併行してコミュニティケア会議の開催による他制度・他職種との連携及び個別ケースの検討体制を築いた。本会議には市職員、子育て世代包括支援センターに外部助言者(作業療法士、臨床心理士、管理栄養士等)を加え、支援ケースごとにサービス事業者が参加している。

#### ◆ 特色・PRポイント

##### ①利用者支援事業基本型と母子保健型の一体的提供体制

家庭の様々な課題にあわせたケアマネジメントを行うため、平成28年度より各子育て世代包括支援センターに母子保健ケアマネジャー(母子保健型)と子育て支援ケアマネジャー(基本型)の両方を配置し、子育て家庭を母子保健と子育て支援の両面から支援する。

##### ②コミュニティケア会議による他制度他職種による連携と政策形成機能

複合的な課題を抱えたケースについて、コミュニティケア会議において他制度・他職種によるケアチームの編成、支援内容の検討と調整及びモニタリングと評価を行い、包括的な課題解決に向けた検討を行う。

また、困難事例を他制度・他職種のチームにより検討することで、地域課題を把握し、政策形成へ役立てている。

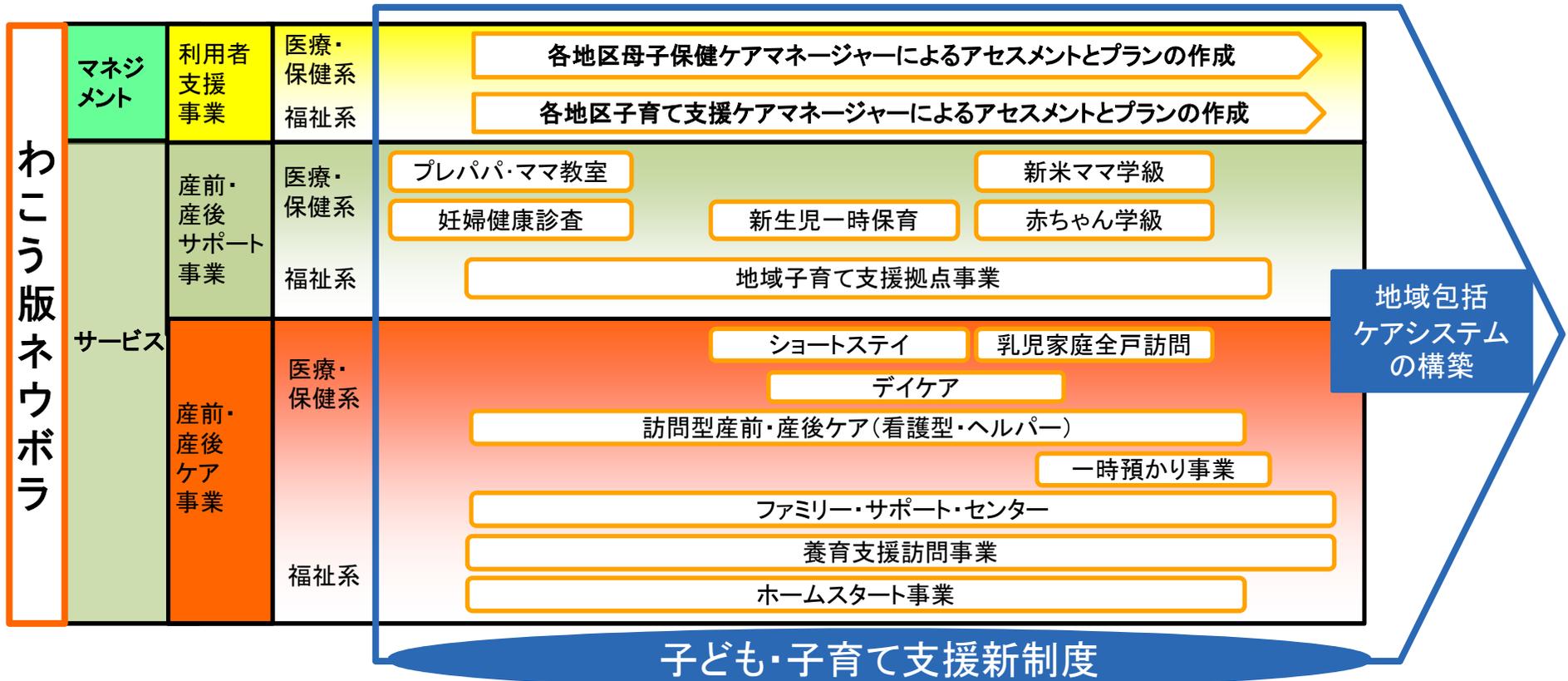
# わこう版ネウボラの基本構想

母子健康手帳の交付



課題

- 結婚**
  - ・未婚
  - ・不妊
  - ・高齢出産
  - ・経済的負担
- 妊娠**
  - ・相談先がわからない
  - ・地域で相談の場がない
  - ・地域に知人がいない
  - ・医療連携が不十分
- 出産**
  - ・里帰り出産
  - ・近隣に支援者なし
- 子育て**
  - ・相談先がわからない・ない
  - ・育児方法がわからない
  - ・母子孤立
  - ・育児負担
  - ・経済的困窮



## 埼玉県和光市

【コミュニティケア会議】



【母子健康手帳交付の様子】



【北子育て世代包括支援センター】



【北第二子育て世代包括支援センター】



# 千葉県浦安市



# 千葉県浦安市

## 地域の概要

- ・人口 : 165,411 人(平成28年4月1日)
- ・年間出生数 : 1,344 人(平成28年)
- ・合計特殊出生率 1.09 (平成27年)

### ・その他

千葉県の北西部に位置した東京のベッドタウンである。三方を水に囲まれた漁業が盛んな町であったが、工業廃水による漁場の汚染により昭和37年に漁業権を全面放棄した。その後の2回に渡る埋め立て事業により、行政面積が4.43km<sup>2</sup>から4倍の16.98km<sup>2</sup>に広がった。市内は元町・中町・新町と3つの生活圈域に分かれ、埋め立ての時期により高齢化の進んだ地域、子育て世帯の多い地域など特色があり、地域の特性に合わせた施策を進めている。

### 【地図】



市役所・健康センター・図書館など市の施設が集約されている地域



## 概況

1 場所: 浦安市健康センター1階 こどもネウボラ(こんにちはあかちゃんルーム、子育て応援ルーム)、健康増進課

### 2 実施体制

(1) 担当者: 健康福祉部健康増進課保健師、こども部こども課子育てケアマネジャー・保健師

(2) 人数: こんにちはあかちゃんルーム: 健康増進課保健師常勤8名・非常勤3名、こども課非常勤子育てケアマネジャー14名が交代制で対応  
 子育て応援ルーム: 非常勤子育てケアマネジャー14名、こども課非常勤保健師1名が交代制で対応 必要時、健康増進課保健師も同席し面接

3 設置開始時期: 平成26年10月(1回目子育てケアプラン作成、2回目・3回目子育てケアプラン作成は平成27年4月より開始)

# 千葉県浦安市

## 取組内容

・妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援として、健康増進課の「利用者支援事業(母子保健型)」とこども課の「こどもプロジェクト事業(子育てケアプランの作成・子育て支援ギフト)」と協働・連携し、妊娠届出時に子育てケアプラン1回目を作成、保健師と子育てケアマネジャーが同席し、個々の妊婦の状況に応じ、子育て支援サービスや相談窓口を周知し、必要な支援につなげる。

その後は出産前後に子育てケアプラン2回目を作成した際には、「こんにちはあかちゃんギフト(衣料品などの子育て支援グッズ)」と「こんにちはあかちゃんチケット(バウチャー券)」を、1歳の誕生日頃に子育てケアプラン3回目を作成した際には、「ファーストアニバーサリーチケット(バウチャー券)」を贈呈する。作成時の相談内容に応じ必要な関係機関につないでいる。

・「利用者支援事業(母子保健型)」では、妊娠届出時に保健師が把握した要支援妊婦について、地区担当保健師が早期から支援を開始し、必要に応じて生活保護・特定妊婦や虐待対応等関係部署や産婦人科等の医療機関等と連携を図り、不安が大きい場合には産前・産後サポート事業や産後ケア事業や母子保健事業を組み合わせ、妊娠・出産・子育て期に切れ目のない支援につなげている。

広報うらやす、ホームページ、子育てハンドブック、観光振興や子育て支援策をまとめたガイドブック等で広く市民に周知を図っている。

## 取組の評価(取組の効果や課題等)

### ◆取組の効果

・妊娠届出時に保健師が全数面接を行うことで、迅速に要支援家庭の状況を地区担当保健師に申し送り・支援を開始することができる。さらに保健師、子育てケアマネジャーが情報を共有することにより、子育てケアプラン作成の機会に要支援家庭や未把握ケースなどの状況を把握できる。

・子育てケアプランを保護者の方のライフステージに応じ、継続して作成することで、その時期に求めている支援や必要なサービスについて情報提供できる。また、作成時に日頃の子育ての悩みなども合わせて相談ができることで不安の軽減につながる。

・「こどもネウボラ」として平成28年9月に健康センター内に子育てケアプラン作成場所を集約し、さらにこども家庭支援センター、付随する「エンゼルヘルパー」も集約し、相談や支援が必要な家庭へのサポート体制が円滑になり、母子保健と子育て支援のさらなる連携強化を図る。

### ◆課題

・こどもプロジェクト事業の実施効果や各関係部署との連携をどのように評価していくのか。

・各部署間のシステム連携とデータ共有

### ◆その他

・保健師等専門職が支援プランを作成するためのアセスメント表での可視化や月1回のケース会議をしている。地区担当以外の保健師にもケースの共有ができるため、これまで地区担当の力量に任されていたが保健師の支援の平準化につながり、異動等で地区担当が変更になっても一貫した支援内容が引き継がれることを狙っている。

## その他

## ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

・本市の子どもや子育て家庭を取り巻く課題として、子育て家庭の95%が核家族、ひとり親世帯の増加、晩婚・晩産化傾向の進展等があり、子育てについて相談する人が身近にいない、保護者が肉体的・精神的に不安定になりやすい、子育てに対する経済的な負担感を感じていることから、少子化対策に有効な事業を中長期的期間にわたり安定的・継続的に取り組むための財源として、平成26年度に少子化対策基金として30億円の積立を実施した。

・妊娠期から1歳6か月児健診までの期間は医療機関による健診や予防接種への受診が多く、支援の必要な方以外とは行政との関わりの薄い時期である。全ての子育て世帯へのポピュレーションアプローチとして、既存の事業や施設を有機的に活用しながら事業を展開するためにフィンランドのネウボラを参考に、母子保健と子育て支援の両面から子育て世帯に寄り添う支援や傾聴を行うために「浦安版ネウボラ」を構築し「こどもネウボラ」の設置に至った。また、プラン作成時にギフトの引換券兼申請書を渡すことで次回子育てケアプラン作成へのきっかけづくりをする。i-padを活用したプラン作成によるデータ集積・分析。

・妊娠届出時の状況により、2回目プラン作成時に保健師同席が必要なケースについては、健康増進課とこども課で一覧表を共有している(母子健康手帳番号で管理)、また作成時気になるケースについては子育てケアマネジャーが随時、保健師へ情報提供を行っている。

## ◆ 特色・PRポイント

## 【産前・産後サポート事業】 ● パートナー型

「子育て・家庭支援者養成講座」修了者で、かつ産前産後サポートに必要な講義を修了した者を産前・産後サポーターとして平成27年2月から非常勤雇用しており、身近な支援者がいない不安が強い妊産婦宅に家庭訪問し、話し相手や相談にのることで家庭や地域での孤立感の解消を図っている。保健師や新生児訪問委託助産師等と連携を取り、必要時、育児相談等の母子保健事業にも参加している。

## 【産後ケア事業】※必要に応じ地区担当保健師と産後ケア施設で連携を取りながら支援

● 宿泊型：市内医療機関(東京ベイ・浦安市川医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院)に委託産婦人科病棟を活用し、最大7日まで利用可能。対象者：生後60日未満の乳児と母親

● デイケア型：◎個別タイプ：オリエンタルホテル東京ベイ、ホテルエミオン東京ベイの1室を借りて実施、助産師は(一社)産前産後ケア推進協会へ委託 対象者：生後120日未満の乳児と母親、◎集団タイプ：委託先の佐野産婦人科がTomoru助産院を開設し実施 対象者：生後180日未満の乳児と母親、最大6組、7回まで利用可

産後ケア事業連絡会を年1回開催し、市保健師と産後ケア事業者間で情報交換、顔が見える関係づくりの場としてだけでなく、助産師等産後ケア事業に携わるスタッフの人材育成を実施した。

## 【子育てケアマネジャー】

市が独自で行っている「子育て・家族支援者養成講座」の2級認定者のうち、「子育てケアマネジャー養成集中講座」を受講し・修了した方を子育てケアマネジャーとしている。平成20年度より「相談しやすい環境」・「市民に寄り添った敷居の高くない相談」を重視し、子育てに関する市民のための総合窓口として子育てについての様々な相談などに応じている。平成26年度より子育てケアプラン作成も行う。

## 【子育て支援サービス等連携】

既存の要保護児童対策地域協議会や子育て支援センター担当者会議等を活用しながらネットワーク構築を図る。要支援ケースは必要に応じて医療機関等関係機関に保健師が外向きケース会議に参加、家庭状況、支援経過、課題等を書面や口頭で説明している。

# 千葉県浦安市

## 子育て世代包括支援センターの紹介

こんにちはあかちゃんルーム



こんにちは  
あかちゃんルーム  
母子健康手帳交付  
子育てケアプラン作成

健康増進課

### 浦安市こどもネウボラ

#### 1階

- こんにちは あかちゃんルーム  
妊娠期の子育てケアプラン作成
- 子育て応援ルーム  
出産前後・お子さんの1歳のお誕生日前後の子育てケアプラン作成
- 健康増進課  
妊産婦さんやお子さんの育児・健康・栄養・歯・予防接種などのご相談、産前・産後サポーターの派遣、産後ケア事業のご案内、乳幼児健診など



#### 地下1階

- こども家庭支援センター  
子どもと家庭の総合相談、ひとり親家庭と婦人の相談、エンゼルヘルパーの派遣



子育て応援ルーム

# 東京都文京区



# 東京都文京区

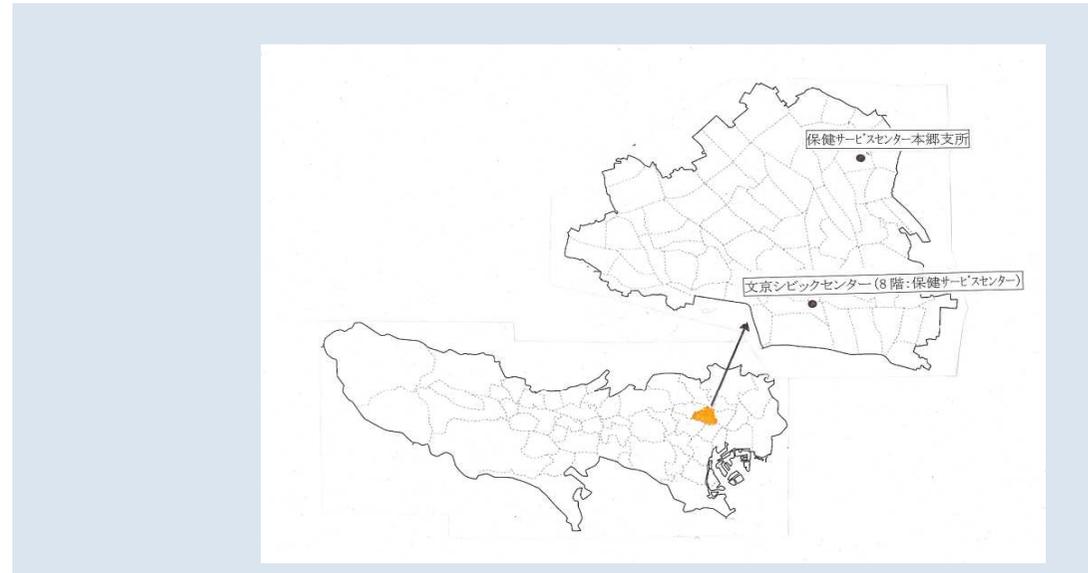
## 地域の概要

・人口 : ( 211,451 )人  
平成28年4月1日現在

・年間出生数 : ( 1,982 )人  
平成27年

### 概要

文京区は、東京23区のほぼ中心に位置し、台地と坂、台地に囲まれた谷から成り立っている。江戸の面影を色濃く伝える史跡や文化遺産の多い歴史的なまちであり、また、伝統ある大学や多くの学校のある文教の地としても知られており、近年は、出生数の増加や子育て世帯の転入を主な背景とした人口増が続いている。



## 概況

1 場所: 保健サービスセンター(文京シビックセンター内) 文京区春日1-16-21  
保健サービスセンター本郷支所 文京区千駄木5-20-18

2 実施体制 (1)担当者:母子保健コーディネーター(地区担当保健師) (2)人数:2か所合わせて20人

3 設置開始時期:平成27年4月

## 東京都文京区

### 取組内容

#### 【 周知 】

『文京区版ネウボラ事業』としてネウボラ面接の際に子育て世代包括支援センターの取組みを紹介するとともに、妊娠期から相談しやすいよう名刺やチラシなどで担当の母子保健コーディネーターを周知している。

#### 【 ネウボラ面接(妊婦全数面接) 】

妊娠に対する気持ちや体調、相談・協力体制などについて、保健師・助産師が面接相談を行うことで、妊婦のさまざまな不安を軽減し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援する。

方法：①子育て世代包括支援センター(保健サービスセンター及び保健サービスセンター本郷支所)で妊娠届出時に面接する。  
②他の場所や妊婦本人以外が届出した場合は、後日、妊婦本人が来所して面接する。

#### 【 ネウボラ相談 】

産前産後の健康や子育ての相談に電話、面談、メールで保健師・助産師が応じている。なお、ネウボラ拠点となる助産院では365日相談に対応。

#### 【 要支援者の包括的・継続的支援とサポートプランの作成 】

妊娠届、赤ちゃん訪問、乳児健診、ネウボラ相談などで把握した要支援者に、個別ニーズを踏まえた情報提供を行う。また、必要に応じて支援プランを作成し関係機関との連絡調整と継続的な支援を行う。

#### 【 関係機関等との連携 】

地域における保健・医療・福祉・教育の行政機関、医療機関、民生・児童委員、その他関係機関との実務者連絡会やケース検討会などを活用しながら連携を密に行う。

#### 【 産前・産後サポート事業 】

土曜日に月齢の近い子どもを育てる父親を含めた親同士の交流を行い、子育ての仲間づくりを促すことで孤立感の解消を図るほか、保健師や助産師が、子育てひろば等身近な会場で子育ての相談に乗るなど多様な支援を行う。

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

- 妊婦やその家族が妊娠早期から専門的な相談ができ、必要なサポートを得ることで安心して妊娠・出産・子育てに臨める。
- 母子保健コーディネーターのアセスメントにより支援が必要と判断された対象者を包括的・継続的な支援につなげることで児童虐待発生の予防につながる。
- 関係機関が緊密に連携して支援する仕組みを構築することで、地域全体で切れ目なく妊産婦を支えることができる。
- 子どもとの関わり方がわからず育児に悩んでいる多くの親と子の育ちを支えるポピュレーションアプローチを進める必要がある。

## 東京都文京区

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

○文京区では10年前の合計特殊出生率0.79から、平成27年には1.17に回復し出生数は増加傾向にある。一方で、核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきており、また、産前産後のサポートを配偶者以外から得にくい、身近に相談・協力者がいない家庭が増えている。さらに高齢初産が増えており、35歳以上の初産婦が全初産婦の3分の1以上を占めている。こうした状況から虐待発生予防のための早期アセスメントと要支援者への包括的・継続的支援の充実が求められた。

○取り組みの開始にあたっては、従来の母子保健事業を基盤として産前産後サポート事業の充実を図り、さらに相談支援を充実するため助産院への委託により365日対応のネウボラ相談や産後ケア事業として宿泊型ショートステイ事業を新たに始めた。

#### ◆ 特色・PRポイント

○ネウボラ事業が広く周知されることにより、以前より早期に他部門・他機関から要支援家庭の情報が入るようになり、連携の強化につながっている。連携先は、児童福祉部門、児童発達支援部門、障害福祉部門、生活福祉部門など庁内各部署と、医療機関や助産院、地域の主任児童委員、市民グループなどさまざまである。

○助産院、乳児家庭全戸訪問事業を担当する委託助産師、子ども家庭支援センター等との定期的な連絡会の他、母子保健コーディネーターが医療機関や「子育てひろば」などの関係機関に足を運び調整をすることで、複数の機関が1つのチームとして、要支援家庭を切れ目なく支える体制の確保につながっている。

○「子育てひろば」等の子育て支援拠点を会場として相談・交流事業を行うことで、参加者が相談先の一つとして拠点を活用していけるよう工夫している。

# 東京都文京区

ネウボラ面接（妊婦全数面接）



宿泊型ショートステイ事業



サタデーパママタイム（交流事業）



# 妊 娠 届 出 書

No. \_\_\_\_\_

ふりがな 妊婦氏名	生年月日 年 月 日 年 齢		年 月 日 （ 生 歳）	職業	
居住地	文京区 丁目 番 号		電話番号 ( )		
ふりがな 世帯主氏名	妊婦との続柄 ( )				
妊娠週数	満 週 (第 月)	分娩予定年月日	年	月	日
※出産経験	あり (今回 第 子) ・ なし				
※性病に関する 健康診断 (血液検査)	受 け た 受けていない	※結核に関する 健康診断	受 け た 受けていない		
診 断 し た 医 師 又 は 助 産 師	施設名 所在地 氏名				
以下のとおり届け出ます。					
文京区長 殿		年 月 日	届出者氏名		妊婦との続柄 ( )

(注) (1)この届出書をもとに、保健師が記入された電話番号に連絡することがあります。

(2)※印欄は、該当するものを○で囲んでください。

(3)施設名は、病・産院、診療所、医院及び助産所名をお書きください。

## 妊婦さんサポートアンケート

☆ご妊娠おめでとうございます。文京区では、妊娠中から皆さまの子育てを応援しています。

☆このアンケートは、お母さんと赤ちゃんの健康を守るために活用するものです。

**妊婦ご本人が届出の場合、差し支えない範囲でアンケートにご記入をお願いします。**

☆該当するものを○で囲んでください。

1) 今回、妊娠がわかってお気持ちはいかがですか？（複数回答可）  
 うれしい    不安・心配    戸惑いがある    つらい    その他 ( )

2) 上記の気持ちや、妊娠・出産のことで、相談できる人や協力してくれる人はいますか？  
 はい    いいえ

3) 保健サービスセンターでは、保健師などが妊娠・出産・育児に関する相談を受け付けています。  
 相談がございましたらご記入ください。 **※内容に応じて後日、保健師よりご連絡いたします。**

( )

4) 文京区外へ転出の予定はありますか？  
 はい ( 年 月頃)    いいえ

ご記入ありがとうございました。このアンケートは子育て支援以外の目的で使用することはありません。

## 育児パッケージ交付申請書兼受領書

文京区長 殿

育児パッケージ交付を申請いたします。

記

ふりがな		生年月日	昭和 ・ 平成	年	月	日	年齢	
妊婦氏名								
住 所	文京区 丁目 番 号							
電話番号								
妊娠週数	週		出産予定日	平成	年	月	日	
出産経験	あり (今回第 子) ・ なし							

確かに受領しました。

受付印

妊婦氏名	
------	--

母子手帳 No.	( 発行)	母子手帳 交付日	年	月	日
-------------	-------	-------------	---	---	---

以下担当者記入欄

### ネウボラ面接記録票

平成28年度

<b>出産予定日</b>	平成 年 月 日	<b>出産場所</b>	
相談内容	<input type="checkbox"/> 妊娠に対する気持ち <input type="checkbox"/> 相談・協力体制について <input type="checkbox"/> 妊娠中の体調について (身体・精神) <input type="checkbox"/> 妊娠中の生活、留意点について <input type="checkbox"/> 分娩施設について <input type="checkbox"/> その他	家族構成 ・ サポート体制	
		<input type="checkbox"/> _____ <input checked="" type="radio"/>	
指導事項	<input type="checkbox"/> 妊娠中の体調 <input type="checkbox"/> 分娩施設 <input type="checkbox"/> 出産準備 <input type="checkbox"/> サポート体制 <input type="checkbox"/> ネウボラ事業の紹介 (母親学級・両親学級    ネウボラ相談    赤ちゃん訪問    ショートステイ    その他 ) <input type="checkbox"/> 子育て支援サービスの紹介 (子育て訪問支援券    乳幼児・子どもショートステイ    その他 ) <input type="checkbox"/> 保育サービス <input type="checkbox"/> その他		
面談時	産前 / 産後 (平成 年 月 日 出産)		相談対応 68





# サポートプランシート

☆このシートは、お子様の成長を一緒に支えていけるように具体的なサポートについて考えていくためのものです。



計画を立てた時期：【妊娠中】妊娠届（ 週） その他（ 週）  
 【出生後】赤ちゃん訪問 4か月児健診 1歳6か月児健診 3歳児健診  
 その他（ ）

初回 継続（ 回目）

作成者（母 父）： \_\_\_\_\_ 児氏名： \_\_\_\_\_（H . . .） \_\_\_\_\_（H . . .） \_\_\_\_\_（H . . .）

プラン作成（変更）日：H 年 月 日

困っていること							
目標とする生活							
サポートしてくれる人	母方祖父母 父方祖父母 おじ おば 友人 保育園 幼稚園 その他（ ）						
今後利用していくサービス	子育て訪問支援券 乳幼児・子どもショートステイ事業 保育園（ ） 子育て広場 児童館 緊急一時保育 リフレッシュ時保育 キッズルーム その他（ ） （保健サービスセンターで行っているサービス） 母親学級 母親学級ショートコース 両親学級 小児保健指導 こんにちは赤ちゃん訪問 宿泊型ショートステイ 母乳相談 沐浴指導 産後心理相談 心理相談 サタデーパパママタイム おしゃべりルーム ぶちみるく倶楽部 フレッシュママ みるく倶楽部 産後セルフケア教室 その他（ ）						
1週間の予定 （利用するサービス） ※必要時記入	月	火	水	木	金	土	日
1か月の予定 （利用するサービスの 日時等）							

次回見直し H 年 月
-------------

担当者名：保健サービスセンター保健師  
 連絡先：03(5803)1807

# 神奈川県横浜市

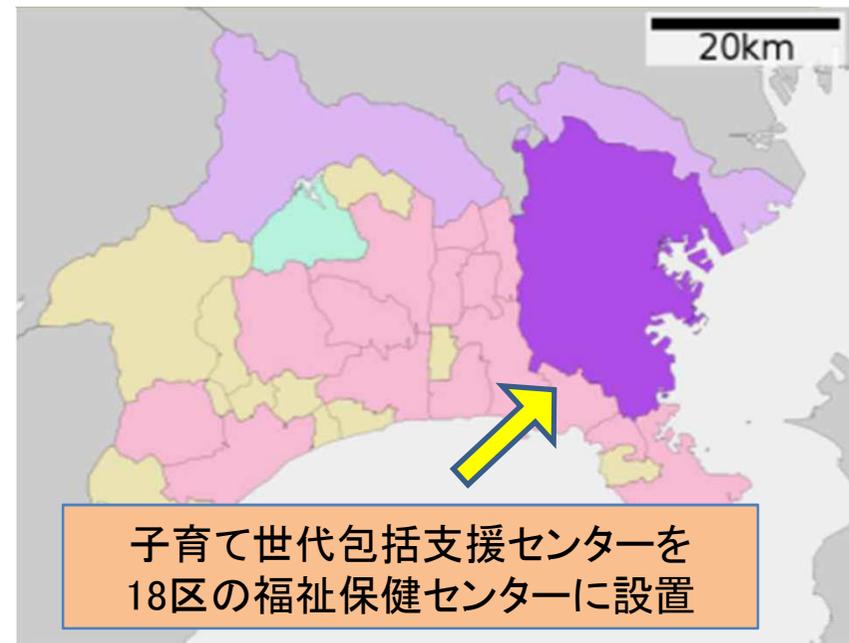


## 神奈川県横浜市

### 地域の概要

横浜市は、18の行政区を持つ政令指定都市で、日本の市区町村の中で最も人口が多く、東京湾に面した神奈川県で最大の都市です。  
また、横浜都心臨海部に位置する東神奈川臨海部周辺では長期的な都市の再生計画が進行中です。

人口3,737,338人(平成29年3月末現在)  
※外国人人口87,563人(平成29年3月末現在)  
年間出生数30,022人(平成27年)  
合計特殊出生率1.37(平成27年)



### 概況

- 1 場所: 18区福祉保健センター、18区地域子育て支援拠点
- 2 実施体制 担当者: こども家庭支援課 保健師・助産師、アルバイト看護職、保育・教育コンシェルジュ  
地域子育て支援拠点 横浜子育てパートナー
- 3 設置開始時期: 平成27年4月以降順次実施

## 神奈川県横浜市

### 取組内容

- 各区福祉保健センターにアルバイト看護職の相談員(サブ母子保健コーディネーター)を配置し、妊娠届出時にすべての妊婦を対象に面接を行います。必要な保健指導や妊娠・出産・子育て情報の提供を行うとともに、個別の相談ニーズに応じて、保健師・助産師(母子保健コーディネーター)や社会福祉職、女性福祉相談員及び保育・教育コンシェルジュ等が専門的立場から相談支援を行います。
- 各区地域子育て支援拠点に当事者目線での相談支援を行う横浜子育てパートナーを配置し、子育て家庭からの相談に応じています。地域子育て支援拠点の機能を活かし、子育て家庭に関する情報の提供や相談支援、地域連携などを行うとともに専門性が必要な相談については、区福祉保健センター等と連携・協力して対応するなど総合的に支援しています。

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

【効果】妊娠の届出をしたすべての妊婦に対して面接相談を行い、妊娠期からの状況の把握が9割程度可能となりました。また、妊娠届出時面接では、すべての妊婦に対するアセスメント結果を記入し、個々の妊婦に合った支援計画を立て、保健指導等を行います。さらに、アセスメントの結果、妊娠中から養育支援が必要と判断された場合は、保健師・助産師や社会福祉職による受理会議等にて、アセスメント結果に加えた適切な支援ツールを使用して支援方針を検討し、特定妊婦として登録します。これにより妊娠期から安心して出産・子育てに向かう環境を整えるための継続した支援を実施することが可能となっています。

【課題】妊娠届出時面接において、特に支援が必要と判断しなかった場合、妊娠届出から母子訪問までの間、妊産婦からの働きかけがなければ、母子保健コーディネーター等が妊産婦と直接接する機会がありません。妊娠届出時以降に状況の変化等があり、支援を必要としている家庭の把握を進めることが課題となっています。

## 神奈川県横浜市

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

●本市の高齢出産の割合は、平成18年から平成27年までの10年間で22.8%から33.2%に増加するとともに、不妊に悩む方も多く、特定不妊治療費助成件数は年々増加し、平成27年度の助成件数は5,812件となっています。このため、妊娠・出産、不妊に悩む方、不妊治療を受けて出産した方及び高齢出産をした方への支援の強化が求められています。

●平成25年度に実施した、「未就学の子どもがいる家庭の子育てに関する市民ニーズ調査」では、初めての子どもが産まれる前に赤ちゃんの世話をした経験のない方が74%と、4人に3人が初めての育児に取り組む夫婦となっています。また、子育てについて不安を感じている人や自信を持てなかった人の割合は、妊娠中では約57%、産後半年の間では約75%と高く、妊娠中から産後の育児不安などへの支援ニーズが高くなっています。

●妊娠届時にすべての妊婦を対象とした看護職による面接を実施していましたが、より適切に支援につなげられるよう、母子健康手帳交付時マニュアルの見直しを行うとともに、面接をする看護職を対象に研修を実施しました。

#### ◆ 特色・PRポイント

●本市では市域が広いため18区の福祉保健センターに子育て世代包括支援センターの機能を持たせ、妊産婦の支援に取り組んでいます。

●地域子育て支援拠点と区福祉保健センターが連携し、利用者支援事業(基本型)を27年2月から1区でモデル実施、28年1月から全区(18区)で実施しています。利用者支援事業(基本型)の全区展開により、子育て家庭が通いやすく相談しやすい場所での相談支援が充実し、支援が必要なより多くの家庭を適切な支援につなげることが期待できます。また、国の制度化に先駆け取り組んできた保育・教育コンシェルジュ(利用者支援事業(特定型))等とも連携して対応しています。

●産後サポート事業(パートナー型)として「産前産後ヘルパー派遣事業」、産後ケア事業(宿泊型・デイサービス型)として「産後母子ケア事業」をそれぞれ、複数のヘルパー事業者や産科医療機関・助産所に委託して実施し、これらの事業を活用しながら妊産婦の心身の回復を図り、安定した育児ができるよう、包括的な支援を行っています。

# 神奈川県横浜市

**妊娠出産を悩むお母さんへ**

産前産後で悩むお母さんへお話を聞くお母さんの悩みを支援するために、産前産後の悩みを解決し、産前産後の支援を行うことが目的です。お母さんの悩みを聞き、お母さんの悩みに応じて支援を行います。

なお、ご記入いただいた情報は、個人情報を取り扱っており、必ずお母さんご本人の同意を得た上で取り扱います。また、産前産後支援センターの運営・活動の改善のために活用させていただきます。ご記入いただいた情報は、必ずお母さんご本人の同意を得た上で取り扱います。

産前産後支援センターでは、妊娠中の悩み・産後の悩み、産前、産後に関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

産前産後		産後
1 初めての妊娠ですか	1 はい 2 いいえ ( )	2 はい ( )
2 不妊治療の経験	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
3 悩んでいるお母さん本人ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
4 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
5 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
6 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
7 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
8 タバコを吸いますか	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
9 アルコールを飲みますか	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
10 飲酒を控えますか	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
11 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
12 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )
13 悩んでいるお母さん本人以外ですか (本人も含む)	1 はい ( ) 2 いいえ ( )	2 はい ( )

第1次 第2次 産後 ( ) 産前 ( ) 第2次 産後 ( ) 産前 ( )

産前産後支援センター 産前産後 ( ) 産後 ( )

口紙了 口紙未了 ( ) 口紙未了 ( ) 口紙未了 ( )

妊娠届時に妊娠された方にご記入いただいている様式です。このアンケートを基に妊娠出産に関する悩みの相談を行い、面接を通じて困ったことがあれば、いつでも区福祉保健センターへ相談できること、地区担当保健師・助産師が状況に応じて訪問等の支援を行うことを伝えます。

また、妊婦ご本人やご家族の状況を聞き取り、親族からの支援が受けられない等の状況に合わせて、活用できるサービスのご紹介をしています。

また、出産や育児に強い不安を持っている、精神疾患を抱えているといった場合は、地区担当保健師・助産師や社会福祉職につなげて特定妊婦として支援をしています。



# 三重県名張市



# 三重県名張市

## 地域の概要

- ・人口 : 80,056人 平成28年10月1日現在
- ・年間出生数: 591人 平成27年出生数
- ・合計特殊出生率: 1.48

### 平成28年度10月1日現在人口構成概要

市全体 80,056人 28.10.1	15行政地域 (各地域づくり組織) 人口差 648人⇄13,888人
15歳未満 12.6%	2.4% ⇄ 31%
15~64歳 58.6%	43.3% ⇄ 5.6%
65歳以上 28.7%	7.3% ⇄ 54.4%
75歳以上(再掲) 12.5%	2.9% ⇄ 34.9%
平均年齢 46.8歳	31.3歳 ⇄ 65.2歳

- ・年齢分布に偏り高齢化のタイミングに違いかつ急激
- ・都市内分権による地域づくり組織(15地域 小学校区単位)による自治が成熟



- センター機能  
名張市役所 福祉子ども部  
健康・子育て支援室 内(鴻之台1番町1番地)
- サテライト  
まちの保健室 地域包括支援センター所管  
(15地域づくり組織運営 各市民センター内)

## 概況

### 1 場所:

- センター ;名張市役所本庁舎「福祉子ども部 健康・子育て支援室」内に設置。→28年度より「健康福祉部と子ども部が融合 地域子育て支援拠点実施のこども支援センター直轄へ (地域担当及び健康づくり・成人保健・感染症・母子保健事業担当保健師配置部署。「保健センター」「こども支援センター」は別建物)
- サテライト ;15地域づくり組織(おおむね小学校区単位)の運営する市民センター内「まちの保健室」15か所

### 2 実施体制 (1)担当者 ●センター:母子保健担当保健師および助産師【母子保健コーディネーター】、保育士、事務員

●サテライト:まちの保健室職員(看護師・介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員)【チャイルドパートナー】

### (2)人数: ●センター: 保健師9名(兼務) 助産師3名(兼務) ●サテライト:ソーシャルワーカー27名(兼務) 看護師3名(兼務)

### 3 設置開始時期:平成27年4月

●地域子育て支援拠点:地域子育て支援拠点専門職員6名(専任) 1名(兼任) 補助員2名(専任) 10名(兼任)  
【子育て世代包括支援センター長(福祉子ども部理事・統括保健師 計61名)】

# 三重県名張市

## 取組内容

### 母子保健担当保健師が中心に利用者支援事業(母子保健型)を実施。基本型の機能も担う。

子育て支援拠点事業を担うこども支援センターを直轄し、子育て支援員研修等の企画、相談支援体制の連携。敷居の低い相談場所としての複数のサテライトや住民組織の担う子育て支援と連携し実施。この利用者支援事業を含む母子保健事業、子育て支援事業、地域づくりおよび健康づくり事業を融合したポピュレーションアプローチの視点から進める取り組みの総称を「名張版ネウボラの推進～妊娠・出産・育児の切れ目ない支援」として平成26年度より実施。Ⅰ.妊娠・出産・育児のサービスの切れ目をつなぐ Ⅱ.人と人・人と地域をつなぐ Ⅲ.保健・医療・福祉のしくみをつなぐ ことをめざす。

### 1. 身近なところでの寄り添い 2. 産前産後のケアの体制 を様々な主体と整え、地域づくりの推進とソーシャルキャピタルの醸成を図る。

既存の子ども・子育て支援事業、母子保健事業  
・地域や関係機関が取り組む子育て支援



新たな推進の形  
新たな取り組み事業

#### 新たな推進の形

- 子育て世代包括支援センター 切れ目ない支援をめざした母子保健および子育て支援のコーディネート機能  
チャイルドパートナー（身近な相談員）と母子保健コーディネーター（保健師や助産師）が、保健・医療・福祉の支援と利用者、人と人、人と地域を結びつけ、全ての妊産婦や乳幼児の保護者に対する伴走型の予防的支援ができる環境を整える。市の機構改革（子育て支援と母子保健部署の統合）、助産師との連携強化
- 子ども・子育て支援新制度

#### 新たな取り組み事業

母子保健コーディネーター(保健師)が既存事業・関係機関との連絡調整、個別支援とのマネジメント

- チャイルドパートナーの設置  
まちの保健室15か所31名(小学校区・地域づくり組織毎)に位置付け 身近な地域での個別相談および地域づくり組織や地域内保育園(所) による子育て支援と協働
- 子育てプラン(ポピュレーション用)  
妊娠届出時(母子健康手帳発行時)にアセスメントし提案
- 子育てプラン(ハイリスク支援用)  
支援が必要な家庭への支援計画、関係機関と共有し支援
- 医療機関連絡体制整備  
産科や小児科との定期連絡会および随時の連絡体制
- 健康づくりサポートブック  
結婚(婚姻届用紙に案内)からの健康づくりの提案
- となりのまごちゃん応援教室 産前産後サポート各種教室に移行
- ライフプラン教育 小・中・高校生への性教育、生活習慣病予防教育
- 生後2週間目全戸電話相談 (電話相談支援)  
出生届直後、助産師や保健師が電話による相談を産婦全員に実施
- 産婦乳腺炎予防ケアおっぱいケア (訪問および通院)  
医療機関及び三重県助産師会(開業助産所)委託  
産婦全員に電話相談後、乳房ケア助成券発行
- 産後ママとベビーのためのお泊りケア (病院宿泊・ハイリスク用)  
夜間の休息と相談支援 医療機関委託
- 保健センター母乳・育児相談 (通所・ハイリスク用)
- かがやき安心育児・おっぱい教室 (通所・ポピュレーション用)  
こども支援センター内 子育て支援拠点事業連動
- 産後ママのゆったりスペース (通所・ハイリスク用ハイリスク外も可)  
保育所内での休息と相談
- 子育て広場交流会 ・子育て支援員研修(国の認定講習)  
専門職研修会 男の育児教室(各地域づくり組織共催)  
各支援者の育成、育成後の交流・情報交換・研修





# 三重県名張市



母子健康手帳発行教室 支援プラン提示【母子保健コーディネーター】



乳児家庭全戸訪問事業  
【母子保健コーディネーター・  
主任児童委員、民生児童委員】



各地域での相談支援  
【チャイルドパートナー】



市全体での子育て支援検討  
【母子保健コーディネーター・地域部】



各地域での子育て支援  
【地域住民・ボランティア】



様々な場での研修  
【母子保健コーディネーター・  
各主体】



安心・育児おっ(ぱい)教室  
【子育て支援拠点事業】



産後ママのゆったりスペース  
【子育て支援拠点事業・保育所】

すべてがリンク

# 名張版ネウボラ

妊娠・出産・育児の切れ目ない支援



## 名張版ネウボラ とは

産み育てるにやさしいまち ‘なばり’ をめざした妊娠・出産育児の切れ目ない相談・支援の **場** であり、 **システム** です

### 身近なところでの寄り添い

人と人、人と地域を結び、保健・医療・福祉のしくみをつなぎ、全ての妊産婦や乳幼児の保護者に対する伴走型の予防的支援できる環境を整えます。

### 産前産後ケアの体制

産前産後の不安に対し、妊娠前からの教育、妊娠中からの相談・支援、産後直後の心身のケアができる体制を様々

個人→家族→近所→地域のエンパワーを高め、な主体と整備します。  
地域のソーシャルキャピタル醸成を図る

## 事業の背景

既存資源を引き出し保健師がコーディネート

### ・多様なニーズ〔社会的・生物的〕

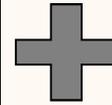
妊婦の高齢・幅広い年齢、少子化、経済不安や育児負担感に対する支援家庭の増加

### ・妊娠期の不安 3人目妊娠の不安

図 名張市における妊婦アンケートの結果(妊娠届出1577人 2013年)



既存の子ども・子育て支援事業、母子保健事業  
・地域や関係機関が取り組む子育て支援



新たな推進の形

新たな取り組み事業

### 新たな推進の形

- 子育て世代包括支援センター 切れ目ない支援をめざした母子保健および子育て支援のコーディネート機能  
チャイルドパートナー（身近な相談員）と母子保健コーディネーター（保健師や助産師）が、保健・医療・福祉の支援と利用者、人と人、人と地域を結びつけ、全ての妊産婦や乳幼児の保護者に対する伴走型の予防的支援ができる環境を整える。市の機構改革（子育て支援と母子保健部署の統合）、助産師との連携強化
- 子ども・子育て支援新制度

### 新たな取り組み事業

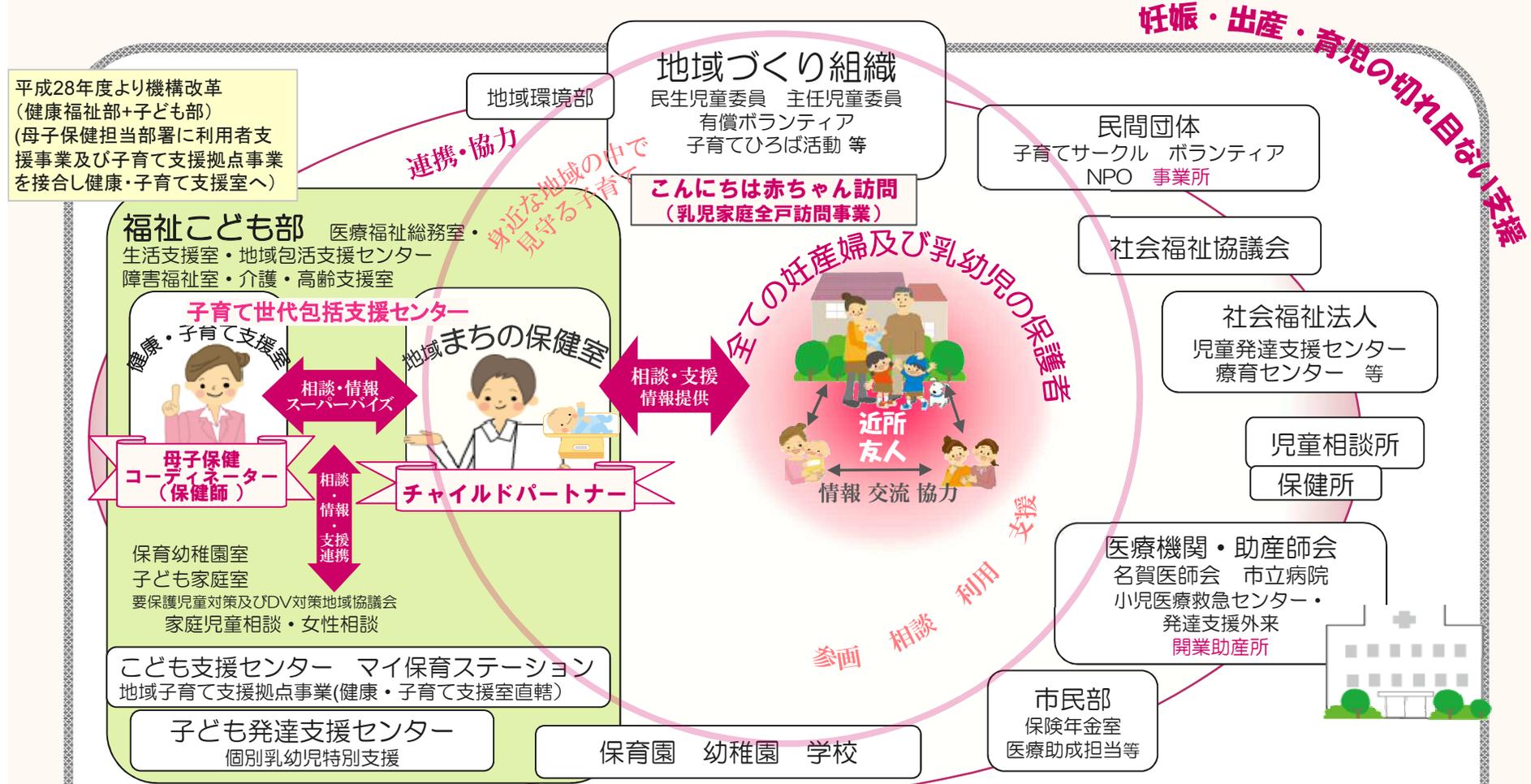
母子保健コーディネーター（保健師）が既存事業・関係機関との連絡調整、個別支援とのマネジメント

- チャイルドパートナーの設置  
まちの保健室15か所31名（小学校区・地域づくり組織毎）に位置付け 身近な地域での個別相談および地域づくり組織や地域内保育園（所）による子育て支援と協働
- 子育てプラン（ポピュレーション用）  
妊娠届出時（母子健康手帳発行時）にアセスメントし提案
- 子育てプラン（ハイリスク支援用）  
支援が必要な家庭への支援計画、関係機関と共有し支援
- 医療機関連絡体制整備  
産科や小児科との定期連絡会および随時の連絡体制
- 健康づくりサポートブック  
結婚（婚姻届用紙に案内）からの健康づくりの提案
- となりのまごちゃん応援教室 産前産後サポート各種教室に移行 →
- 子育て広場交流会 ・子育て支援員研修（国の認定講習）  
専門職研修会 男の育児教室（各地域づくり組織共催）  
各支援者の育成、育成後の交流・情報交換・研修
- 生後2週間目全戸電話相談（電話相談支援）  
出生届直後、助産師や保健師が電話による相談を産婦全員に実施
- 産婦乳腺炎予防ケアおっぱいケア（訪問および通院）  
医療機関及び三重県助産師会（開業助産所）委託  
産婦全員に電話相談後、乳房ケア助成券発行
- 産後ママとベビーのためのお泊りケア（病院宿泊・ハイリスク用）  
夜間の休息と相談支援 医療機関委託
- 保健センター母乳・育児相談（通所・ハイリスク用）
- かがやき安心育児・おっぱい教室（通所・ポピュレーション用）  
こども支援センター内 子育て支援拠点事業連動
- 産後ママのゆったりスペース（通所・ハイリスク用ハイリスク外も可）  
保育所内での休息と相談



# 推進の形

## 名張版ネウボラ 妊娠・出産・育児の切れ目ない支援



- ・身近なところで、妊娠段階から出産・育児まで継続的に相談を受ける
- ・母子保健と子育て支援サービスの有効な利用支援を行う
- ・個人→家族→近所→地域のエンパワーを高め、地域のソーシャルキャピタル醸成を図る

妊娠前の教育、妊娠中の相談・支援、産後直後の心身のケアができる体制を整備

# 取り組みから見える効果

名張版ネウボラ 妊娠・出産・育児の切れ目ない支援



## ○早期の相談支援体制の構築 『名張市地域福祉教育総合支援システム(平成28年11月開始)』による包括支援体制へ

- ・産科・小児科・精神科等とのネットワーク強化による社会的ハイリスク妊産婦の発見と支援へ
- ・助産所の開業等社会資源の増加と助産師会との連携強化につながる

## ○身近な相談場所とコーディネートによる支援の場の増加

- ・身近な相談利用の増加（チャイルドパートナー来所電話相談970件）
- ・要支援者の情報と紹介による妊娠期からの専門相談支援の増加
- ・産後ケア事業利用の増加（4事業計950組以上、特に訪問型乳腺炎予防ケア事業の増加）

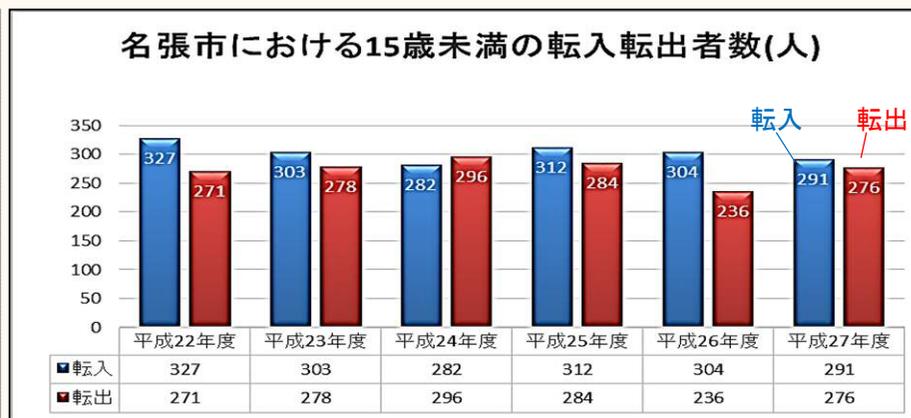
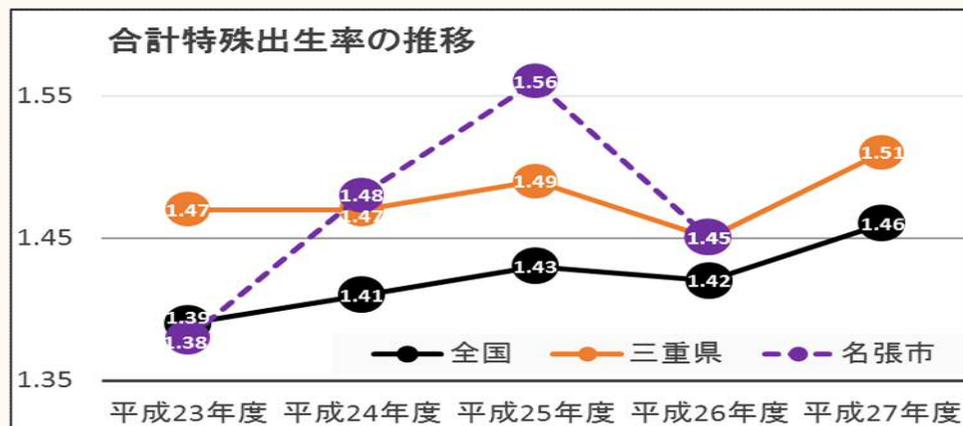


## ○子育て支援員の増加と地域づくり組織や関係機関による新たな支援の増加

- ・「子育て広場」等の地域の特徴に応じた充実や増加(地域づくり組織等からチャイルドパートナーに依頼の教室等261件、チャイルドパートナーと保育園の連携の増加)
- ・託児サービスや地域オリジナル誕生プレゼントの開始。男性やシニア世代に向けた育児講習会などの企画開催。シニア世代の健康づくり事業や介護予防事業とのリンク
- ・「子育て支援員研修」企画による関係機関との連携強化、就労者の増加、小規模保育の増加



## ○支援が必要な者から支援を提供する者と変化する傾向がみられる(把握できる)



出生率の上昇は見られない。平成28年10月1日時点;0歳人口554人(減少)15歳未満人口10,123人・12.6%(減少)、65歳以上人口23,003人・28.7%(上昇)。0歳人口は減少傾向にあるが、地域によっては増加がある。20～29歳では男女とも転出が超過(就業が理由)。県内からの転入は転出を上回る。名張地域・桔梗が丘地域・鴻之台地域への転入が多い。

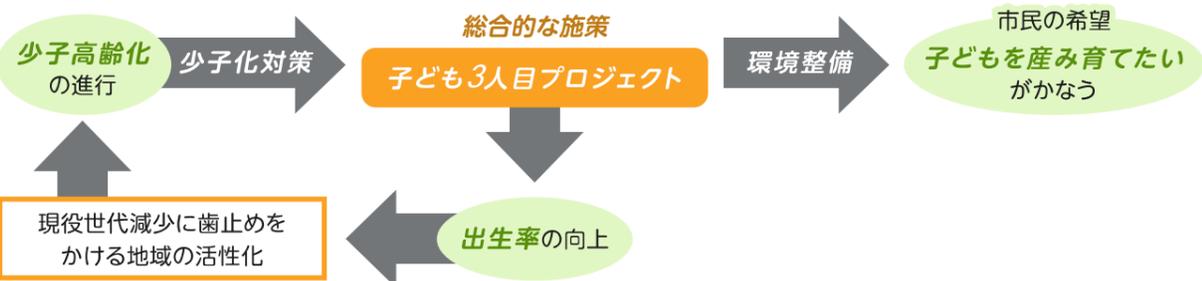
# 妊娠・出産・育児の切れ目ない支援 名張版ネウボラについて



## 名張版ネウボラ事業の背景

子ども・子育て支援法 子ども・子育て支援新制度 平成27年度本格始動

## 名張市子ども・子育て支援事業計画 子どもを生み育てるにやさしいまち「なばり」



### 子ども3人目プロジェクト

- (1) 第3子以降の子どもに関する経済負担の軽減
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 結婚・妊娠・出産・育児への切れ目のない支援

- ① 婚活支援事業の実施
- ② 名張版ネウボラの構築

名張版ネウボラ  
妊娠・出産・育児の切れ目のない支援事業

## 名張版ネウボラとは

産み育てるにやさしいまち「なばり」をめざした妊娠・出産・育児の切れ目のない相談・支援の場であり、システムです。「ネウボラ」とはフィンランドの制度で「相談・助言の場」を意味します。

### 身近なところでの寄り添い

まちの保健室で、妊娠段階から、出産・育児まで経済的に相談支援を行う人材として職員をチャイルドパートナーと位置づけます。チャイルドパートナーと地域の子育て支援のとりくみ、こども支援センターやマイ保育ステーション（地域子育て支援拠点事業）や保育所が連携しながら母子保健コーディネーター（保健師や助産師）とともに、保健・福祉のサービス（支援）と利用者、人と人、人と地域を結びつけ、全ての妊産婦や乳幼児の保護者に対する伴走型の予防的支援できる環境を整えます。

### 産前産後のケアの体制

従来の母子保健事業や子育て支援事業では補えきれなかった産前産後の不安に対し、妊娠前からの教育、妊娠中からの相談・支援、産後直後の心身のケアができる体制を医療機関・地域づくり組織等多様な主体によって整備します。

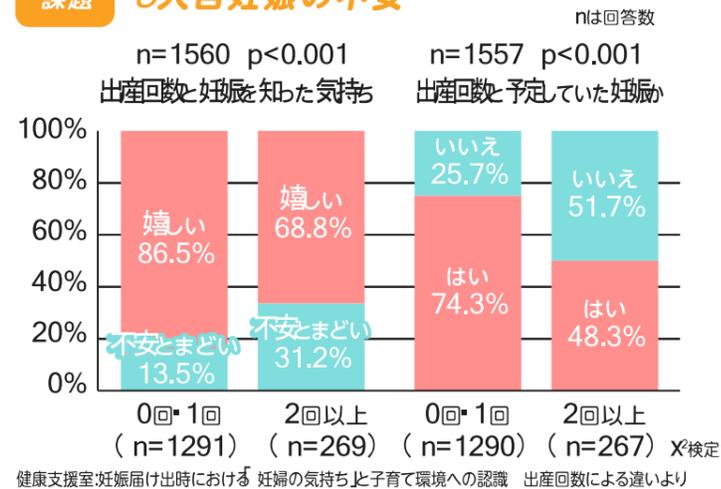
## 切れ目のない支援への「3つのつなぐ」

人と人・人と地域をつなぐ 妊娠前から出産・育児期までの時をつなぐ 保健・医療・福祉のしくみをつなぐ

名張市ではみなさまの健康と育児をさらに応援したいと考えています。ご意見もお待ちしています。

お問合せ 名張市役所 福祉子ども部 健康・子育て支援室(子育て世代包括支援センター) ☎63-6970  
保健師や助産師が電話相談や訪問相談も行っています。お電話ください。

## 課題 3人目妊娠の不安



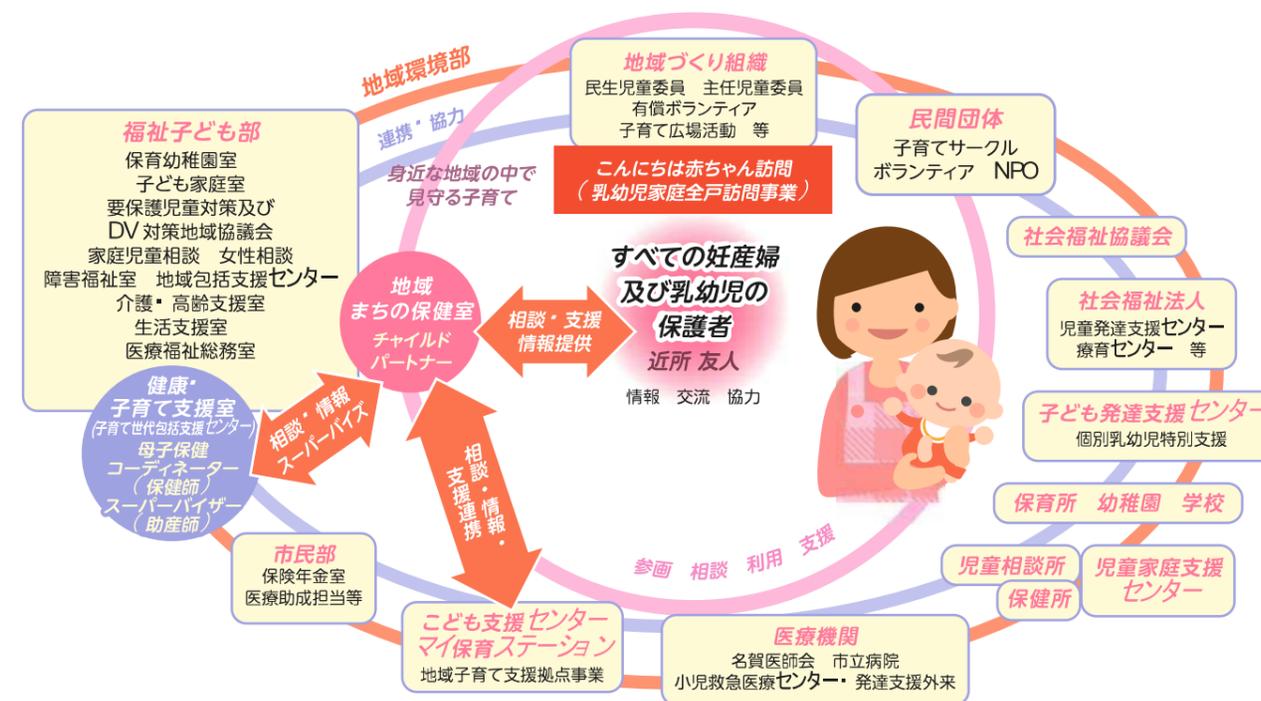
## 強み 15の地域づくり組織



## 地域の中で住民とともにチャレンジを

子育て支援を目的にした取組のプロセスが、地域住民間の関係性の再構築を促進し、介護予防、生涯現役のまちづくりの取組に発展します。

## 名張版ネウボラ推進の形 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援ネットワーク図



- ・身近なところで、妊娠段階から出産・育児まで継続的に相談を受ける
- ・母子保健と子育て支援サービスの有効な利用支援を行う

+妊娠前の教育、妊娠中の相談・支援、産後直後の心身のケアができる体制を整備





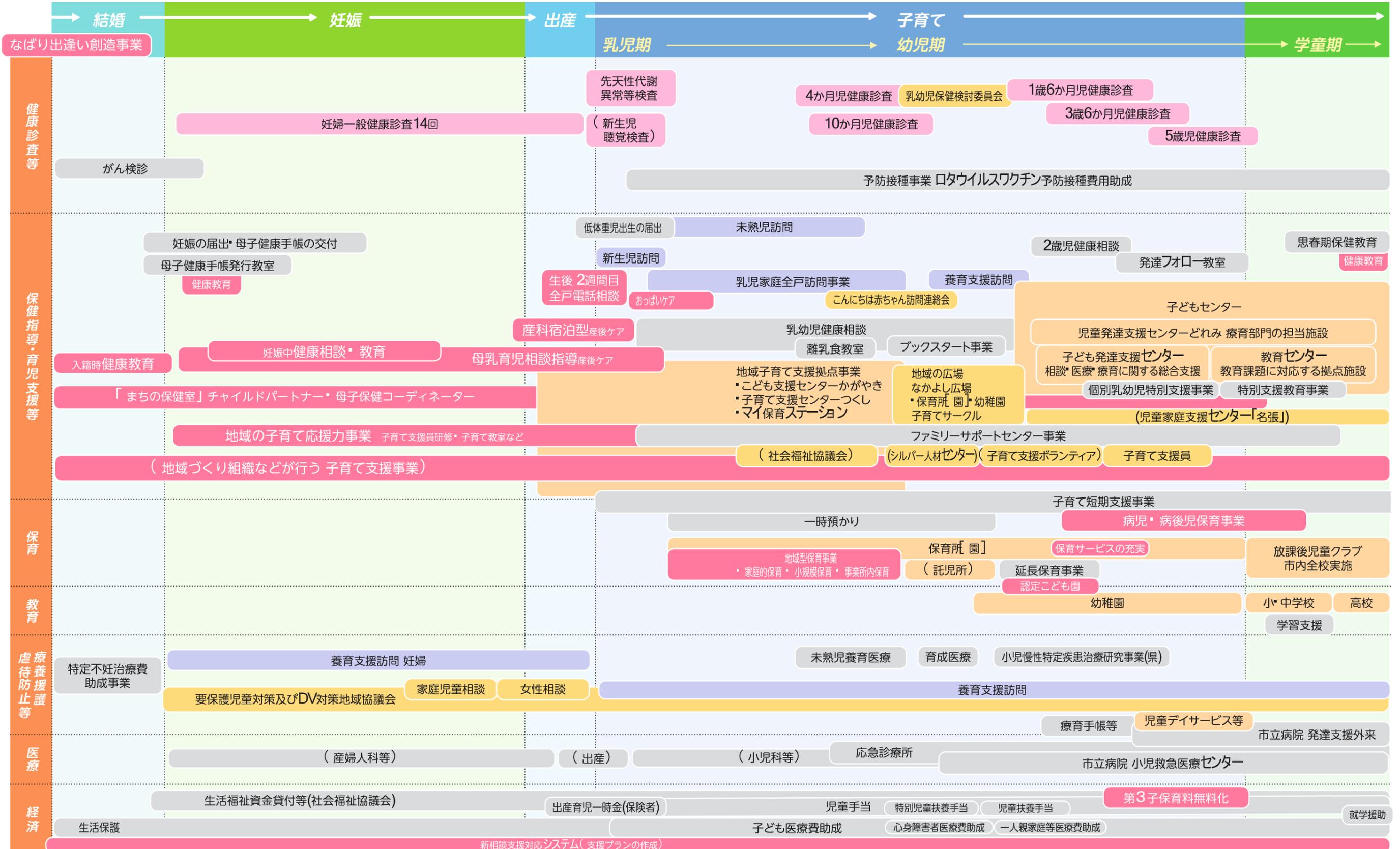
# 名張版ネウボラ・体系図

名張市の母子保健・子育て支援に関連した事業  
～妊娠・出産・育児の切れ目ない支援をめざして～

2017年4月発行「名張市子育てガイド」より

**関係機関** 福祉子ども部（医療福祉総務室・子ども家庭室・保育幼稚園室・子ども発達支援センター・こども支援センター・健康・子育て支援室（子育て世代包括支援センター）・障害福祉室・生活支援室・地域包括支援センター）/地域環境部/教育委員会（学校教育室・教育センター）/市民部（保険年金室）/児童相談所/保健所/県/社会福祉協議会/医療機関/療育機関/地域づくり組織/民生委員・児童委員・主任児童委員/有償ボランティア組織/民間団体 等

(カッコ) は市事業外・医療機関において実施されている



# 名張市産後ママへの健康&育児応援情報

29年度

「産婦の乳腺炎予防ケア事業」として  
おっぱいのケアを受けていただくための  
費用を助成します。  
出生届の後、はがきで案内します。

## 産後2週間目全戸電話相談



New Born Call



出生届を出していただいたら、産後2週～4週目頃、母子手帳発行時にご記入いただいた「こんにちは赤ちゃん訪問連絡票」をもとに、助産師・保健師が産後のママに電話をかけます。ママや赤ちゃんの健康状態や現時点での困りごとがあれば教えてください。必要に応じ、保健師・助産師の訪問や教室の参加をご紹介します。

## 助産師による母乳・育児相談

- 場所：名張市保健センター 1階  
[名張市朝日町 1361-4]
- 持ち物：母子健康手帳、バスタオル1枚  
フェイスタオル2枚
- 問い合わせ先：名張市役所 健康・子育て支援室  
☎ 63-6970

☆要予約 実施日時については、名張市役所健康・子育て支援室にお問い合わせください。  
☆必要に応じ、助産師や保健師が自宅に訪問させていただき相談を受けることもできます。



## かがやき

体重測定もします

## 安心育児・おっぱい教室 妊婦さんもwelcom!

- 助産師がいます
- 実施日時：木曜日
- 場所：子ども支援センター かがやき  
[桔梗が丘西 3-3-107]
- 持ち物：母子健康手帳、バスタオル1枚  
フェイスタオル2枚
- 問い合わせ先：子育て支援センターかがやき  
☎ 67-0250



## 産後ママ\*ゆったりスペース

産後すぐからでも出かけることができる場として、赤ちゃん和妈妈のためのスペースをつくりました。助産師がいますので赤ちゃん和妈妈の健康や育児の相談にも応じます。横になって休んでいただくこともできます。妊婦さんもどうぞ。

寝不足の方はうたたねもOKです。ここで元気を充電してかえってくださいね。



- 実施日時：毎週月曜日 10時～15時
- 場所：赤目保育所 マイ保育ステーション 内  
[赤目町壇 448-3]
- 持ち物：母子健康手帳、バスタオル(赤ちゃんねんね用)
- 問い合わせ先：赤目保育所マイ保育ステーション  
☎ 63-2805

※保育所の行事等で変更になる場合があります。お問い合わせ下さい。

## 産後ママとベビーのためのお泊りケア

市が委託した産科医療機関への宿泊を通じて、産後のママの心身のケアや育児サポート等の支援を行います。治療などの医療行為は必要としないが、自宅での支援がなく、医師や保健師等から利用が必要と判断された方が対象となります。詳しい内容やお申し込み方法などは健康・子育て支援室にお問い合わせください。 ☆利用料金有



## 地域の主任児童委員が訪問します

## こんにちは赤ちゃん訪問

生後2か月の赤ちゃんのいる全てのご家庭に訪問させていただきます。

市や地域の子育て支援に関する情報と、予防接種の予診票をお届けします。はがきで案内します。

※赤ちゃんの発育やママの体調など、相談が必要な場合は、「こんにちは赤ちゃん訪問」以外にも保健師による相談や訪問も随時お受けしますので、気軽にご相談下さい。



各市民センターの『まちの保健室』では、相談員(チャイルドパートナー)が健康・子育て支援室と連携し、子育てのこと、生活のことなどの相談に応じます。『おむつ専用無料ゴミ袋』も置いてあります。気軽にお立ち寄りください。

産後の体調、育児や赤ちゃんの発育に関して心配なこと、困ったことは健康・子育て支援室にお電話ください。

## 名張市役所 健康・子育て支援室

子育て世代包括支援センター

電話 0595-63-6970

名張市では「産み育てやすいまち『なばり』をめざし88みなさまの健康と子育てを応援します。



# NABARI INFORMATION



乳幼児とママ&パパの健康相談  
おっぴいの相談・発育の相談  
予防接種・健診について

## ★健康・子育て支援室

名張市鴻之台1番町1番地  
名張市役所1階⑧番窓口

保健師  
います

子育ての相談・子育て広場・サークル  
ファミリーサポートなどについて

## ★こども支援センター かがやき

名張市桔梗が丘西3-3-107  
☎67-0250

ぜひ遊びに  
来てください

保育所・幼稚園についての相談

## ★保育幼稚園室

名張市鴻之台1番町1番地  
名張市役所1階⑩番窓口  
☎63-7919

夜間・休日など病院に病気になったら  
＝診察＝

### ★名張市応急診療所

名張市朝日町1361-4 ☎63-3913

### ★名張市立病院小児科(24時間対応)

名張市百合が丘西1-178 ☎61-1100

＝受診可能な病院を紹介＝

### ★三重県救急医療情報センター

(24時間体制) ☎64-1199

名張市内の小児科

### ★かとう小児科

桔梗が丘5-2-48 ☎65-5311

### ★なほりこどもクリニック

鴻之台3-24-2 ☎62-2105

### ★名張市立病院小児科

百合が丘西1-178 ☎61-1100

### ★みらいのこどもクリニック

希中央4-2 4階 ☎62-3888

## まちの保健室

お住まいの地域で気軽に相談できる場所です。  
チャイルドパートナー がいます。

月～金 9:00～17:00  
あいています。留守の場合もありま  
すので、お電話の上お越しください。  
おむつ用専用ごみ袋をお渡しできます。  
身体計測もできます。

名張まちの保健室 名張市上八町 1321-1(名張市民センター内) ☎63-5699

鴻之台・希中央まちの保健室 名張市鴻之台 1-2(名張市防災センター1階 中央ゆめづくり館内) ☎63-0805

蔵持まちの保健室 名張市蔵持町原出 319-1(旧伊賀南部農業協同組合蔵持支所内) ☎63-6371

梅が丘まちの保健室 名張市梅が丘南 5-184(梅が丘市民センター内) ☎61-3770

薦原まちの保健室 名張市薦生 1607(薦原市民センター内) ☎63-6400

美旗まちの保健室 名張市美旗町南西原 229-3(美旗市民センター内) ☎65-5800

比奈知まちの保健室 名張市下比奈知 1768(比奈知市民センター内) ☎68-1278

すずらん台まちの保健室 名張市すずらん台東 3-220(すずらん台市民センター内) ☎68-5700

桔梗が丘まちの保健室 名張市桔梗が丘 5-12-10(桔梗が丘南市民センター内) ☎65-1299

錦生まちの保健室 名張市安部田 2118(錦生市民センター内) ☎63-2571

赤目まちの保健室 名張市赤目町女六 238-1(赤目市民センター内) ☎63-1381

箕曲まちの保健室 名張市夏見 215(箕曲市民センター内) ☎63-1073

百合が丘まちの保健室 名張市百合が丘西 5-13(百合が丘市民センター内) ☎64-8600

国津まちの保健室 名張市長瀬 1418(旧長瀬保育所内) ☎69-1718

つつしが丘まちの保健室 名張市つつしが丘北 5-73-2(つつしが丘市民センター内) ☎68-7800

# 大阪府堺市



# 大阪府 堺市

## 地域の概要

堺市は、古代に仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群が築造され、中世には海外交易の拠点として「自由・自治都市」を形成し、経済・文化の中心地として栄えました。

平成18年に政令指定都市となり、「市民とともに取り組む3つのプロジェクト」として、①子育てのまち堺 ②匠の技が生きるまち堺 ③歴史文化のまち堺をあげ、魅力のあるまちづくりに取り組んでいます。

- ◆ 人口 836,109人 (H29・3.1現在)
- ◆ 年間出生数 6,969人 (H27)
- ◆ 合計特殊出生率 1.49 (H27)

【地図】



## 概況

### 子育て世代包括支援センターとして連携

#### 1 場所

利用者支援事業(基本型)

市内各区役所内の子育て支援課に設置(7か所)

利用者支援事業(母子保健型)

市内の保健センターに設置(8か所)

連携

#### 2 実施体制

基本型として7名(各区1名)の子育て支援コーディネーターのほか保育士、保健師、家庭相談員等が常駐

保健師 約60名(各小学校区担当)

#### 3 設置開始時期

平成27年6月  
子育て支援コーディネーター全区設置

平成26年7月  
母子保健コーディネーターとして設置

# 大阪府 堺市

## 取組内容

- ◆ 要支援者を早期にもれなく把握し、適切な支援につなげられるよう、母子健康手帳を保健センターのみで交付し、すべての方に保健師が面接を実施。必要な方には支援計画を立て、関係機関と連携し支援を行っている。
- ◆ 妊娠期からお子さんが1歳頃までに利用できる市の事業について、保健師が面接しながら必要に応じて紹介する。
- ◆ 妊娠期から子育て期に、不安や悩みがあった場合に相談できる「あなたの担当の保健師」をお知らせし、冷蔵庫等に貼れる相談窓口を記載したマグネットや母子保健コーディネーター紹介チラシを配布する。
- ◆ 支援が必要な方を、各区の子育て支援課の利用者支援事業(基本型)他、多様な職種の職員と連携し、産前産後サポート事業(アウトリーチ型、デイサービス型)、産後ケア事業(アウトリーチ型・宿泊型)などにスムーズにつなげ、また必要時は継続して連携するなど、切れめなく支援を行っている。
- ◆ 子育て支援課、保健センターが、医療機関や認定こども園など地域の保健福祉関係機関と交流会やネットワーク会議を開催し、普段から顔の見える関係づくりを行っている。

## 取組の評価(取組の効果や課題等)

- ◆ 保健師による面接状況(平成27年度)  
妊娠届出者 7,150人 ⇒ 支援が必要な人 1,429人 (20.0%)  
【支援が必要な人の内訳】
 

経済的な心配	31.6%
援助者がいない	18.7%
精神的な心配	21.8%
望まない妊娠	7.7%

 など(重複あり)
- ◆ 転入された妊婦への面接 462人 ⇒ 支援が必要な人 81人 (17.5%)
- ◆ 「要支援ケース連絡会」での検討(平成27年度)  
年間開催回数43回: (実件数)194件 (延件数)408件

- ◆ 4か月児健康診査アンケートより  
「心配なことや不安なことを、保健センター保健師に相談できることを知っていますか。」  
→ 「はい」と回答:83%(平成27年度)→87%(平成28年度)
- ◆ 乳児全戸訪問のうち、子育て支援センターで実施している訪問でフォローの対象者を保健センターつないだ割合  
こんにちは赤ちゃん訪問:約2.5%  
さかい子育てスマイル訪問:約6.1% (平成28年度)
- ◆ 保健センターと子育て支援課の多様な職種が状況に応じて連携し、子育て支援事業を適切に活用するなど切れめなく親子を支えている。  
平成27年度実績 子育てアドバイザー派遣 231回(実59家庭)  
育児支援ヘルパー派遣 2,325回(実114家庭)

# 大阪府 堺市

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

- 平成21年度から保健センターにおいて、保健師による妊娠届出時の全件面接を実施している。
- 平成24年度、25年度は、保健センターが把握した要支援児や特定妊婦、乳幼児健診未受診で連絡が取れない児を、保健センターと子育て支援課（家庭相談員）で情報共有し、適切な支援につなげる「要支援ケース連絡会」を全区実施に向け取り組んだ。
- 平成26年度、妊娠・出産包括支援モデル事業に取り組むにあたり、支援が必要な方を妊娠早期からもれなく把握し適切な支援につなげるため、従来行っていた保健センター保健師による妊娠届出時の全件面接の充実を図った。また、「子育てアドバイザー派遣事業」、「育児支援ヘルパー派遣事業」など、既存の在宅支援事業の見直しや充実を図る中で、各事業の申請窓口となっている子育て支援課職員（保育士等）と、保健センター職員間の連携をよりスムーズに行うための手引きを作成した。
- 平成27年度は、次年度から宿泊型産後ケア事業を新たに実施するにあたり、窓口となる子育て支援課職員（保健師）と、保健センター保健師、実施助産所との連携体制について協議した。
- 平成28年3月、妊婦や親子が気軽に集い交流し、不安・悩みを相談できる場として区役所内に子育てひろばを設置（ただし近くに他の交流ひろばがある1区を除く）。子育てひろばでの一般的な相談から把握された支援の必要な方を、早期に適切な支援につなげられるよう体制整備を整えた。
- 平成28年度から、子育て支援の更なる充実のため宿泊型産後ケア事業を開始し、併せて関係機関との交流会や研修を継続し支援力の向上を図っている。

### ◆ 特色・PRポイント

事業名	実施者	窓口
妊娠届出時の全件面接	利用者支援事業（母子保健型）	<b>保健センター</b>  <b>子育て支援課</b> 利用者支援事業（基本型） 保育士 保健師 家庭相談員等  <b>保健センター・子育て支援課</b>
訪問型産前産後サポート事業 （子育てアドバイザー派遣事業）	研修を受けた市民ボランティア	
訪問型産後ケア事業 （育児支援ヘルパー派遣事業）	NPO、民間訪問事業所	
宿泊型産後ケア事業	地域助産所	
地域子育て支援拠点事業 （地域（31）、区役所（6）、商業施設内（1））	地域団体、NPO等民間事業者、行政	
保健福祉関係機関との連携・交流	産科医療機関、助産所、地域、認定こども園等	

子育て世代包括支援センターとして連携

# 大阪府 堺市

## 関係機関交流会

(市全体で年1回開催。各区でも別途実施)



## 妊娠届出時配布物

(あなたの担当保健師紹介マグネット)

あなたのお住まいの地域には、**堺市** **BAKAI CITY**  
地域を担当する**保健師**がいます。



妊娠中や産後のご心配なことや不安なことは、**保健師**（母子保健コーディネーター）にご相談ください。

### 市内の保健センターご連絡先

保健センター名	TEL	FAX
堺	238-0123	227-1593
ちぬが丘	241-6484	247-3201
中	270-8100	270-8104
東	287-8120	287-8130
西	271-2012	273-3646
南	293-1222	296-2822
北	258-6600	258-6614
美原	362-8681	362-8676

## 妊娠届出時配布物

(妊娠期から産後に利用できる制度紹介～堺市育児総合ガイドブック～)





KOBE

子育て応援団

いいね！神戸で子育て

# 兵庫県神戸市

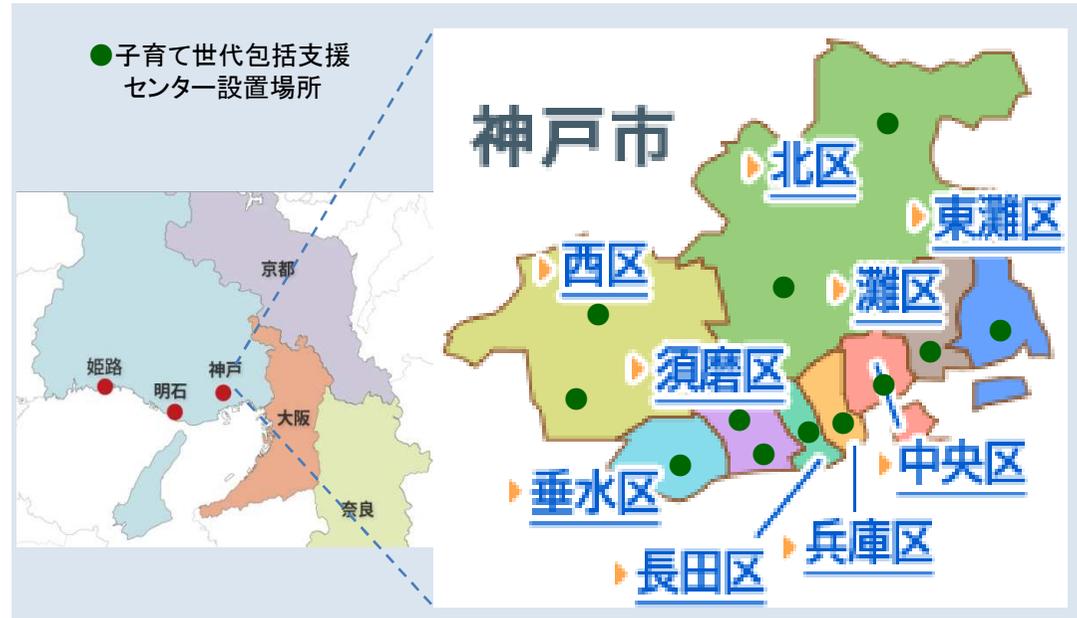
# 兵庫県神戸市

## 地域の概要

- ・人口:1,534,388人(平成29年2月現在)
- ・面積:557,02km<sup>2</sup>
- ・年間出生数 :12,140人(平成27年)

### ・その他

神戸市は、兵庫県の南部に位置し、市域は9行政区よりなっている。地勢的には、六甲山系により南北に二分され、南側は東西に長く広がり、既成市街地とポートアイランド等の人口島の海上都市地域で形成される。北側は、農地と山林が広がり、計画的な新市街地の整備が進んでいる。全人口のうち約75%が既成市街地に集中している。



## 概況

- 1 場所:各区役所・支所・出張所(12か所)
- 2 実施体制 (1)担当者:保健師・助産師・看護師 (2)人数:各1名(計12名)
- 3 設置開始時期:平成27年4月

## 兵庫県神戸市

### 取組内容

各区役所・支所・出張所に子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健コーディネーターを配置。妊娠期には、妊娠届出時に全数面接を行い、妊娠に対する気持ちや子育て支援者の有無、心身の既往歴などに関するアンケートを実施している。面接の結果、支援が必要な対象を漏れなく把握・支援する。

子育て期については、各区・支所・出張所と連携して乳幼児健診や新生児訪問指導事業を基盤に、支援を要する親子を把握し、支援を行っている。

また、地域の子育て支援を行う関係機関と連携して対象者の状況に応じた妊娠・出産・育児に関する相談・情報提供を実施し、各種サービス(養育支援訪問事業や産後ケア事業等)や地域の子育て支援事業へつなぎ、地域で自信をもって子育てができるよう継続的に支援する。

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

妊娠届出時の全数面接を行い、妊娠に対する気持ちや子育て支援者の有無、心身の既往歴などに関するアンケートを実施することで、支援が必要な人を漏れなく把握し、妊娠中から出産後まで切れ目のない支援を実施することができている。

よりきめ細やかな相談支援を行うために、現在定例的に母子保健コーディネーターの情報交換会を開催し、業務内容の標準化に努めているが、今後実践経験をもとにサービスのコーディネートや相談時のアセスメント等についてマニュアル化する等で、相談スキルの向上を図ることが課題である。

# 兵庫県神戸市

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

本市においては、母子健康相談により随時妊娠・出産・育児に関する相談に対応するとともに、医療機関との連携により、支援を要する妊産婦や親子を把握し、保健師による訪問支援などを行う「養育支援ネット事業」を実施している。これらの取り組みで把握された、様々な理由から養育環境が脆弱、強い不安等により出産までの間に継続的な支援が必要な妊婦は年間約600人であるが、支援基準等が統一・明確化できていないといった課題があった。また、妊婦健康診査を受けず飛び込み出産などで出産後に母子健康手帳の交付を受ける事例が、年間1～5例あり、妊娠期の取り組みの強化は必要であった。

妊娠届出時の全数面接によるハイリスク妊婦の把握と支援に加えて、平成27年2月より望まない妊娠など様々な理由から妊娠に戸惑っている妊婦が気軽にメールや電話で相談できる思いがけない妊娠SOS相談事業を開始している。また、妊娠から出産後を通じた切れ目のない支援体制整備のため、家族などからの支援が得られにくい産婦に対して、平成26年11月より「神戸市産後ケア事業」を開始している。子育て世代包括支援センターでは、妊娠届出時のハイリスク妊婦の把握とその支援を充実させるため、思いがけない妊娠SOS相談事業の委託先との連携や神戸市産後ケア事業の利用調整を行うなど、妊産婦に対し、関係機関と連携して支援を行い、各種サービス及び地域の子育て支援事業へ繋ぐよう工夫している。

### ◆ 特色・PRポイント

○妊娠届出時の面接を実施するにあたり、支援対象者の把握や支援基準等について、妊娠届出の受付ガイドラインを作成し、支援が必要なハイリスク妊婦の早期発見、早期支援に努めている。

○産後うつ病に関する取り組みとして、新生児訪問指導事業及び4か月児健診にて、産後うつ病のスクリーニングを実施している。それに合わせて、ガイドラインを作成し、支援基準等の統一を図っている。

○思いがけない妊娠SOS相談事業、神戸市産後ケア事業を委託している兵庫県助産師会及び神戸市内助産所等との連携を図り、支援が必要な妊婦の把握及び妊娠中から出産後にかけて切れ目のない支援を実施している。

○妊娠届出の内容及びアンケートは、母子保健に係るシステムにて情報管理をしており、出産後の子どもの情報と連動している。そのため、妊娠届出時に把握されたハイリスク妊婦については、新生児訪問指導においてもその情報を活用して切れ目のない支援が行える仕組みを構築している。

# 兵庫県神戸市

情報コーナー(プレイスペース)①



情報コーナー(プレイスペース)②



保健師による妊婦面接



妊娠に対する不安・  
悩みを伺い妊娠中  
から支援します

個室(育児相談・体重測定)



地域の子育て情報の  
発信もしています



# 鳥取県日吉津村

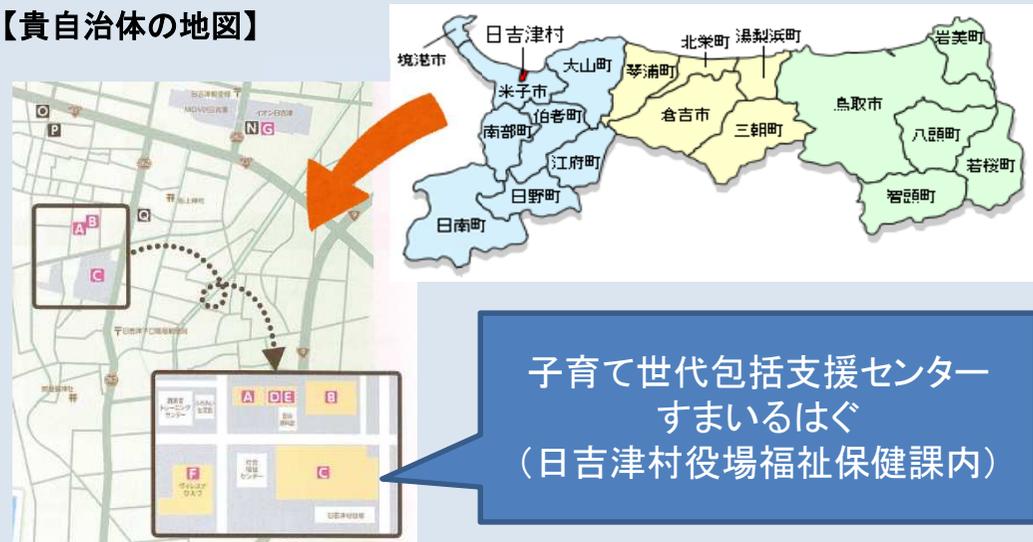


# 鳥取県日吉津村

## 地域の概要

- ・人口:3,526人(平成29年3月1日現在)
- ・年間出生数:26人(平成27年度)  
40人(平成28年度)
- ・合計特殊出生率:(H27)1.24(鳥取県1.69  
全国1.46) H28(推計値)2.04
- ・公立保育所1、小規模保育所2、小学校1、中  
学校(組合立)1、子育て支援センター1
- ・周囲を鳥取県西部地区の拠点都市である米子  
市に囲まれ、村内を国道431号が通過するなど、  
面積4.2km<sup>2</sup>という小さい村ながら西部地区の交  
通の要衝ともなっている。村中心部に主要施設  
が集まり、比較的子育てしやすい環境にあるが、  
子育て世代はアパート居住者も多く、一時的な転  
入世帯や自治会に加入しない世帯も増えている。

### 【貴自治体の地図】



子育て世代包括支援センター  
すまいるはぐ  
(日吉津村役場福祉保健課内)

## 概況

1 場所: 日吉津村役場福祉保健課内

2 実施体制 (1)担当者:母子保健コーディネーター(嘱託保健師)

(2)人数:1人

3 設置開始時期:平成27年4月

## 鳥取県日吉津村

### 取組内容

- ・子育て世代包括支援センターに母子保健コーディネーター（保健師）を1名配置し、妊娠期から子育て期まで、家庭訪問や面接等による継続支援を行っている。
- ・母子保健コーディネーターは母子健康手帳交付時より個室にて面接し、具体的な支援の充実を図るために、アンケートを用いながら子育てプラン（妊娠届出時）を提供している。子育てプランについては、出生時・就園時も全数作成し提供している。妊娠期から子育て期の特に支援の必要なケースに対しては、子育て応援プランを作成し、適宜プランの評価、見直しを行う。母子健康手帳交付時や転入時には、日吉津村子育て支援ファイルを手渡し、それぞれの時期に受けられる支援等について説明している。その他、母子保健担当保健師と連携し、助産師による子育て相談会（県助産師会委託）等の事業の実施、園訪問や保育所巡回相談への参加を行い、母子保健事業の運営、相談支援、園支援等を行っている。
- ・月1回の関係者会議（役場内子育て支援に関わる職員、保育所、子育て支援センター職員）や実務者（コーディネーター・保健師）による連絡会により各事業の情報交換やケースの情報共有、支援の検討を行っている。
- ・子育て世代包括支援センターの取り組みについては、広報誌等に掲載し、子育て世代以外の住民にも周知を図っている。

### 取組の評価（取組の効果や課題等）

#### 【効果】

- ・母子保健コーディネーター等職員体制の整備、既存の母子保健事業の拡大・充実を図ることで、プランの提供や産前訪問の実施等、よりきめ細やかな支援を実施することが可能となった。
- ・妊娠期から一貫して関わることで、より身近で気軽に相談できる関係構築につながり、相談件数が増加した。
- ・関係者で定期的な情報交換を行うことで、情報の集約、多方面からの支援を検討、実施することが出来るようになった。

#### 【課題】

- ・プランの様式について、様々なケースに対応できるよう、適宜修正を行う必要がある。応援プランについても、発達障がい・産後うつ等のベースとなるプランの作成が必要。
- ・困難・複雑なケースが増加しており、村外の他職種・他機関とも連携しながらより個別的な支援を検討していく必要がある。
- ・課内に設置しているため、子育て世代包括支援センターを子育て支援機関・相談先として広く周知をしていく必要がある。

## 鳥取県日吉津村

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

- ・子育て世代はアパート居住者も多く、一時的な転入世帯や自治会に加入しない世帯も増えており、出産や育児に対する保護者の不安や負担が増えてきている。そのため、より身近な場で妊産婦、保護者を支える仕組みが必要であり、個々に合わせた支援を行い、安心して出産・子育ての出来る環境を提供していくことが重要と考えた。子育て支援の体制整備、既存の母子保健事業を拡大・充実し、よりきめ細やかな支援を提供するために26年度より妊娠・出産包括支援モデル事業に取り組み、以降も継続して「日吉津版ネウボラ」の構築を目指して事業を継続している。なお、「子育て世代包括支援センターすまいるはぐ(smile+hug)」の名称は、住民に親しみやすいものになるように課内にて考えた。
- ・28年度もモデル事業時より助産師として勤務していた職員を引き続き母子保健コーディネーターとして採用し、支援が切れ目なく行えるよう体制を整えた。
- ・関係者会議を毎月開催しており、子育て世代包括支援センターにおいても継続して開催している。

#### ◆ 特色・PRポイント

- ・母子保健コーディネーターが主となり妊婦訪問、赤ちゃん訪問、4か月時の子育て支援センター体験を行っており、産科医療機関との連携も適宜行っている。その他の事業は母子保健担当保健師と連携して実施しており、支援が必要なケースについては常に情報共有できる環境にある。
- ・母子健康手帳発行時・赤ちゃん訪問時・就学前の各時期に育児パッケージ「すまいる応援グッズ」を配布している。
- ・訪問等で産後ヘルパー・産後カウンセリング(民間事業者委託)・産後ショートステイ・産後デイケアが必要だと思われる場合は、担当につなげ、早期より適切にサービスが提供されるよう関わっている。
- ・保育所、幼稚園、子育て支援センター、教育委員会等とは母子保健コーディネーター、母子保健担当保健師が適宜支援の必要なケースについて情報交換を行っている。

# 鳥取県日吉津村



## 産後ヘルパーの利用について (日吉津村子育て家庭ヘルパー派遣事業)

【産後ヘルパーとは】  
産後に日中の家事・育児支援が得られない家庭より支援の申し出があり、支援が必要と判断された家庭に米子広域シルバー人材センターの産後ヘルパーを派遣します。

【対象者】  
日吉津村に住所がある方で、出産し退院した翌日から2か月以内（多胎出産の場合は、出産から1年以内）で、日中の家事・育児支援が得られず日常生活に支障のある方。

【実施日及び時間】  
平日の午前9時から午後5時までの間で、1日2時間まで、退院後2カ月で10日を限度とします。ただし、多胎出産の場合は出産後1年で35日を限度とします。

- 【内容】
- (1) 食事の準備及び後片付け
  - (2) 衣類の洗濯
  - (3) 居室等の清掃及び整理整頓
  - (4) 食料、生活必需品等の買物
  - (5) おむつ交換の補助
  - (6) ちく浴の補助
  - (7) 上の子の世話
  - (8) 生活及び育児に関する指導、助言
  - (9) その他必要と認められた援助



【利用料】  
無料です。

【利用方法】  
利用を希望される方は、下記までお問い合わせください。

## 赤ちゃん訪問について

日吉津村では、赤ちゃんがお生まれになった全てのご家庭に、子育て世代包括支援センター（福祉保健課内）の保健師や子育て支援センターの保育士などが訪問し、育児の相談やお母さんの産後の相談などにのっています。

出生後の赤ちゃん訪問では、体重測定などを通して赤ちゃんの成長を確認したり、今後の健診や予防接種などについてもお話しています。

家庭訪問の日程は？  
出生届提出時や赤ちゃんカードを提出された時に日程調整をします。保健師不在時は後日電話をさせていただきます。

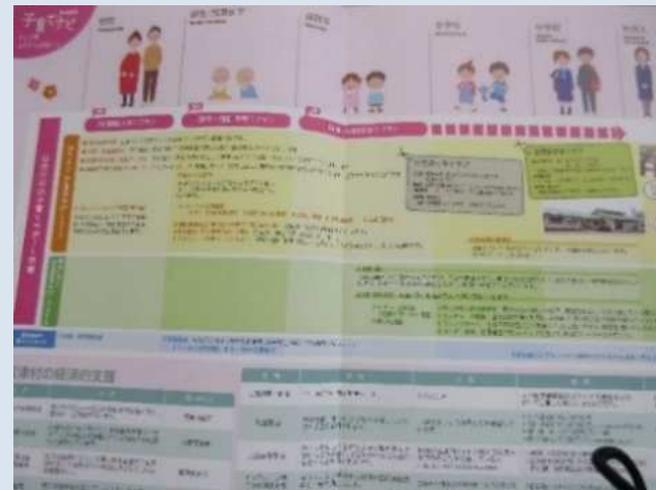
懇申しをする場合は？  
里帰り先から帰られましたら、保健師までご連絡ください。日程調整をさせていただきます。また、里帰りの先での訪問をご希望される場合は、お早目に下記までご相談ください。

そのほか、育児のことで心配ごとなどありましたら、  
子育て世代包括支援センター（役場福祉保健課内）保健師  
【TEL27-5952】までご相談ください。



母子健康手帳交付時や相談時は別室にて母子保健コーディネーターや母子保健担当保健師が面接をします。妊婦、新生児、4か月訪問も母子保健コーディネーターが行います。必要時産後ヘルパー等につなぎます。

子育て支援ファイル(母子手帳交付時配布)とダイジェスト版の子育てナビ



# 東京都江東区



**KOTO** City in **TOKYO**  
スポーツと人情が熱いまち 江東区

# 東京都江東区

## 地域の概要

- ・人口 : 506,511人  
世帯数: 258,160世帯 (1世帯あたり1.96人)  
(いずれも 平成29年1月1日現在)
- ・年間出生数 : 4,843人 (平成27年)
- ・江東区は東京都特別区の中で東部に位置し、  
亀戸・深川など江戸情緒あふれる下町の風情  
を残している一方、南部の東京湾に面した臨海  
部は大規模な開発により、大規模集合住宅・  
学校・大学・大規模商業施設などがつくられ、  
人口も平成10年以降増加している。しかし、  
一世帯あたりの平均人員は平成16年から漸減、  
小世帯化の傾向を示している。
- ・面積 : 40.16km<sup>2</sup>(平成28年4月1日現在)

## 【江東区の地図】



## 概況

### 1 場所: 区内に4か所

- 深川保健相談所(江東区白河3-4-3-301)
- 深川南部保健相談所(江東区枝川1-8-15-102)
- 城東保健相談所(江東区大島3-1-3)
- 城東南部保健相談所(江東区南砂4-3-10)

- ### 2 実施体制 (1)担当者: ①地区担当保健師 および ②面接専門担当員(助産師・保健師・看護師)
- (2)人数: ①4か所計53名 ②各所1名

- ### 3 設置開始時期: 平成28年4月

## 東京都江東区

### 取組内容

○両親学級や各種乳幼児健診・育児相談などを実施している保健相談所では、平成25年に妊娠届を改訂し、アンケートを用いた要支援妊婦の把握と支援を行っていた。平成28年度の「妊娠・出産支援(ゆりかご・江東)事業」として「妊婦面接事業(ゆりかご面接)」「産後ケア事業」の開始に伴い、子育て世代包括支援センターと位置づけ事業展開している。

○従来より各保健相談所で行われていた地区母子連絡会や要対協実務者会議をはじめ、随時、虐待対応部署や医療機関、地域子育て支援拠点などの関係機関と、妊産婦や乳幼児の情報共有、支援内容の検討を行っている。

**【妊婦面接事業(ゆりかご面接)】**平成28年4月開始。

すべての妊婦を対象に、助産師・保健師等の専門職が面接を行い、継続的な支援が必要な妊婦には個別の支援プランを作成、関係機関との連携や必要なサービスにつなげ、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援する。

また、面接した妊婦本人にはプレゼントを贈呈している。

事業の周知：産婦人科医療機関および妊娠届出提出窓口で、ポスター掲示及びチラシを個別配布。

実施方法：妊婦本人が居住地域を担当する保健相談所に来所して面接を行う。

**【産後ケア事業】**平成28年6月開始。

産後に心身の不調や育児不安がある母子などに対し、医療機関等の施設で母子のケアや育児指導などを行う(宿泊型・日帰り型)。また、自宅や施設にて乳房ケアを行う(訪問・外来型)。平成28年度の対象及び利用回数等は以下の通り。

<宿泊型> 家族等からの十分な支援がなく、体調不良や育児不安のある、初産で、産後1か月未満の母子(2泊3日まで1回)

<日帰り型> 家族等からの十分な支援がなく、体調不良や育児不安のある、産後4か月未満の母子(1回)

<乳房ケア> 乳房トラブルをかかえる、産後4か月未満の母(1回)

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

○妊娠届のアンケートから支援が必要と判断された妊婦は39.1%(平成27年度)だったが、ゆりかご面接で妊婦から直接、不安や状況を聞き取りをした結果、育児不安が強い・精神科の受診歴がある・経済的な不安があるなど継続支援が必要と判断された妊婦は8.6%であった(平成28年4月～11月)。面接を実施することにより、より支援の必要性の高い妊婦の抽出が可能となった。また、妊娠中に面接を行うことで、妊娠中から子育て期にわたる相談窓口として保健相談所や保健師等の支援者の存在が認識され、安心して妊娠・出産・育児に取り組むことができる。

○産後ケア事業では、母体ケア、育児相談、授乳指導などについて助産師等の支援を受けることができ、不安を軽減して安心して育児に取り組める。

○ゆりかご面接の実施は半数程度にとどまっており、今後の面接実施率を向上させることが課題である。

# 東京都江東区

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

○江東区では、産後1か月までに新生児・産婦訪問を実施し、産婦の育児不安の軽減と児の健やかな育成を支援してきた。さらに平成25年度には妊娠届様式を変更し、妊娠中の妊婦の不安を把握したところ、約4割の妊婦が何らかの不安を抱えていることがわかった。しかし、このうち実際に個別相談を行えたのは不安を抱える妊婦の3割弱にとどまり、より早い時期からの支援の重要性が明らかとなった。妊娠中から支援を行うことで不安を軽減し、安心して子育てできる環境を醸成するため、妊婦面接及び産後ケアを開始することとなった。

○妊婦面接および産後ケアを開始するにあたり、支援が必要な妊婦についての庁内連携体制を構築するため、子育て支援施策を検討するための庁内横断的検討組織である江東区子ども・子育て支援推進委員会の下部に、ゆりかご江東実施検討WGを設置することとなった。WGでは連携体制の検討のほか、事業目的や妊産婦への支援の課題などを子育て家庭に関わる部署で共有することができ、事業の周知だけでなく、自分の組織が妊娠期からどのような具体的支援が可能か？を具体的に検討することにつながった。

○産後ケア事業の実施にあたり、ケア報告書には育児不安の有無や児に対する母の関心や対応の様子など養育に関するアセスメント項目を加え、地区担当保健師がサービス利用後の支援に活かせるものとなるよう工夫した。

### ◆ 特色・PRポイント

#### 【妊婦面接事業(ゆりかご面接)】

○ゆりかご面接を受けた妊婦本人には、面接時に①江東区観光キャラクターをデザインしたエコバッグ②保湿クリームを手渡し、出産後には①江東区観光キャラクターをデザインしたおくるみ②木製おもちゃを郵送。(プレゼントには江東区で妊娠・出産した記念となる物を採用。)

#### 【産後ケア事業】

○宿泊型・日帰り型・乳房ケアとも、特に支援が必要と思われる母子がいた場合、実施施設および助産師から報告書だけでなく、直接地区担当保健師に連絡をもらい、早期に対応・支援している。また、産婦の自宅にてサービスを提供する訪問型乳房ケアは、新生児・産婦訪問を受託している助産師を採用し、乳房ケアだけでなく他の母子保健サービスや保健事業に詳しい者を充てている。

○産後ケア事業を受託する事業者と産後ケア事業打ち合わせ会を開催し、開始後の事業報告および利用者の感想などを共有、問題点や改善点などの意見交換を行った。



# 神奈川県横須賀市

横須賀が好き!

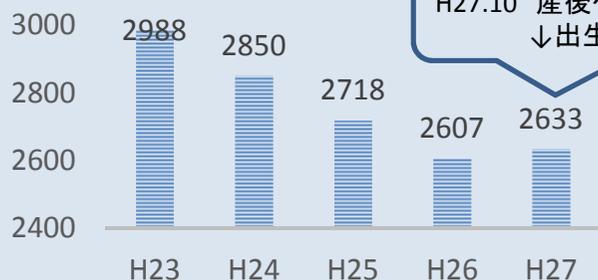


# 神奈川県横須賀市

## 地域の概要

・人口： 403, 565人 平成27年12月1日現在

・出生数の推移



・高齢化率 29.6

## 【地図】



## 概況

1 場所： はぐくみかん

はぐくみかんは、子どもに関する保健・医療・福祉・教育・保育などに関する部署をまとめた建物の愛称  
横須賀市小川町1-1

2 実施体制 (1)担当者： 保健師(母子保健コーディネーター)  
(2)人数： 1人(兼任)

3 設置開始時期： 平成27年4月



# 神奈川県横須賀市

## 取組内容

- ①総合相談機能の設置： はぐくみかん内に母子保健コーディネーターを配置し、利用者支援プラン(横須賀はぐくみサポートプラン)を用い、健康福祉センターと連携して妊産婦への切れ目のない支援と、産後ケアサービスの利用調整を行う
- ②地域の支援のシステム化： 住民基本台帳と連動した親子支援データベースシステムを構築し、子育て世代包括支援センターと健康福祉センター地区担当保健師との継続的支援を円滑にした。
- ③産後ケアの提供： 助産院等で退院直後の母子の心身のケアや育児サポート等を行う

## 取組の評価(取組の効果や課題等)

### ● 平成27年度 母子保健コーディネーター相談実績

	子 育 て 相 談	妊 娠 相 談	産 後 ケ ア	計
電 話	64	19	307	390
面 接	27	27	18	72
訪 問			30	30
計	91	46	355	492

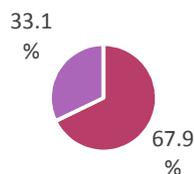
### ● 平成27年度 産後ケア事業実績 (H27.10.1~)

	デイケア	ナイトケア	ショートステイ	計
実 数	68	5	11	84
延 数	142	12	31	185

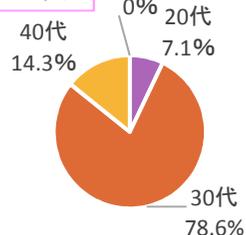


### 産後ケア事業利用者の状況

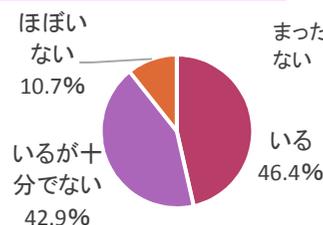
#### 初産・経産婦



#### 利用者の年代



#### 協力してくれる家族について



#### 利用者の声

誰も頼りにできず、いきづまってしまっていたのでホッとしました。少しの時間でも赤ちゃんと2人だけの空間から解放されるだけでリフレッシュ出来た。育児を教えてくれる話相手があると心強いと実感した。

産後ケア利用者の70パーセントは、初産婦で78.6%が30歳代で40歳代も14.3%、42%が、協力してくれる家族はいるが十分ではないと感じている

# 神奈川県横須賀市

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

- ・ 子どもに関する総合的、一体的な取り組みを進めていくための拠点として 平成20年4月に開設したはぐくみかん内に設置し、関係機関との連絡調整を図りやすくした。
- ・ 地区担当制で母子保健活動をしている健康福祉センターを統括することも健康課に置き、切れ目なく支援が継続できる体制を構築した。
- ・ 妊娠初期から、こんにちは赤ちゃん訪問までの妊産婦とその子ども及び以降の子育てに対し、切れ間ないタイムリーな支援を行える家庭医的な相談体制を整えるために、住民基本台帳と連動した親子支援データベースシステムを導入。

### ◆ 特色・PRポイント

#### ①子育てに関するワンストップ相談機能（総合相談窓口）

「はぐくみかん」内に設置したことで、関係機関との連絡調整を図るワンストップサービス対応が可能となった。

母子健康手帳交付面接時、すべての妊婦に利用者支援プラン（横須賀はぐくみサポートプラン）を配布し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に必要なサービスを利用できるよう情報提供した。

#### ②産後ケア事業

対象者：市内に住所を有するすべての産婦及び生後4ヵ月までの乳児

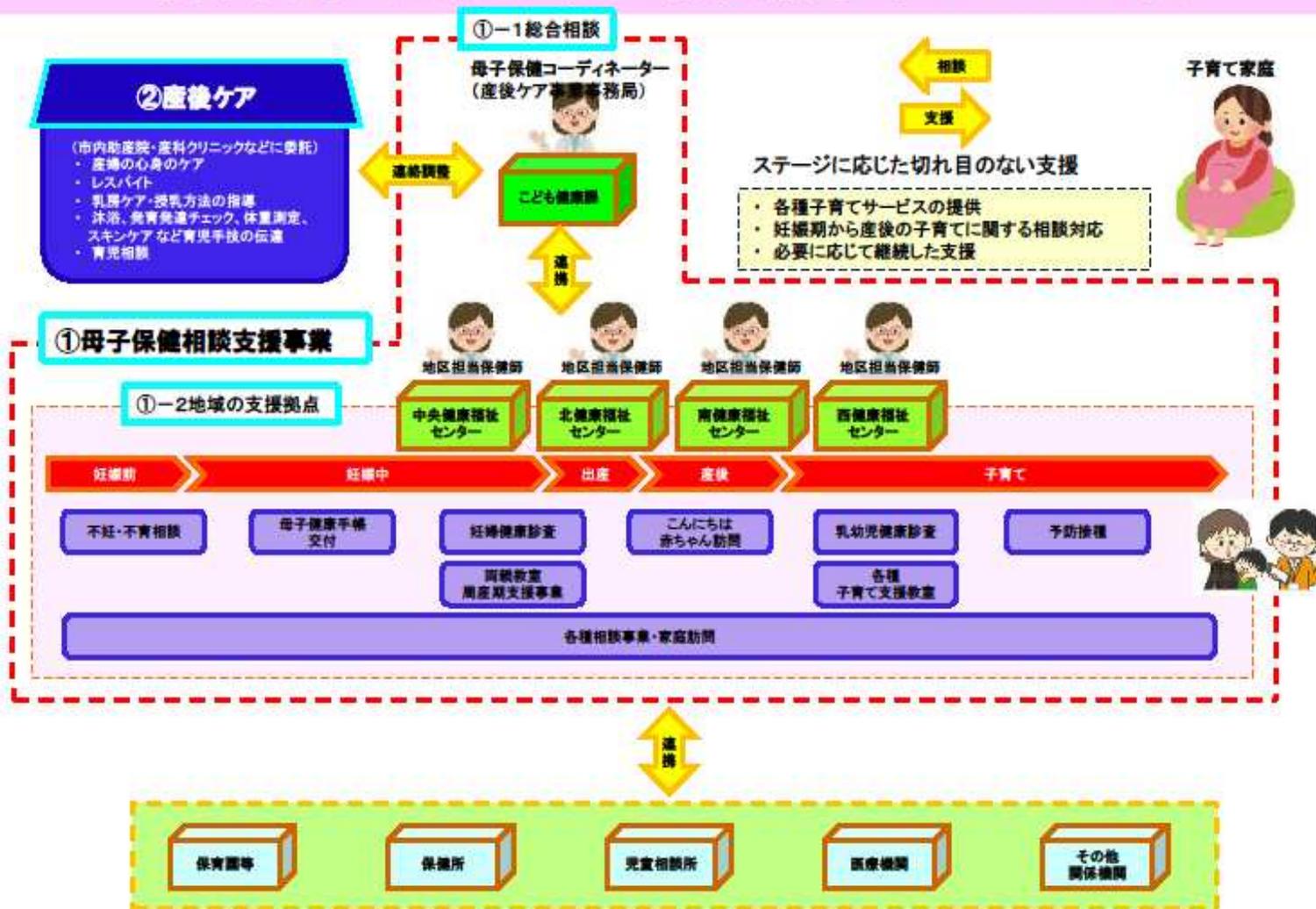
種類	利用時間	食事提供	サービス内容
デイケア （日帰り）	1日7時間 （例：10時～17時）	昼食付き	＊産婦の母体管理及び生活面の指導 ＊乳房手当、乳房トラブルケア ＊授乳方法 ＊沐浴方法 ＊スキンケア ＊発育・発達の観察 ＊体重・排泄の観察 ＊その他必要とする育児指導 ＊住宅での子育てに関する相談及び指導
ナイトケア （夜間のみ）	1泊14時間 （例：20時～翌日10時）	朝食付き	
ショートステイ （宿泊）	1泊24時間 （例：10時～翌日10時）	3食付き	

#### ③親子支援データベースシステム

- ・ 妊娠中から乳幼児期の情報管理によりケースワークの効率化と毎月のケースマネジメントの管理により、状況にあったタイムリーな相談体制の確立
- ・ 要支援者の抽出ができ、もれのない支援ができる。
- ・ こんにちは赤ちゃん訪問のマネジメント管理
- ・ 住民基本台帳連動（月1回住基データ取得）により、早期に出生確認や転出入の把握ができ、特に転入児へのこんにちは赤ちゃん訪問の漏れ防止 ＊転入世帯への訪問は虐待予防の観点から重要

# 神奈川県横須賀市

## 横須賀市 妊娠・出産包括支援事業のイメージ図



## 横須賀はぐくみサポートプラン



ご妊娠おめでとうございます。  
横須賀市では、妊娠から子育て期まで、安心して出産子育てができるよう、切れ目のない支援（横須賀版ネウボラ注1）に必要なサービスを各種ご用意しています。ぜひ母子健康手帳と一緒に渡した「子育てガイド」をご活用ください。みなさんがそれぞれの時期に目標を立て、それにあったサービスを利用できるようチェックリストにしました。気になることやご心配がありましたら、お近くの健康福祉センターや子育て世代包括支援センターにご相談ください。

**相談先** あなたの相談先は（中央・北・南・西）健康福祉センターです

あなたの町の担当の保健師が子育てをサポートします。お気軽にご相談ください。

中央健康福祉センター（衣笠・大津・逸見・本庁行政センター管内）	西逸見町 1-38-11	046-824-7632
北健康福祉センター（田浦・追浜行政センター管内）	船越町 6-77	046-861-4118
南健康福祉センター（浦賀・久里浜・北下浦行政センター管内）	久里浜 6-14-2	046-836-1511
西健康福祉センター（西行政センター管内）	長坂 1-2-2	046-856-0719
子育て世代包括支援センター	はぐくみかん5階こども健康課 小川町 11	046-824-7141

子育て世代包括支援センターでは母子保健コーディネーターがご相談内容に応じた窓口の紹介等をいたします。

注1）ネウボラとはフィンランド語で「アドバイスの場」の意味です。横須賀版ネウボラではみなさんの身近な地域に妊娠から子育て期まで切れ目なく相談ができる場所を整え、安心して出産・子育てを迎えることができるようにサポートしています。

## ☆妊娠から出産までの時期☆ ～ 安心して出産できるようお手伝いします ～



子育てガイド P29 からの「HAGUKUMI」には、妊娠中に気をつけたいことや出産後の子育てについてのっています。

\*下記（P○）は子育てガイドのページ数です。

### ご自身の目標 目標「

- 例) 不安なく出産したい。→  
子育てガイド（P2）「プレママ・プレパパのための教室」を確認してみる。
- 妊産婦健康診査を受ける（P2）
  - 妊娠中に歯科検診を受ける（母子手帳 P13、かかりつけ歯科医に相談）
  - プレママ・プレパパ教室等各種教室・妊産婦おしゃべりサロンに参加する。（P2、7～8、44～45 他、母子健康手帳交付のチラシをご覧ください）
  - 産後ケアを問い合わせたり、施設の見学に行ってみる（P4）
  - 働く女性・男性のための出産、育児に関する制度（母子手帳 P88）
  - 母乳相談を受ける（母子手帳交付時・こんにちは赤ちゃん訪問時のチラシをご覧ください）
  - その他（ )

※あなたの目標や希望に合うサービスを選びましょう。

## ☆出産後まもない時期☆ ～ 産後の心と身体を癒します ～



出生届・乳児医療証申請書・出生連絡票の提出はしましたか？お子さんの今後のサービスを利用するための準備になります。忘れずに提出しましょう。（P3）

下記のサービスは出産後すぐにご利用になれます。

日程や詳細については、母子健康手帳交付の際にお渡ししたチラシをご確認ください。

### ご自身の目標 目標「

- 例) 産後の体調を整えたい→  
子育てガイド（P4）「産後ケア」を利用してみる
- 妊産婦おしゃべりサロンに参加する（P7、母子手帳交付時・こんにちは赤ちゃん訪問時のチラシをご覧ください）
  - 母乳相談を受ける（母子手帳交付時・こんにちは赤ちゃん訪問時のチラシをご覧ください）
  - こんにちは赤ちゃん訪問を受ける（P3）
  - 産後ケアを受ける（P4）
  - 子育て支援ヘルパーを利用する（P4 妊娠中に安静が必要と診断された場合も利用できます。母子健康手帳交付の際にチラシをお渡ししています）
  - その他（ )

※あなたの目標や希望に合うサービスを選びましょう。



## ☆子育ての時期☆ ～ 子育てを楽しめるようお手伝いします ～

お子さんの健康のために予防接種や健康診査を必ず受けましょう

### ご自身の目標 目標「

- 例) 健康に育てたい→  
乳幼児健診・にっこり相談等を利用してみる
- かかりつけの小児科を決める
  - 予防接種を開始する（P9）\* 生後2か月からヒブ、小児用肺炎球菌7種、B型肝炎が始まります。予防薬は、指定医療機関に備え付けてありますので、直接ご予約ください。こんにちは赤ちゃん訪問時にご案内します。
  - 夜間・休日に診療のできる医療機関を確認する（P25）
  - 乳児健康診査・10か月児健康診査を受ける（P7）
  - 1歳6か月健康診査、3歳6か月児健康診査を受ける（P7）
  - 2歳6か月児歯科健康診査を受ける（P7）
  - その他（ )

※大切な予防接種や健康診査は必ず受けましょう。

# 神奈川県横須賀市

## 妊娠連絡票

母子手帳番号	受付印	受付者
--------	-----	-----

妊婦	ふりがな		年齢	S H 年 月 日生 (歳)
	氏名		国籍	(日本人以外の方)
	職業		住所	横須賀市 (住民票がある住所) ※住民票と異なる住所にお住まいの場合は、下記にもご記入ください 居住先:
	電話番号	自宅: - - 携帯: - -	出産予定日	年 月 日 (現在の妊娠週数 週)
	施設名	医師又は助産師名		
診察又は保健指導をうけたところ	分娩予定の医療機関			
	1. 上記と同じ 2. 違う ( 病院・診療所・助産院/市外・県外 ) 3. 未定			
上記のとおり届出をします。 横須賀市長あて 平成 年 月 日 届出者氏名 妊婦との続柄 ( )				

※ 下記①～④についてご記入をお願いいたします。

① 家族数 (あなた自身も含め) 人	② 同居している人の続柄 (同居している人すべてに、○をしてください) ・夫・子ども ( 人 ) ・実父・実母・義父・義母・その他 ( )					
③ 家族の健康状態 健康・病あり ( 誰が )	病名 ( )					
④ あなたの自身のこと						
(1) 今までに病気をしたことはありますか? 1. なし 2. 身体面あり (いつ頃 病名 ) 3. 精神面あり (いつ頃 病名 )						
(2) 現在、治療中の病気はありますか? 1. なし 2. あり (病名 )						
(3) タバコを吸いますか? 1. いいえ 2. 妊娠してやめた 3. はい ( 本/日 )						
(4) 身長 ( cm ) 妊娠前の体重 ( kg )						
⑤ これまでの妊娠・出産						
回数	生年月日	在胎週数・出産時体重	妊娠・出産状況	性別	児の健康状態	問題の有無
1	年 月 日	週 g	正常・その他 ( )	男・女	健・否 ( )	問題・別患
2	年 月 日	週 g	正常・その他 ( )	男・女	健・否 ( )	問題・別患
3	年 月 日	週 g	正常・その他 ( )	男・女	健・否 ( )	問題・別患
4	年 月 日	週 g	正常・その他 ( )	男・女	健・否 ( )	問題・別患
5	年 月 日	週 g	正常・その他 ( )	男・女	健・否 ( )	問題・別患

※ 裏面もあります

## アンケートのお願い

～まだ見ぬわが子へ、あなたはどんな思いをおもちですか～

「おめでたですよ」・・・この言葉にあなたは、どんな思いをもちましたか?これから経験する妊娠・出産・育児、これは自分とは別の人間を育てる大変な役割であり、頭で考えたり、本で読みの通りにはいかないこともたくさんあります。心おだやかな日々のなか、時にはそれぞれと、あるいは急に不安が押し寄せることも決して不思議なことではないのです。

そこで、今回、横須賀市では、みなさまにアンケートにお答えいただき、安心して子育てに向かえるよう妊婦さんから応援していきたいと考えています。

なお、ご記入いただいた内容は個人情報として取扱い、プライバシーを保護します。

アンケートは、お母さんになる方が記入してください。また、回答が難しい場合は、無記入でもかまいません。

① 妊娠を知ったときの気持ちには、(一番近いものに○をしてください) 1. とてうれしかった 2. 予想外で驚いたがうれしかった 3. 予想外で驚き戸惑った 4. 悲しかった 5. うれしくなかった 6. 特に何とも思わなかった
② 子どものころから愛情をうけて育ったという実感がありますか。(一番近いものに○をしてください) 1. ある 2. なんとなくある 3. あまりない 4. ない
③ 妊娠中、市や医療機関などで行う母親教室(両親教室)を受けようと思いませんか。1. はい 2. いいえ
④ 妊娠中、相談できる方はいませんか。 1. いる( 夫・自分の親・夫の親・兄弟・友人・その他 ( ) ) 2. いない
⑤ 産後、育児支援サービス(育児相談・初産など)がありますが利用しようと思いませんか。 1. はい 2. いいえ (理由 )
⑥ 産後、手伝ってくれる人はいませんか。 1. いる( 夫・自分の親・夫の親・兄弟・友人・その他 ( ) ) 2. いない
⑦ 現在、お仕事をしていますか。また、産後どのような予定ですか。 1. していない 2. している ( 産後も産休・育休をとり、仕事を続ける予定・出産前に退職予定 )
⑧ 自宅の近くに小さなお子さんはいませんか。 1. いる 2. いない 3. わからない
⑨ これから、「不安になるかな」と思うことはありますか。 1. ない 2. ある ⇒ 2. ある方 ( 来てはまるものすべてに○をしてください ) 1. 子育ての仕方 2. 子育てにかかるお金 3. 産後の時の対応 4. パートナーとの関係 ( 経済的なこと・夫業・暴力など ) 5. 相談者や協力者が見つけれない 6. 仕事との両立 7. 子どもを通じた親受士の付き合い方 8. 親族との付き合い方
⑩ ( 今回の妊娠について ) 不妊治療をしましたか。 1. していない 2. した ( 治療期間 : 年 か月 )
⑪ 産前産後についてお聞きします。 1. 産前 ( 初産 ) ( 子 ) 2. 産後 ( 子 ) 3. 入籍予定 4. その他 ( )
今の気持ちや生まれてくる子への思いや不安がありましたら聞かせてください。

# 神奈川県横須賀市

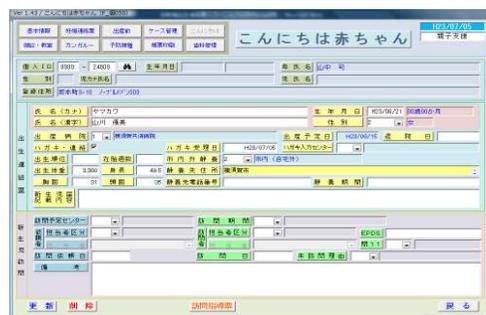
## 親子支援データベースシステムの利用について

### 導入の目的

妊娠初期から、こんにちは赤ちゃん訪問までの妊産婦とその子ども及び以降の子育てに対し、切れ間ないタイムリーな支援を行える家庭医的な相談体制を整えるために、住民基本台帳と連動した親子支援データベースシステムを平成23年度より導入する。

### 対象業務

	入力項目	支援
産前	母子健康手帳交付時の妊娠届出書情報入力管理 妊婦健診受診状況 周産期支援教室の参加状況 妊婦歯科・栄養教室の参加状況	要支援者の抽出、訪問指導実施状況の把握 次回支援計画等の管理
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生後4カ月までの乳児およびその保護者の全戸訪問を行う</li> <li>・乳児健診・1歳6カ月児健診・3歳6カ月児健診・2歳6カ月児歯科健診の受診状況</li> </ul>	要支援者の抽出、訪問指導実施状況の把握 次回支援計画等の管理 未受診者への受診勧奨
産後	フォローアップ教室の参加対象者抽出、参加状況 育児相談会や子育て教室の参加状況 母乳相談の参加状況・離乳食・食育教室の参加状況 虫歯予防教室の参加状況	次回支援計画の管理
	予防接種の接種履歴	未接種者への接種勧奨



地区担当制健康福祉センターでは、ケース支援を2・3人のチームで担当し、1回/月チーム会議(事例検討会議)を実施し支援のマネジメントを決定している。

# 山梨県甲斐市



# 山梨県甲斐市

## 地域の概要

・人口：75,358人(平成28年12月31日現在)  
県下で2番目に人口が多い市

・年間出生数：735人(平成27年度)

### ・その他

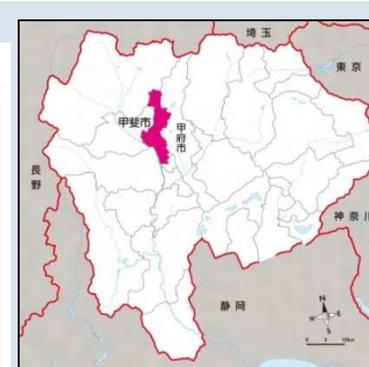
甲斐市は、北部の豊かな森林資源や自然景観を有する中山間地域と南部の住宅地と農地が混在する平坦な市街化地域という、異なった2つの顔を持っている。

山梨県全体で人口が減少している中、県下13市、唯一、本市のみ人口が増加している。(平成22年と平成27年の国勢調査比較)

出生数及び出生率は年々微減傾向にあったが、平成27年には増加に転じており、また、国や山梨県の出生率を常に上回って推移している。

合計特殊出生率は平成26年を除いて1.60台で推移しており、国や山梨県の数値を上回っている状況である。

## アクセスマップ



甲斐市子育て世代包括支援センター

## 概況

- 1 場所： 山梨県甲斐市篠原2610  
甲斐市役所「子育て健康部 健康増進課」内に設置
- 2 実施体制 (1)担当者： 健康増進課 母子保健担当保健師(母子保健コーディネーター)・看護師・管理栄養士  
(2)人数： センター 9人
- 3 設置開始時期：平成28年4月

## 山梨県甲斐市

### 取組内容

#### <利用者支援事業(母子保健型)>

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を構築するため、健康増進課内に「子育て世代包括支援センター」を設置。母子健康手帳交付時に一人ひとりの状況を把握しながら「ケアプラン」を作成。母子保健コーディネーターが全体を調整し、地区担当保健師が関係機関と連携し個別支援を実施している。妊娠中利用する制度や、各種サービスの妊産婦自身の積極的活用等、各自の健康が捉えられるよう妊婦全員に「子育てサポート帳」を配付。家族で子育てが支援できるよう、妊婦の状況や父が感じたことを記載できる「父子健康手帳」も交付している。

#### <甲斐市版ネウボラ事業の推進>

- 甲斐市版ネウボラ事業推進協議会の設置(母子保健の推進や切れ目のない支援体制の構築推進等について協議する場)
- ニーズ調査の実施
- 産後ケア事業実施 (1)宿泊型:利用料一部助成 (2)日帰り型:①集団・②個別
- 関係機関とのネットワークの構築(いのちの大切さを学ぶ事業)

### 取組の評価(取組の効果や課題等)

- ・健康増進課内に子育て世代包括支援センターを設置したことで、母子健康手帳交付、母子保健事業及び地区担当保健師による支援等を、センターで一括して切れ目なく実施でき、かつ、住民基本台帳と連動しているシステムにより情報管理が一元化できる。
- ・産後、質問票(EPDS)を利用することで、ハイリスクの母親に気づき、早期訪問に繋がり、産後ケア事業や関係機関と連携して対応していくことができる。
- ・産後ケア事業を通して、産後の育児に対する不安感・負担感・孤立感が解消され、母親との顔のつながりが強くなる。
- ・甲斐市版ネウボラ事業推進協議会を設置したことで、関係機関との顔つなぎや各部署の活動の理解、課題等の共有ができる。

## 山梨県甲斐市

### その他

#### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

##### 「甲斐市版ネウボラ推進プロジェクト」の経緯

人口減少問題、少子化対策の一環として、女性が住みやすく安心して子育てができる環境整備、「結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない子育て支援」の実現を図る市の総合戦略として展開

○産婦人科開業(女性医師)の誘致(市は、地域創生事業として医療器具を無償貸与)

○市役所 子育て健康部健康増進課内に「甲斐市子育て世代包括支援センター」設置

○市と国立大学法人山梨大学において、包括的連携協定の締結

○「甲斐市版ネウボラ事業推進協議会」設置

○市が誘致した「このはな産婦人科」の施設において、市主催の産後うつ予防に観点を置いた集団・個別の「産後ケア事業」を開始

◎事業のスタッフとして「このはな産婦人科」の女性医師及び助産師が参画し、市と連携して事業展開を図っている。

#### ◆ ここがPRポイント！！

##### 「甲斐市版ネウボラ事業推進協議会」設置(平成28年度)

(目的)妊娠期から子育てまで切れ目のない支援を包括的に推進するために、母子保健の推進に関すること、切れ目ない支援体制の構築推進等に関することを協議する。

(委員)10名 任期2年

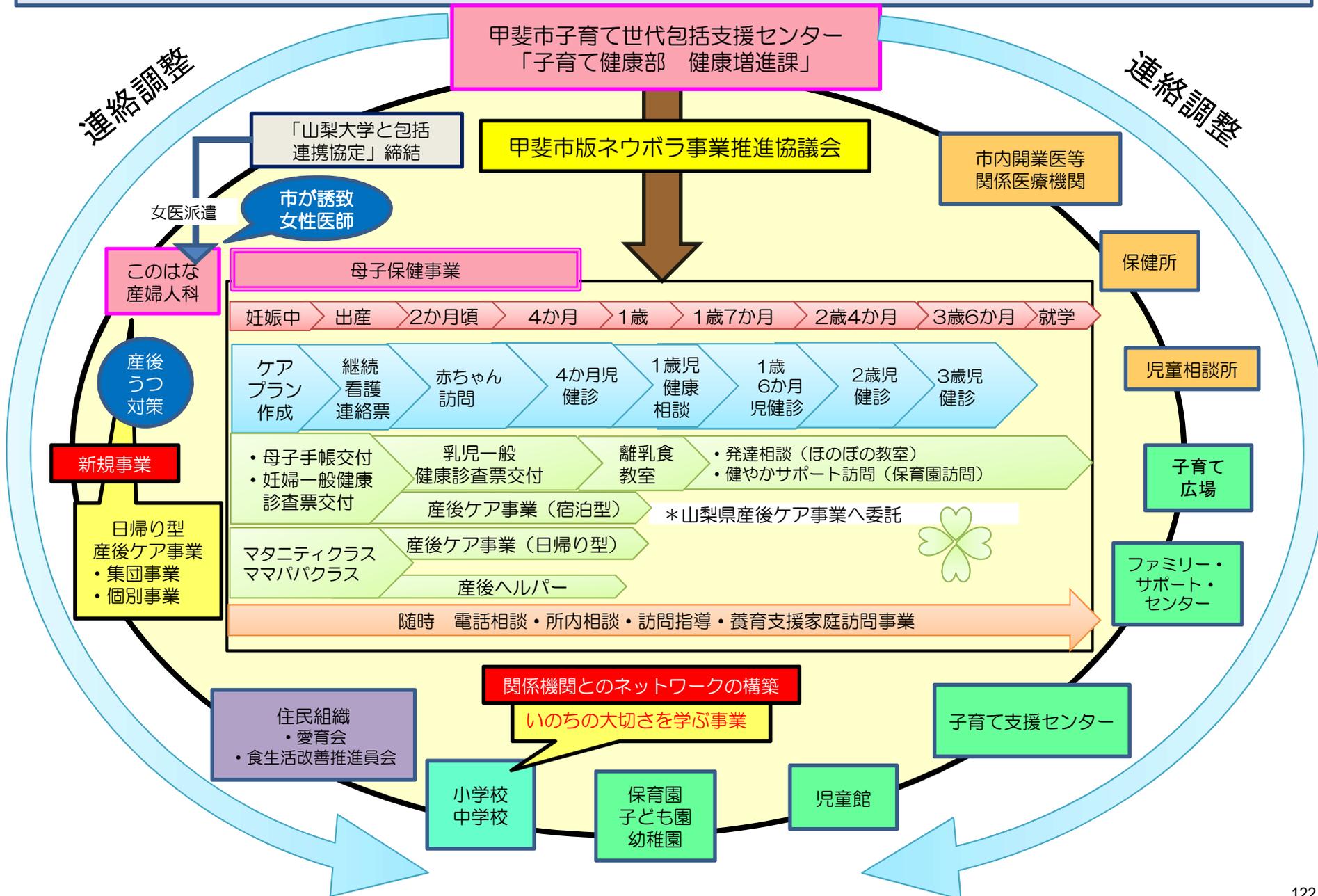
会長: 地元開業産婦人科医師(山梨県産婦人科医会長)

委員: 山梨大学医学部教授(包括的連携協定の締結先)・地元開業産婦人科医師2名(市が誘致した開業医含)・管轄保健所職員

2名・子ども、子育て会議会長(教育長)・子育てひろば ファミリーサポートセンター館長・公立保育園長会長・愛育連合会長

(協議会)年2回開催

# 甲斐市版ネウボラ事業(妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援の体系)概要



# 山梨県甲斐市

## ◆子育て世代包括支援センター紹介 (子育て健康部 健康増進課内)



## ◆甲斐市版ネウボラ事業推進協議会



## ◆産後ケア事業 (日帰り型)



## ◆関係機関とのネットワークの構築





# 滋賀県近江八幡市

## 滋賀県近江八幡市

### 地域の概要

- ・人口 : (80,846)人  
平成28年3月31日現在
- ・年間出生数 : (791)人  
平成27年

#### ・その他

滋賀県中部、琵琶湖東岸に位置し、琵琶湖で最大の有人島である沖島や安土城跡を有している。ラムサール条約の登録湿地である西の湖は琵琶湖で最も大きい内湖であり、ヨシの群生地である水郷地帯は琵琶湖八景のひとつに数えられている。高齢化の進んだ地域や子育て世代の多い地域に分かれ、それぞれ人口構成が異なる。



### 概況

- 1 場所: 滋賀県近江八幡市中村町25番地  
近江八幡市立市民保健センター(福祉子ども部健康推進課) TEL0748-33-4252
- 2 実施体制 (1)担当者:保健師 (2)人数 5名 (保健師1名<兼務> 助産師3名 幼稚園教諭1名)
- 3 設置開始時期:平成28年4月

## 滋賀県近江八幡市

### 取組内容

#### ①総合相談

- ・妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として市民保健センター（健康推進課）内に「子育て世代包括支援センター」を設置。
- ・母子保健型（助産師）と基本型（幼稚園教諭）の利用者支援員、子育て支援センター「クレヨン」の保育士が同じ場所に事務室をおき妊産婦や子育て中の保護者の相談対応を一体的に実施。また、必要に応じ健康推進課の地区担当保健師や管理栄養士などの他職種に相談をつないでいる。

#### ②子育て支援ケアマネジメント

- ・利用者支援事業（母子保健型）にて助産師・保健師等の専門職が母子健康手帳発行時にすべて妊産婦等の面接を実施し状況を把握している。面接時に把握したハイリスク妊婦は健康推進課の地区担当保健師が支援プランを作成し、関係機関と協力してきめ細かい支援を実施している。また、妊産婦支援検討会を開催し、ハイリスク者の支援プラン検討及びモニタリングを行っている。
- ・市内医療機関助産師と年2回連絡会を開催し、ハイリスク妊産婦の支援体制について協議の場を設けている。

#### ③妊娠出産包括支援事業（産前産後サポート事業・産後ケア事業）

##### （産前産後サポート事業）

- ・地域助産所相談→市内助産所4カ所に業務依頼し、乳房ケアなどの妊産婦の相談にタイムリーに対応している。
- ・産後ママのほっとサロン→おおむね6か月までの子どもを持つ母親を対象に、利用者支援員（助産師・幼稚園教諭）・保健師が体調や育児の相談に対応している。子育て支援センター事業と同時開催し、子育て支援事業への参加のきっかけづくりの場としている。

（産後ケア事業） 体調不良や育児協力が得られないなどの産婦と児を対象に、医療機関や助産所と委託契約し、宿泊型と通所型で実施している。

### 取組の評価（取組の効果や課題等）

#### ①総合相談

「子育て世代包括支援センター」にて妊産婦の台帳管理を行っているため、他職種や他部門の相談の情報が集約された。また、母子健康手帳発行時の面談により利用者支援員（助産師）が妊婦に認知され、徐々ではあるが妊産婦の相談窓口として相談件数も増加している。

## 滋賀県近江八幡市

### ②子育て支援ケアマネジメント

近江八幡市では約38%がハイリスク因子を持つ妊婦である。アセスメントシートにより基準を定め、複合的な課題のある約10%の妊婦について「支援プラン」を作成している。妊婦支援検討会で「支援プラン」を検討しているが、開始当初は母子健康手帳発行時のアンケート内容の不備や面接技術の課題のために情報不足となり適切にアセスメントができなかった。そこで、アンケートの改良を重ねることや妊婦の同意をとり追加情報を得ることで徐々にアセスメントが適切に行えるようになった。また、面接技術の向上やアセスメント力を高めるために研修会を開催した。今後は、個別の「支援プラン」事例から見えてきた地域課題を検討し施策化へつなげる地域の子育て支援関係者等との「子育て世代包括ケアシステム」のしくみづくりが課題である。

### ③妊娠出産包括支援事業

産前産後サポート事業はポピュレーション支援の場として位置づけている。今後はハイリスク妊産婦支援が個別中心であるためグループ支援事業等を検討していく。また、産後ケア事業は利用者が少ないため周知の工夫や方法の検討をすすめる。

## その他

### ◆ 取組の経緯、開始にあたって調整や工夫した点

平成26年に改定した「おうみはちまん健やか親子21計画(母子保健計画)」に「子育て世代包括支援センター事業」を位置づけ毎年推進委員会の中で事業評価を行っている。

### ◆ 特色・PRポイント

- ①妊娠出産包括支援事業(産前産後サポート事業・産後ケア事業)を子育て世代包括支援センター事業として一体的に実施することで利用者支援員(助産師)や保健師がコーディネーターとなり、妊産婦の切れ目ない支援につながってる。
- ②近江八幡市内に産科医療機関が4か所、助産所が5か所あり、医療機関や助産所助産師の人材を活用した事業展開を実施している。市内助産所は原則地区担当制をとっており、身近な相談場所となっている。

# 滋賀県近江八幡市

子育て世代包括支援センター  
子育て支援センター「クレヨン」

電話相談



母子健康手帳発行時面談



産後ママのほっとサロン



## 開設 子育て世代包括支援センター

平成28年4月より妊娠期から子育て期までワンストップで総合的に相談支援

「無事に出産できるかな・・・」  
「おっぱい たりているかな・・・」  
「夜泣きがひどい」  
「周りに知り合いがいなくて孤独・・・」

なんでも相談できる窓口  
妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援

↓  
電話や窓口で一緒にお話ししながら解決の糸口を見つけていきます。

助産師・保健師・幼稚園教諭・保育士が  
専門的に相談・支援します。

### 妊娠・出産に関する専門相談

- ★母子健康手帳発行時相談
  - ・妊娠・出産についての疑問や不安相談
  - ・産前産後のサポートの話

- ★地域助産所相談
  - ・地域助産師が妊娠・出産・育児の相談

- ★産後ケア事業
  - ・産後3か月頃までのお母さん対象
  - ・医療機関や助産所にお子さんと宿泊・通所して「育児のアドバイス」

- ★産後ママのほっとサロン
  - ・生後6か月頃までのお子さんとお母さん対象
  - ・育児や産後のからだの相談
  - ・産後の不安や気持ちを和らぐ時間を提供
  - ・体重測定・授乳相談・リラックス体操・子育て支援情報の提供

### 子育てに関する専門相談

- ★子育て相談窓口
  - ・子どもの成長は個人差が大きいです。ちょっとした不安や心配ごとでも相談ください。話すことできっと解決の糸口が見えるはずですよ。
  - ・専門的な相談員と一緒に子育てについて考えていきましょう。

場所 市民保健センター 2階  
電話 0748-36-7270



「イヤイヤ期が始まってやりにくさがでてきました」

【問い合わせ先】  
健康推進課(市民保健センター) 0748-33-4252  
子育て支援センター「クレヨン」 0748-36-7270

# 滋賀県近江八幡市

## 母子健康手帳発行時アンケート

母子健康手帳番号 \_\_\_\_\_ 記入日 年 月 日

**妊婦さんアンケート** 太枠内を記入ください。 **お名前** \_\_\_\_\_  
 妊婦さん以外が来所された場合記入 (業所者のお名前 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_)  
 近江八幡市ではすべての妊婦さんが安心して出産・子育てを迎えられるようにサポートさせていただきます。  
 つきましては、下記のアンケートの記入にご協力をお願いいたします。  
 なお、近江八幡市では個人情報取り扱いについて近江八幡市個人情報保護条例を遵守しています。

夫(パートナー)	氏名 _____ 年齢 歳 職業(有・無) 既婚・未婚→入籍予定(あり時期H 年 月頃・なし)
同居家族	夫・子ども(人)・実父(歳)・実母(歳)・義父(歳)・義母(歳)・その他(歳)
職業	無職・職業有 → 常勤・パート・自営業・その他( ) 週休(日) ◎職場環境(立ち作業 温度が高い・低い たばこ 振動が多い 振動が多い 休憩がとりにくい、 ストレスが多い 時間外労働が多い その他の問題( ) 特に問題はない) ◎妊娠して仕事を変更、やめる予定はありますか。 ①はい(週頃) ②いいえ
勤務時間	1日約( )時間( )~( ) 交代制などの突発勤務(あり・なし) ※連絡のとりやすい時間(時 頃)
通勤手段	徒歩・自転車・車・電車・バス 通勤時間 片道( )分
今までの妊娠・出産	
出産年月	妊娠・出産・産後の異常
年 月	正常・早産・切迫早産・糖尿病・妊娠高血圧症候群、胎盤早期剥離・帝王切開・吸引分娩、誘発分娩、貧血、(その他)
(流産 回・死産 回・中絶 回) → (いつごろ 年頃 年頃 年頃)	
今回の妊娠について	
1. 現在、妊娠は順調ですか。	①はい ②いいえ(理由)
2. 今回の妊娠で不妊治療はされましたか。	①はい ②いいえ →(期間) 方法 排卵誘発剤 体外受精 顕微授精、その他の方法( )
3. 妊娠が分かった時はどんなお気持ちでしたか。	①うれしかった ②予想外だったのがうれしかった ③予想外だったので戸惑った ④困った( ) ⑤なんとも思わない ⑥その他( )
4. 里帰り出産の予定はありますか。	①はい⇒出産予定地( ) ※妊婦健診を県外で受診される場合は事前に申請が必要です。 ②いいえ
5. 困った時に相談できる人(出産後に支援してもらえる人)はいますか。	①はい⇒誰ですか。(夫・実父・実母・義父・義母・友人・(その他)) ②いいえ
面接者: _____	

6. 現在、「困っていること」「悩んでいること」「不安なこと」などはありますか。	① なし ② あり⇒ ③ 妊娠・出産について ④ 経済的なこと ⑤ 自分のからだのこと ⑥ 夫(パートナー)のこと ⑦ 家族のこと ⑧ 育児のこと ⑨ 上の子のこと ⑩ 仕事のこと ⑪ その他( ) ありの具体的な内容
7. 現在、あなたはタバコを吸いますか。	① はい(本/日) ② 妊娠してやめた⇒妊娠前に吸っていた本数(本/日) ③ 妊娠前から吸わない
8. 現在、夫(パートナー)や同居家族は、タバコを吸いますか。	① はい⇒誰が何本吸いますか？(誰が: 本数 本/日) ② いいえ
9. 現在アルコールを飲みますか	①はい(回/週 内容 1日の量) ②いいえ
11. 今までにかかった病気や現在治療中の病気はありますか。	① なし ② あり⇒病名:心臓病・高血圧・慢性腎炎・糖尿病・肝炎・甲状腺疾患・こころの病気(うつ病など)・その他( ) それはいつ頃ですか？(歳頃) 現在治療中(医療機関名) 服薬 有・無 受診頻度( / 回)
12. 現在の生活習慣についてお聞きます。(薬阻のある方は妊娠前の生活習慣をご記入ください)	○起床時間(時 分頃)就寝時間(時 分頃) 日によって異なる⇒(交代勤務・シフト制) ○十分な休息がとれていますか。またよく眠れていますか。 ① 大体とれている ② いいえ(理由) ○毎日3食食べますか。 ① 食べる ② 食べる日と食べない日がある ③ 食べない(1日1食・1日2食)(理由) ○主食・主菜・副菜がそろった食事ができていますか。 よく食べるパターンに○を付けて下さい。 (主食→ごはん、麦パン、雑穀類) (主菜→肉、大豆製品、卵料理) (副菜→野菜、きのこ、海藻類) 朝食(主食・主菜・副菜) 昼食(主食・主菜・副菜) 夕食(主食・主菜・副菜) ○鉄分の多い食品(赤身の魚、肉、緑黄色野菜、高野豆腐、海藻類)を。 ① ほぼ毎日食べる ② 週2~3回食べる ③ ほとんど食べない ④ サプリメントでとっている ○カルシウムの多い食品(牛乳、乳製品、ヨーグルト、豆腐、小松菜等)を。 ① ほぼ毎日食べる ② 週2~3回食べる ③ ほとんど食べない ④ サプリメントでとっている ○ふだんの味付け (①濃い ②薄い ③ふつう) ○調理担当者( ) ○ジュース、清涼飲料水やお菓子 ①毎日食べる ②週2~3回食べる ③週1回以下 (内容)
13. 妊娠前の体重と身長	体重 kg 身長 cm (※BMI)

このアンケートに基づき、市から妊娠経過や健康状態等について、ご本人またはかかりつけ産科医療機関に連絡をさせていただく場合があります。

このことに同意します。 署名 \_\_\_\_\_

# 滋賀県近江八幡市

妊娠届時アセスメントシート (母子手帳発行番号 )

妊婦氏名	生年 昭和・平成	月日 年 月 日 ( 歳 )
分娩予定日(初・経産)	平成 年 月 日 ( 初・経産 回 )	
町名	町	
主訴		
因子	内容	内容・気がついたこと
健康状態	流産(連続2回以上)・死産歴	
	産科歴(妊婦高血圧・妊婦糖尿病・早産・常位胎盤早期剥離等)	
	既往歴・現病歴	身体的 精神的
	妊娠経過(母体・胎児の問題)	
	未受診	
	BMI(18.5未満・25以上)	
個人因子	喫煙	
	その他( )	
	若年妊婦(20歳未満)	
	高年初産(40歳以上)	
	多胎	
	外国籍	
環境因子	妊娠についての客観的な思い	
	産後ケア	
	その他( )	
	未婚	
経済的環境	相親者・援助者の不在	
	その他( )	
現況 (気に なる様子)	経済的困難	

検討内容(検討日 月 日)

今後の方針

<input type="checkbox"/> 問題なし	
<input type="checkbox"/> 問題あり	ハイリスク支援計画作成の必要 (有・無)⇒無の理由

問題点及び支援方針

支援時期

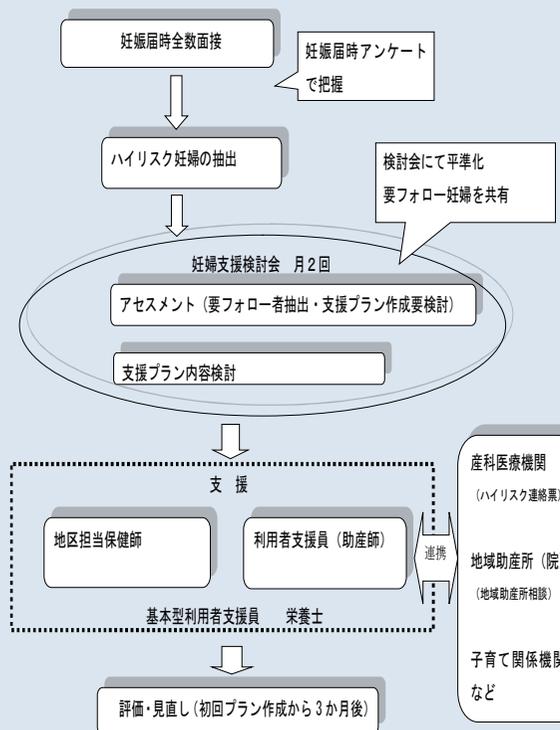
<input type="checkbox"/>	1週間以内に連絡
<input type="checkbox"/>	1ヶ月以内に連絡
<input type="checkbox"/>	妊娠( )週時点で連絡
<input type="checkbox"/>	出産後に連絡
<input type="checkbox"/>	その他( )

支援担当

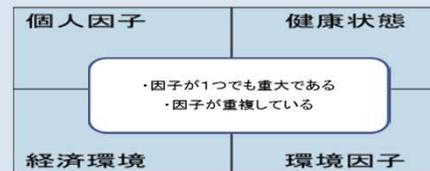
<input type="checkbox"/>	助産師
<input type="checkbox"/>	地区担当
<input type="checkbox"/>	栄養士
<input type="checkbox"/>	利用者支援員

シート記入者( )

## ハイリスク妊婦支援フォロー図



## ハイリスク基準



# 滋賀県近江八幡市

## 近江八幡市子育て世代包括ケアシステム（日常生活圏域）

